平成３１年度

高山市まちづくりアンケート調査

―報告書―

令和２年３月

高山市

目次

第１章　　調査の概要

１　調査の目的・・・１
２　調査の期間・・・１
３　調査の項目・・・１
４　調査の方法・・・１
５　回収結果・・１
６　標本の構成・・・２
７　その他・・・２

第２章　　調査結果の分析

１　高山市への想いや生活環境について

１　高山市への「誇り」や「愛着」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
２　高山市への定住意向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
３　高山市の暮らしやすさ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
４　日常生活での不安・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
５　働く場としての高山市の魅力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４

２　高山市の市政運営について

１　市政運営への関心・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
２　今後の重要課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
３　高山市の取り組みに対する満足度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３

３　協働のまちづくりについて

１　町内会への加入状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６２
２　まちづくり協議会への参加状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７０
３　市民活動（まちづくり協議会以外）への参加状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・７６
４　まちづくり活動に参加しやすくするための条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８７
５　重点的に協働で取り組むべき分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９４
６　協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの・・・・・・・・・・・・・・・・・９８

４　高山市のまちづくりに関するご意見など

自由記述・・１０２

第１章　　調査の概要

１　調査の目的

高山市第八次総合計画の計画期間における市民意識の経年比較、評価検証等

２　調査の期間

令和元年１２月７日～１２月２７日

３　調査の項目

〇高山市への想いや生活環境について

・高山市への「誇り」や「愛着」
・高山市への定住意向
・高山市の暮らしやすさ
・日常生活での不安
・働く場としての高山市の魅力

〇高山市の市政運営について

・市政運営への関心
・今後の重要課題
・高山市の取り組みに対する満足度

〇協働のまちづくりについて

・町内会への加入状況
・まちづくり協議会への参加状況
・市民活動（まちづくり協議会以外）への参加状況
・まちづくり活動に参加しやすくするための条件
・重点的に協働で取り組むべき分野
・協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの

〇高山市のまちづくりに関するご意見など（自由記述）

４　調査の方法

調査地域　　高山市内全地域
実施方法　　郵送による配布・回収、無記名式
調査対象　　１８歳以上の市民、３，０００人
抽出方法　　令和元年１２月１日現在の住民基本台帳から無作為抽出

５　回収結果

発送数　　３，０００人
回収数　　１，５３０人
回収率　　５１．０％

６　標本の構成

		件数（件）	構成比（%）
性別	男性	623	40.7
	女性	826	54.0
	無回答	81	5.3
年齢	１０・２０代	91	5.9
	３０代	145	9.5
	４０代	205	13.4
	５０代	217	14.2
	６０代	338	22.1
	７０代以上	488	31.9
	無回答	46	3.0
居住地域	高山地域	972	63.5
	東地区	60	3.9
	西地区	87	5.7
	南地区	123	8.0
	北地区	172	11.2
	山王地区	154	10.1
	江名子地区	57	3.7
	新宮地区	104	6.8
	三枝地区	61	4.0
	大八地区	76	5.0
	岩滝地区	7	0.5
	花里地区	71	4.6
	丹生川地域	80	5.2
	清見地域	43	2.8
	荘川地域	26	1.7
	一之宮地域	45	2.9
	久々野地域	67	4.4
	朝日地域	30	2.0
	高根地域	15	1.0
	国府地域	137	9.0
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	63	4.1
	無回答	52	3.4

		件数（件）	構成比（%）
家族構成	単身世帯	155	10.1
	夫婦のみ	366	23.9
	二世代世帯	596	39.0
	（うち中学生以下の子と同居）	(207)	(13.5)
	三世代世帯	299	19.5
	（うち中学生以下の子と同居）	(180)	(11.8)
	その他（※１）	31	2.0
	無回答	83	5.4
職業	農林畜産業	85	5.6
	自営業	145	9.5
	会社員・公務員・団体職員	432	28.2
	パート・アルバイト・内職	287	18.8
	家事従事者	96	6.3
	学生	24	1.6
	無職	348	22.8
	その他（※２）	30	2.0
	無回答	83	5.4
定住年数	１年未満	14	0.9
	１年以上～５年未満	34	2.2
	５年以上～１０年未満	37	2.4
	１０年以上～２０年未満	118	7.7
	２０年以上	1,273	83.2
	無回答	54	3.5
居住形態	持ち家（分譲マンション・家族所有含む）	1,300	85.0
	借家（アパート含む）	157	10.3
	間借	5	0.3
	社宅・寮	15	1.0
	その他（※３）	5	0.3
	無回答	48	3.1

「その他」の内容
※１　四世代世帯、兄弟と同居　など
※２　会社役員、季節労働　など
※３　老人施設入所　など

７　その他

・この報告書における「回答率」は、次の計算式により算出している。

回答率＝回答数／標本数

回答率は百分率（%）で、小数点以下第２位を四捨五入しているため、合計値が必ずしも100%とならない。また、２つ以上の回答を求めたものについての合計値は100%を超える。

第２章　　調査結果の分析

１　高山市への想いや生活環境について

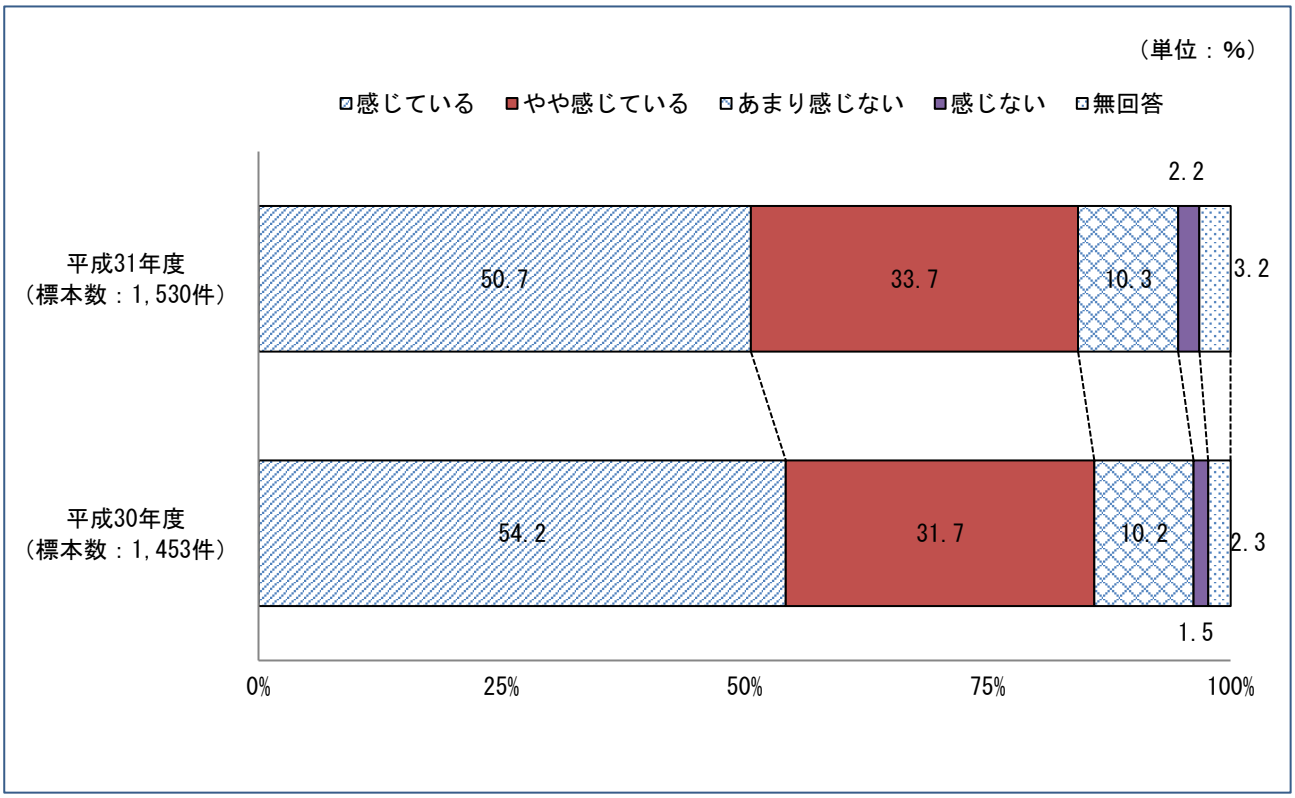
１　高山市への「誇り」や「愛着」

- 「感じている」の割合が最も高いが、前回（H30）の調査結果に比べ 3.5 ポイント低下している。一方、「やや感じている」の割合が 2.0 ポイント上昇している。
- 「感じている」と「やや感じている」を合わせると 84.4%を占めているが、前回（H30）の調査結果（85.9%）に比べ 1.5 ポイント低下している。

問１　あなたは、高山市に対し「誇り」や「愛着」を感じていますか。（１つに○印）

	回答数（件）	回答率（%）
感じている	775	50.7
やや感じている	515	33.7
あまり感じない	158	10.3
感じない	33	2.2
無回答	49	3.2
計	1,530	

（標本数：1,530 件）



属性別集計（年齢別、居住地域別、定住年数別）

		標本数（件）	高山市への「誇り」や「愛着」（%）				
			感じている	やや感じている	あまり感じない	感じない	無回答
年齢	10代・20代	91	53.8	35.2	7.7	3.3	0.0
	30代	145	33.1	48.3	15.9	1.4	1.4
	40代	205	47.8	40.0	8.3	2.9	1.0
	50代	217	41.9	40.6	12.9	3.7	0.9
	60代	338	55.9	31.7	8.9	2.1	1.5
	70代以上	488	58.4	26.6	10.2	1.4	3.3
居住地域	高山地域	972	52.8	34.7	9.1	2.0	1.5
	東地区	60	46.7	40.0	6.7	5.0	1.7
	西地区	87	58.6	29.9	9.2	1.1	1.1
	南地区	123	49.6	39.8	8.1	0.0	2.4
	北地区	172	62.2	27.9	7.6	1.2	1.2
	山王地区	154	53.2	34.4	7.8	3.2	1.3
	江名子地区	57	49.1	43.9	5.3	0.0	1.8
	新宮地区	104	47.1	38.5	10.6	2.9	1.0
	三枝地区	61	42.6	41.0	11.5	1.6	3.3
	大八地区	76	47.4	34.2	11.8	5.3	1.3
	岩滝地区	7	85.7	0.0	14.3	0.0	0.0
	花里地区	71	54.9	29.6	14.1	0.0	1.4
	丹生川地域	80	58.8	28.8	8.8	2.5	1.3
	清見地域	43	51.2	34.9	9.3	2.3	2.3
	荘川地域	26	57.7	30.8	7.7	0.0	3.8
	一之宮地域	45	53.3	33.3	13.3	0.0	0.0
	久々野地域	67	53.7	32.8	11.9	0.0	1.5
	朝日地域	30	43.3	40.0	6.7	3.3	6.7
	高根地域	15	53.3	26.7	13.3	6.7	0.0
	国府地域	137	47.4	33.6	13.9	2.9	2.2
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	63	31.7	33.3	20.6	7.9	6.3
定住年数	1年未満	14	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0
	1年以上～5年未満	34	23.5	41.2	32.4	2.9	0.0
	5年以上～10年未満	37	21.6	43.2	21.6	8.1	5.4
	10年以上～20年未満	118	36.4	46.6	15.3	1.7	0.0
	20年以上	1,273	54.4	32.4	9.1	2.0	2.0

【年齢別】

・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、１０代・２０代（89.0%）が最も高く、３０代（81.4%）が最も低い。

【居住地域別】

・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、江名子地区（93.0%）が最も高く、次いで北地区（90.1%）、南地区（89.4%）が高い。一方、上宝・奥飛騨温泉郷地域（65.0%）が最も低く、次いで高根地域（80.0%）、国府地域（81.0%）が低い。

【定住年数別】

・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、２０年以上（86.8%）が最も高く、１年以上～５年未満（64.7%）が最も低い。

１－２　高山市への「誇り」や「愛着」を感じるところ

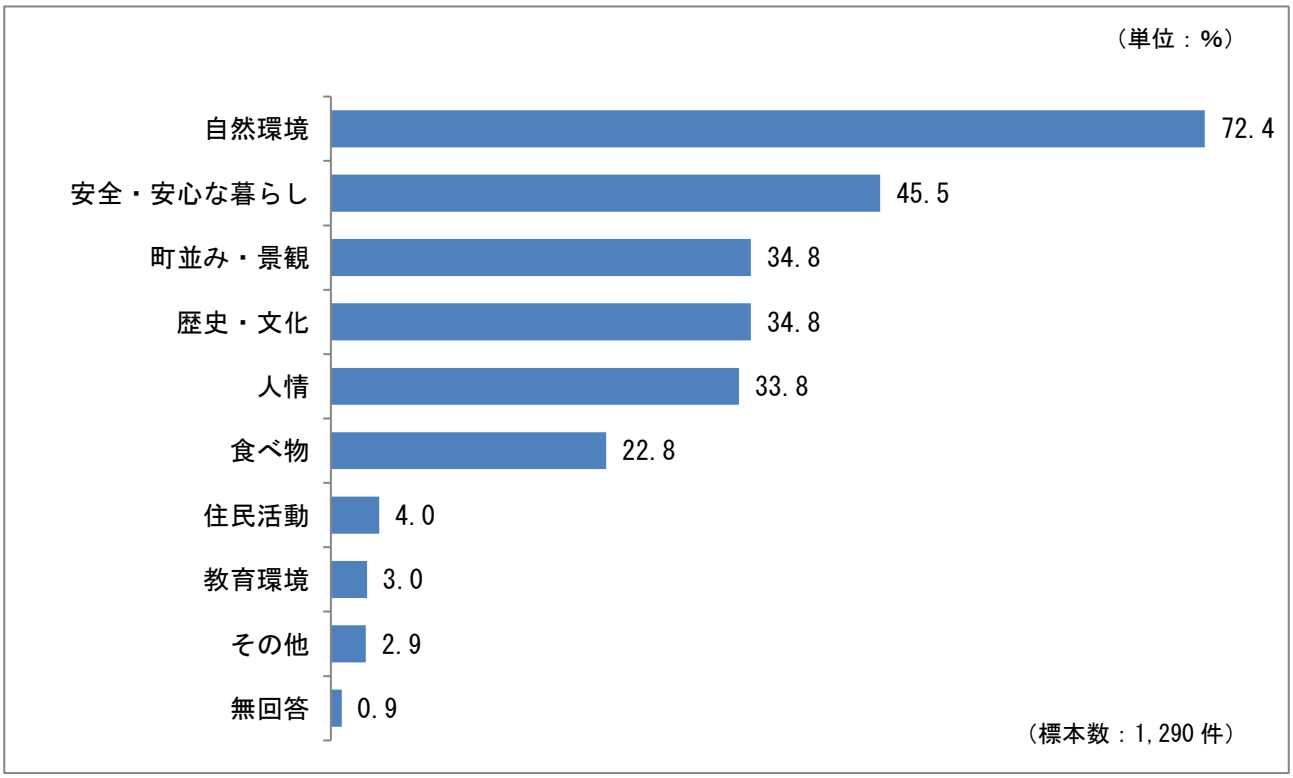
・１位から６位までの順位は、前回（H30）の調査結果と同じである。
・「自然環境」の割合が最も高いが、前回（H30）の調査結果と比べ 2.1 ポイント低下している。

問１―２　問１で、「感じている」または「やや感じている」に○をつけた方に伺います。どんなところに「誇り」や「愛着」を感じますか。（３つまで○印）

順位		回答数（件）	回答率（%）	前回(H30) 順位	前回(H30) 回答率(%)
1	自然環境	934	72.4	1	74.5
2	安全・安心な暮らし	587	45.5	2	43.9
3	町並み・景観	449	34.8	3	37.2
3	歴史・文化	449	34.8	4	36.6
5	人情	436	33.8	5	32.6
6	食べ物	294	22.8	6	20.8
7	住民活動	52	4.0	8	3.8
8	教育環境	39	3.0	7	4.3
	その他	37	2.9		2.7
	無回答	11	0.9		0.6
計		3,288			

（標本数：1,290 件）　（標本数：1,249 件）

※「その他」の内容
・「生まれ育った場所だから」、「知名度が高い」　など



属性別集計（年齢別、居住地域別、定住年数別）

		標本数（件）	高山市への「誇り」や「愛着」を感じるところ（%）									
			自然環境	安全・安心な暮らし	町並み・景観	歴史・文化	人情	食べ物	住民活動	教育環境	その他	無回答
年齢	10代・20代	81	59.3	43.2	50.6	32.1	38.3	27.2	3.7	2.5	1.2	1.2
	30代	118	66.1	43.2	54.2	29.7	17.8	31.4	0.0	7.6	4.2	2.5
	40代	180	65.0	45.6	46.1	33.3	31.1	26.1	2.8	6.1	2.8	1.1
	50代	179	72.1	32.4	44.1	39.7	29.1	26.3	3.4	2.8	1.7	0.0
	60代	296	79.4	48.0	27.7	39.5	31.4	20.9	4.7	1.4	3.0	0.7
	70代以上	415	74.7	50.6	23.1	32.5	41.7	18.1	5.3	1.7	3.4	0.7
居住地域	高山地域	850	67.9	47.4	40.8	36.9	30.8	22.9	3.3	2.6	3.2	0.7
	東地区	52	57.7	46.2	44.2	44.2	28.8	17.3	3.8	1.9	5.8	1.9
	西地区	77	64.9	46.8	49.4	44.2	26.0	18.2	2.6	0.0	2.6	0.0
	南地区	110	65.5	60.0	31.8	28.2	34.5	23.6	5.5	4.5	0.9	0.9
	北地区	155	71.0	49.0	39.4	34.8	31.0	20.0	1.9	2.6	2.6	0.6
	山王地区	135	63.0	43.0	45.2	44.4	34.1	20.7	3.7	2.2	5.2	0.0
	江名子地区	53	73.6	41.5	54.7	32.1	30.2	35.8	0.0	1.9	0.0	0.0
	新宮地区	89	71.9	42.7	39.3	33.7	27.0	23.6	3.4	0.0	3.4	1.1
	三枝地区	51	76.5	41.2	39.2	29.4	27.5	29.4	3.9	2.0	2.0	3.9
	大八地区	62	66.1	50.0	38.7	45.2	29.0	27.4	1.6	6.5	1.6	0.0
	岩滝地区	6	66.7	50.0	16.7	16.7	83.3	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
	花里地区	60	71.7	46.7	33.3	35.0	30.0	25.0	6.7	3.3	6.7	0.0
	丹生川地域	70	84.3	50.0	24.3	34.3	42.9	18.6	1.4	4.3	0.0	1.4
	清見地域	37	89.2	27.0	18.9	37.8	43.2	27.0	8.1	5.4	5.4	0.0
	荘川地域	23	82.6	26.1	34.8	39.1	56.5	17.4	0.0	4.3	0.0	0.0
	一之宮地域	39	84.6	30.8	33.3	33.3	25.6	17.9	7.7	7.7	0.0	0.0
	久々野地域	58	84.5	44.8	19.0	27.6	43.1	29.3	5.2	3.4	0.0	0.0
	朝日地域	25	80.0	48.0	16.0	16.0	52.0	20.0	8.0	4.0	0.0	4.0
	高根地域	12	83.3	58.3	16.7	25.0	50.0	25.0	8.3	0.0	16.7	0.0
	国府地域	111	73.9	47.7	27.0	32.4	33.3	22.5	4.5	3.6	1.8	1.8
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	41	85.4	41.5	12.2	26.8	43.9	14.6	12.2	0.0	2.4	2.4
定住年数	1年未満	12	75.0	33.3	66.7	41.7	25.0	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0
	1年以上～5年未満	22	68.2	31.8	50.0	22.7	36.4	31.8	0.0	0.0	4.5	0.0
	5年以上～10年未満	24	70.8	45.8	33.3	29.2	16.7	20.8	4.2	0.0	8.3	0.0
	10年以上～20年未満	98	60.2	31.6	43.9	37.8	30.6	27.6	1.0	7.1	3.1	1.0
	20年以上	1,106	73.1	47.3	34.0	35.1	33.7	22.1	4.4	2.7	2.6	0.9

【年齢別】

・全ての年代で「自然環境」の割合が最も高い。

・２番目に割合が高いのは、５０代以下は「町並み・景観」で、６０代以上は「安全・安心な暮らし」である。

【居住地域別】

・岩滝地区のみ「人情」の割合が最も高く、そのほかの地域は「自然環境」の割合が最も高い。

・高山地域よりも、支所地域の方が「自然環境」の割合が高い傾向にある。

【定住年数別】

・全ての年数で「自然環境」の割合が最も高い。

・１年未満は他の定住年数と比べ「町並み・景観」の割合が特に高い。

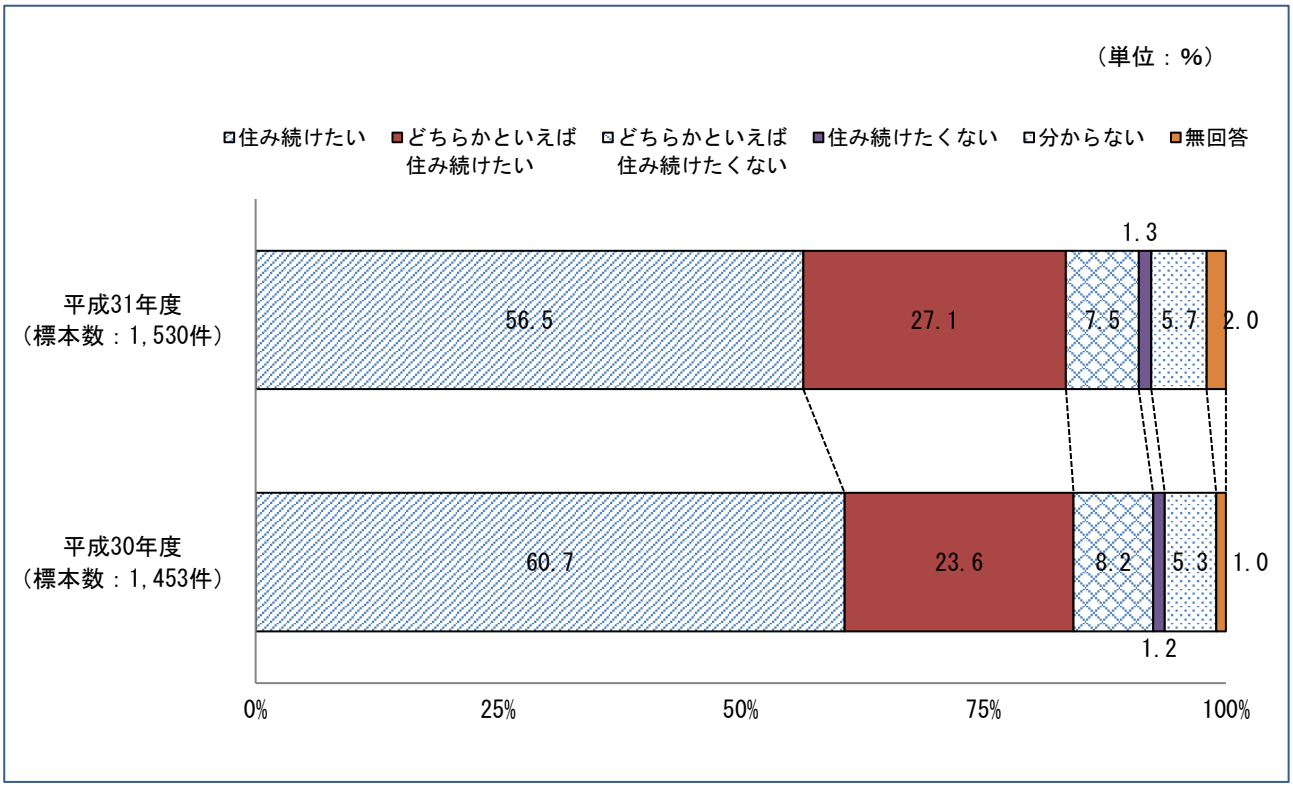
２　高山市への定住意向

- **「住み続けたい」の割合が最も高い。**
- **「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせると 83.6%を占めているが、前回（H30）の調査結果（84.3%）に比べ 0.7 ポイント低下している。**

問２　あなたは、これからも高山市に住み続けたいと思いますか。（１つに○印）

	回答数（件）	回答率（%）
住み続けたい	865	56.5
どちらかといえば住み続けたい	414	27.1
どちらかといえば住み続けたくない	114	7.5
住み続けたくない	20	1.3
分からない	87	5.7
無回答	30	2.0
計	1,530	

（標本数：1,530 件）



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数（件）	高山市への定住意向（%）					
			住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない	分からない	無回答
年齢	10代・20代	91	40.7	24.2	20.9	1.1	12.1	1.1
	30代	145	42.8	41.4	9.0	1.4	5.5	0.0
	40代	205	48.8	31.2	8.3	2.4	8.3	1.0
	50代	217	47.5	34.6	10.6	0.9	6.0	0.5
	60代	338	58.6	27.8	6.5	1.5	5.6	0.0
	70代以上	488	71.5	18.6	4.1	1.0	3.5	1.2
居住地域	高山地域	972	57.2	28.4	7.9	0.9	5.2	0.3
	東地区	60	53.3	26.7	10.0	0.0	10.0	0.0
	西地区	87	58.6	29.9	6.9	1.1	3.4	0.0
	南地区	123	63.4	24.4	6.5	0.0	4.9	0.8
	北地区	172	59.9	27.9	5.2	0.6	5.2	1.2
	山王地区	154	54.5	30.5	7.8	1.9	5.2	0.0
	江名子地区	57	61.4	24.6	12.3	0.0	1.8	0.0
	新宮地区	104	51.0	26.0	13.5	2.9	6.7	0.0
	三枝地区	61	47.5	39.3	8.2	0.0	4.9	0.0
	大八地区	76	47.4	36.8	10.5	0.0	5.3	0.0
	岩滝地区	7	85.7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
	花里地区	71	69.0	22.5	2.8	0.0	5.6	0.0
	丹生川地域	80	72.5	15.0	7.5	3.8	1.3	0.0
	清見地域	43	58.1	27.9	2.3	2.3	2.3	7.0
	荘川地域	26	46.2	23.1	11.5	3.8	11.5	3.8
	一之宮地域	45	46.7	35.6	6.7	2.2	8.9	0.0
	久々野地域	67	68.7	25.4	4.5	0.0	1.5	0.0
	朝日地域	30	50.0	26.7	10.0	0.0	13.3	0.0
	高根地域	15	60.0	33.3	0.0	6.7	0.0	0.0
	国府地域	137	56.9	28.5	5.1	0.7	6.6	2.2
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	63	50.8	19.0	12.7	4.8	12.7	0.0

【年齢別】

・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、１０代・２０代（64.9%）が最も低く、７０代以上（90.1%）が最も高い。

【居住地域別】

・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、久々野地域（94.1%）が最も高く、次いで高根地域（93.3%）、花里地区（91.5%）が高い。一方、荘川地域（69.3%）が最も低く、次いで上宝・奥飛騨温泉郷地域（69.8%）、朝日地域（76.7%）が低い。

属性別集計（定住年数別、居住形態別）

		標本数（件）	高山市への定住意向（%）					
			住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない	分からない	無回答
定住年数	1年未満	14	21.4	35.7	14.3	0.0	28.6	0.0
	1年以上～5年未満	34	23.5	38.2	23.5	8.8	5.9	0.0
	5年以上～10年未満	37	24.3	45.9	18.9	2.7	8.1	0.0
	10年以上～20年未満	118	29.7	39.0	15.3	0.8	12.7	2.5
	20年以上	1,273	61.8	25.7	6.0	1.2	4.9	0.3
居住形態	持ち家（分譲マンション・家族所有含む）	1,300	59.8	26.3	6.8	1.1	5.3	0.7
	借家（アパート含む）	157	36.9	36.3	13.4	3.2	10.2	0.0
	間借	5	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	社宅・寮	15	40.0	33.3	13.3	6.7	6.7	0.0
	その他	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【定住年数別】

・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、１年未満（57.1%）が最も低く、２０年以上（87.5%）が最も高い。

【居住形態別】

・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、間借（100.0%）及びその他（100.0%）が最も高く、次いで持ち家（86.1%）となっており、借家（73.2%）が最も低い。

２－２　高山市に住み続けたくない理由

- 「道路事情や交通の便が悪い」の割合が、前回（H30）の調査結果と同様で最も高い。
- 前回（H30）の調査結果に比べ割合が特に変動したのは、「日常の買い物が不便」が 6.0 ポイント上昇し、「市内に雇用の場が少ない」が 6.1 ポイント、「地下、家賃が高い」が 10.8 ポイントそれぞれ低下している。

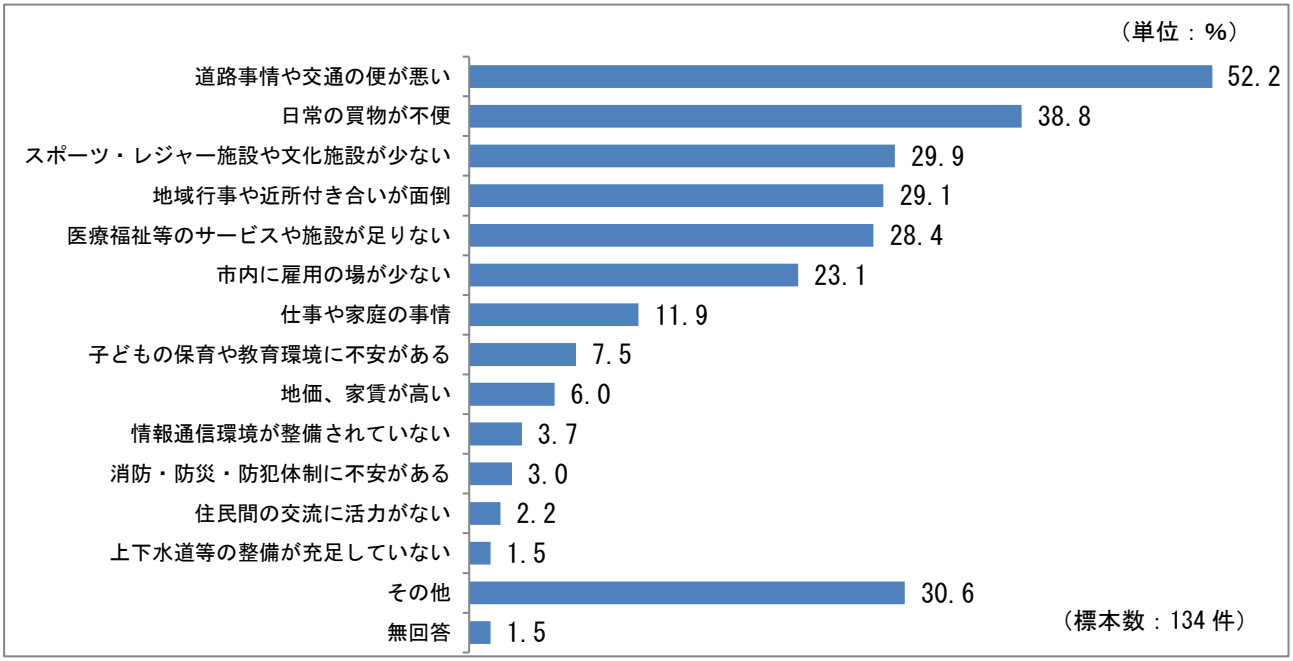
問２－２　問２で、「住み続けたくない」または「どちらかといえば住み続けたくない」に○をつけた方に伺います。高山市に住み続けたくない理由はなんですか。（３つまで○印）

順位		回答数（件）	回答率（%）	前回（H30） 順位	前回（H30） 回答率(%)
1	道路事情や交通の便が悪い	70	52.2	1	48.2
2	日常の買物が不便	52	38.8	3	32.8
3	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	40	29.9	2	34.3
4	地域行事や近所付き合いが面倒	39	29.1	4	31.4
5	医療福祉等のサービスや施設が足りない	38	28.4	6	26.3
6	市内に雇用の場が少ない	31	23.1	5	29.2
7	仕事や家庭の事情	16	11.9	8	10.9
8	子どもの保育や教育環境に不安がある	10	7.5	9	8.8
9	地価、家賃が高い	8	6.0	7	16.8
10	情報通信環境が整備されていない	5	3.7	10	4.4
11	消防・防災・防犯体制に不安がある	4	3.0	12	1.5
12	住民間の交流に活力がない	3	2.2	11	3.6
13	上下水道等の整備が充足していない	2	1.5	13	0.7
	その他	41	30.6		27.7
	無回答	2	1.5		1.5
計		361			

（標本数：134 件）　（標本数：137 件）

※「その他」の内容

- 「冬の生活が厳しい（寒さ、除雪の苦労など）」、「老後の生活が不安」など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		１０代・２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代以上
標本数（件）		20	15	22	25	27	25
高山市に住み続けたくない理由（%）	道路事情や交通の便が悪い	50.0	26.7	59.1	60.0	51.9	56.0
	日常の買物が不便	45.0	40.0	27.3	36.0	33.3	52.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	50.0	46.7	27.3	12.0	25.9	28.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	20.0	40.0	27.3	44.0	22.2	24.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	15.0	13.3	27.3	28.0	40.7	36.0
	市内に雇用の場が少ない	40.0	13.3	13.6	28.0	22.2	20.0
	仕事や家庭の事情	0.0	20.0	9.1	24.0	11.1	8.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	5.0	13.3	22.7	8.0	0.0	0.0
	地価、家賃が高い	15.0	6.7	4.5	8.0	3.7	0.0
	情報通信環境が整備されていない	10.0	6.7	0.0	4.0	3.7	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	10.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0
	住民間の交流に活力がない	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	6.7	4.5	0.0	0.0	0.0
	その他	15.0	26.7	31.8	32.0	44.4	28.0
	無回答	5.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0

【年齢別】

・「道路事情や交通の便が悪い」の割合は、３０代を除き最も高く、３０代は「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合が最も高い。

・１０代・２０代は、他の年代に比べ「市内に雇用の場が少ない」の割合が特に高い。

・３０代と５０代は、他の年代に比べ「地域行事や近所付き合いが面倒」の割合が特に高い。

・４０代は、他の年代に比べ「子どもの保育や教育環境に不安がある」の割合が特に高い。

・６０代と７０代以上は、他の年代に比べ「医療福祉等のサービスや施設が足りない」の割合が特に高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		86	6	7	8	10	15	7	17	5	8	1	2
高山市に住み続けたくない理由（%）	道路事情や交通の便が悪い	45.3	66.7	57.1	50.0	40.0	40.0	42.9	29.4	100.0	37.5	0.0	50.0
	日常の買物が不便	27.9	0.0	42.9	37.5	20.0	13.3	14.3	41.2	40.0	37.5	100.0	0.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	37.2	66.7	57.1	37.5	30.0	26.7	42.9	29.4	60.0	25.0	0.0	50.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	29.1	33.3	28.6	0.0	30.0	33.3	42.9	23.5	40.0	25.0	100.0	50.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	30.2	0.0	42.9	62.5	50.0	20.0	14.3	35.3	20.0	25.0	0.0	0.0
	市内に雇用の場が少ない	26.7	50.0	28.6	0.0	30.0	33.3	14.3	23.5	40.0	25.0	100.0	0.0
	仕事や家庭の事情	14.0	0.0	14.3	25.0	0.0	0.0	0.0	23.5	40.0	25.0	100.0	0.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	7.0	0.0	14.3	12.5	0.0	0.0	14.3	5.9	20.0	0.0	0.0	50.0
	地価、家賃が高い	9.3	0.0	14.3	0.0	30.0	0.0	14.3	11.8	0.0	12.5	0.0	0.0
	情報通信環境が整備されていない	4.7	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	100.0	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	2.3	0.0	14.3	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	住民間の交流に活力がない	2.3	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	20.0	0.0	0.0	0.0
	その他	34.9	50.0	28.6	50.0	20.0	26.7	57.1	35.3	0.0	50.0	0.0	50.0
	無回答	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		9	2	4	4	3	3	1	8	11
高山市に住み続けたくない理由（%）	道路事情や交通の便が悪い	55.6	50.0	75.0	50.0	66.7	66.7	0.0	75.0	72.7
	日常の買物が不便	22.2	50.0	100.0	25.0	66.7	66.7	0.0	50.0	90.9
	スポーツ･レジャー施設や文化施設が少ない	11.1	0.0	0.0	25.0	33.3	0.0	0.0	12.5	18.2
	地域行事や近所付き合いが面倒	22.2	0.0	0.0	0.0	100.0	33.3	0.0	50.0	27.3
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	11.1	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	45.5
	市内に雇用の場が少ない	22.2	50.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	27.3
	仕事や家庭の事情	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	12.5	0.0
	地価、家賃が高い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	情報通信環境が整備されていない	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	22.2	50.0	0.0	75.0	0.0	0.0	100.0	12.5	27.3
	無回答	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【居住地域別】

※居住地域の標本数が少ないため、分析は行わない。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数（件）		2	11	8	19	92
高山市に住み続けたくない理由（%）	道路事情や交通の便が悪い	50.0	45.5	62.5	52.6	52.2
	日常の買物が不便	50.0	27.3	37.5	36.8	40.2
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	100.0	54.5	25.0	31.6	26.1
	地域行事や近所付き合いが面倒	0.0	45.5	37.5	26.3	28.3
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	0.0	27.3	25.0	5.3	33.7
	市内に雇用の場が少ない	0.0	27.3	37.5	26.3	20.7
	仕事や家庭の事情	0.0	9.1	0.0	21.1	12.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	0.0	18.2	12.5	10.5	5.4
	地価、家賃が高い	0.0	9.1	0.0	10.5	5.4
	情報通信環境が整備されていない	0.0	9.1	0.0	0.0	4.3
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	9.1	0.0	0.0	3.3
	住民間の交流に活力がない	0.0	9.1	0.0	0.0	2.2
	上下水道等の整備が充足していない	50.0	0.0	0.0	0.0	1.1
	その他	0.0	18.2	37.5	21.1	33.7
	無回答	0.0	0.0	0.0	5.3	1.1

【定住年数別】

・５年以上は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。

・５年未満は「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合が最も高い。

属性別集計（居住形態別）

		居住形態				
		持ち家（分譲マンション・家族所有含む）	借家（アパート含む）	間借	社宅・寮	その他
標本数（件）		103	26	0	3	0
高山市に住み続けたくない理由（%）	道路事情や交通の便が悪い	55.3	42.3	－	33.3	－
	日常の買物が不便	39.8	34.6	－	33.3	－
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	24.3	50.0	－	66.7	－
	地域行事や近所付き合いが面倒	31.1	23.1	－	33.3	－
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	26.2	34.6	－	33.3	－
	市内に雇用の場が少ない	24.3	19.2	－	0.0	－
	仕事や家庭の事情	10.7	15.4	－	33.3	－
	子どもの保育や教育環境に不安がある	4.9	19.2	－	0.0	－
	地価、家賃が高い	4.9	3.8	－	66.7	－
	情報通信環境が整備されていない	1.9	7.7	－	33.3	－
	消防・防災・防犯体制に不安がある	2.9	3.8	－	0.0	－
	住民間の交流に活力がない	1.9	0.0	－	33.3	－
	上下水道等の整備が充足していない	1.0	3.8	－	0.0	－
	その他	31.1	30.8	－	0.0	－
	無回答	1.9	0.0	－	0.0	－

【居住形態別】

・持ち家は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。

・借家は「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合が最も高い。

・社宅・寮は「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」及び「地価、家賃が高い」の割合が最も高い。

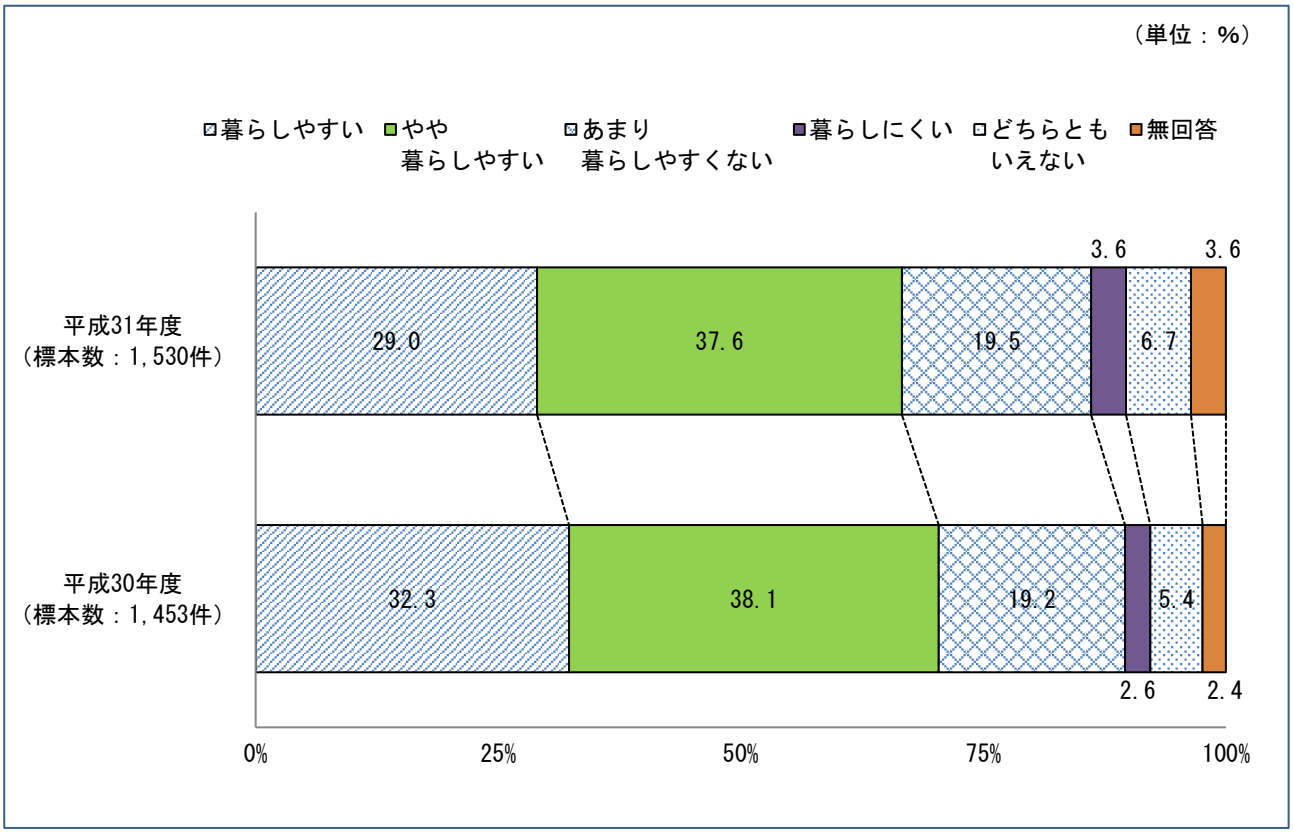
３　高山市の暮らしやすさ

- **「やや暮らしやすい」の割合が最も高い。**
- **「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせると 66.6%を占めているが、前回（H30）の調査結果（70.4%）に比べ 3.8 ポイント低下している。**

問３　全体的に、高山市の暮らしやすさについてどのようにお考えですか。（１つに○印）

	回答数（件）	回答率（%）
暮らしやすい	444	29.0
やや暮らしやすい	575	37.6
あまり暮らしやすくない	299	19.5
暮らしにくい	55	3.6
どちらともいえない	102	6.7
無回答	55	3.6
計	1,530	

（標本数：1,530 件）



属性別集計（年齢別、居住地域別、家族構成別）

		標本数（件）	高山市の暮らしやすさ（%）					
			暮らしやすい	やや暮らしやすい	あまり暮らしやすくない	暮らしにくい	どちらともいえない	無回答
年齢	10代・20代	91	26.4	31.9	23.1	4.4	9.9	4.4
	30代	145	17.9	40.0	27.6	3.4	6.2	4.8
	40代	205	26.3	38.0	23.4	3.9	4.9	3.4
	50代	217	18.0	42.4	26.7	4.6	6.0	2.3
	60代	338	27.5	41.7	17.8	4.4	6.2	2.4
	70代以上	488	40.6	32.4	13.3	2.0	7.6	4.1
居住地域	高山地域	972	31.0	40.2	17.9	2.0	5.7	3.3
	東地区	60	28.3	46.7	13.3	6.7	5.0	0.0
	西地区	87	35.6	37.9	16.1	0.0	8.0	2.3
	南地区	123	38.2	43.1	12.2	0.0	4.1	2.4
	北地区	172	37.2	33.1	18.6	0.6	4.1	6.4
	山王地区	154	24.0	50.6	11.7	3.9	7.1	2.6
	江名子地区	57	35.1	35.1	24.6	1.8	1.8	1.8
	新宮地区	104	22.1	34.6	28.8	4.8	3.8	5.8
	三枝地区	61	24.6	41.0	26.2	1.6	3.3	3.3
	大八地区	76	26.3	43.4	17.1	0.0	11.8	1.3
	岩滝地区	7	14.3	42.9	28.6	0.0	0.0	14.3
	花里地区	71	36.6	35.2	16.9	1.4	8.5	1.4
	丹生川地域	80	40.0	33.8	11.3	6.3	7.5	1.3
	清見地域	43	18.6	39.5	23.3	9.3	7.0	2.3
	荘川地域	26	11.5	34.6	26.9	0.0	11.5	15.4
	一之宮地域	45	15.6	28.9	35.6	11.1	8.9	0.0
	久々野地域	67	26.9	40.3	16.4	4.5	10.4	1.5
	朝日地域	30	23.3	20.0	43.3	10.0	3.3	0.0
	高根地域	15	26.7	40.0	6.7	6.7	13.3	6.7
	国府地域	137	28.5	34.3	20.4	2.9	7.3	6.6
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	63	20.6	22.2	31.7	12.7	9.5	3.2
家族構成	単身世帯	155	30.3	37.4	16.1	3.9	7.7	4.5
	夫婦のみ	366	28.7	36.6	20.8	3.6	7.9	2.5
	二世代世帯	596	28.0	37.9	21.6	3.5	6.0	2.9
	（うち中学生以下の子と同居）	(207)	(24.6)	(38.6)	(24.6)	(3.9)	(4.8)	(3.4)
	三世代世帯	299	30.1	38.5	19.1	3.0	4.7	4.7
	（うち中学生以下の子と同居）	(180)	(27.2)	(43.3)	(18.3)	(2.8)	(4.4)	(3.9)
	その他	31	32.3	41.9	9.7	3.2	9.7	3.2

【年齢別】

・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、７０代以上（73.0%）が最も高く、３０代（57.9%）が最も低い。

【居住地域別】

・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、南地区（81.3%）が最も高く、次いで東地区（75.0％）、山王地区（74.6％）が高い。一方、上宝・奥飛騨温泉郷地域（42.8%）が最も低く、次いで朝日地域（43.3%）、一之宮地域（44.5%）が低い。

【家族構成別】

・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、その他（74.2%）が最も高く、次いで三世代世帯(うち中学生以下の子と同居)（70.5%）となっており、二世代世帯(うち中学生以下の子と同居)（63.2%）が最も低い。

３－２　暮らしにくさを感じるところ

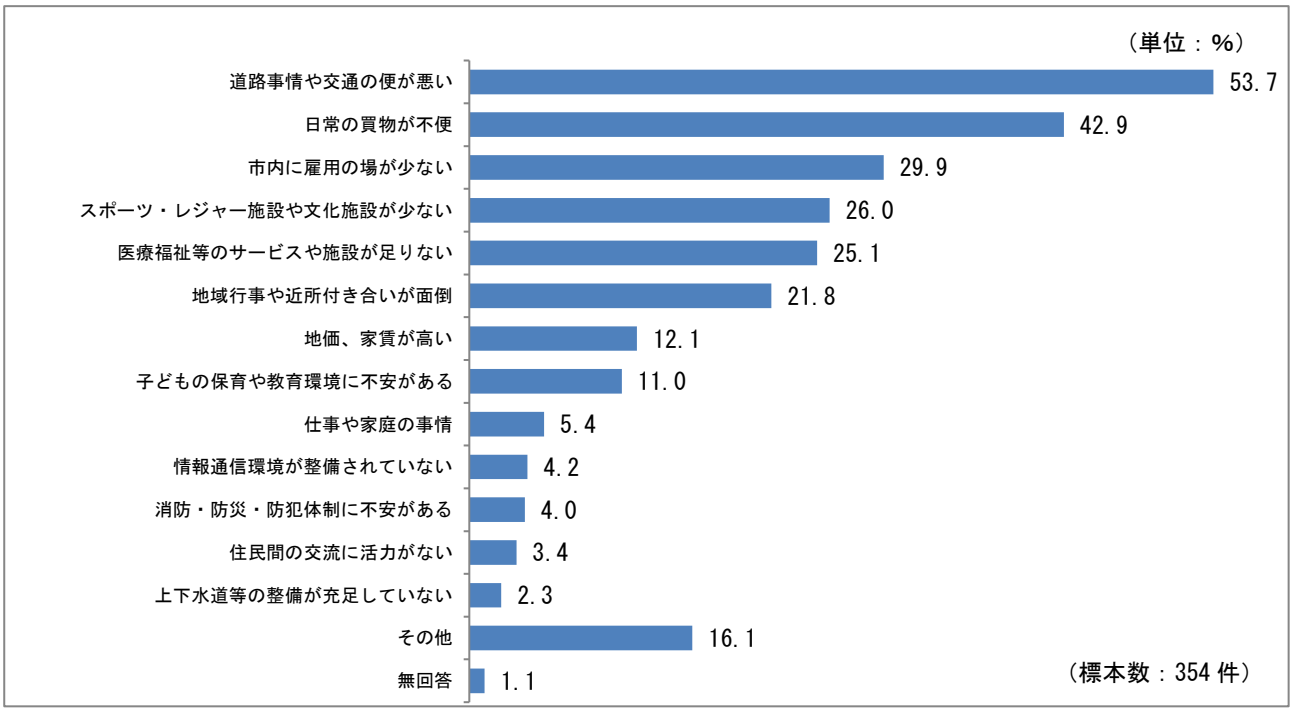
・１位から４位までの順位は、前回（H30）の調査結果と同じである。
・前回（H30）の調査結果に比べ、「市内に雇用の場が少ない」、「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合が特に低下している。

問３－２　問３で、「暮らしにくい」または「あまり暮らしやすくない」に○をつけた方に伺います。どんなところに暮らしにくさを感じますか。（３つまで○印）

順位		回答数（件）	回答率（%）	前回（H30）	
				順位	回答率(%)
1	道路事情や交通の便が悪い	190	53.7	1	51.7
2	日常の買物が不便	152	42.9	2	46.7
3	市内に雇用の場が少ない	106	29.9	3	38.8
4	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	92	26.0	4	33.4
5	医療福祉等のサービスや施設が足りない	89	25.1	6	26.2
6	地域行事や近所付き合いが面倒	77	21.8	5	27.1
7	地価、家賃が高い	43	12.1	7	16.7
8	子どもの保育や教育環境に不安がある	39	11.0	8	12.9
9	仕事や家庭の事情	19	5.4	9	7.9
10	情報通信環境が整備されていない	15	4.2	11	2.5
11	消防・防災・防犯体制に不安がある	14	4.0	12	1.3
12	住民間の交流に活力がない	12	3.4	10	4.1
13	上下水道等の整備が充足していない	8	2.3	12	1.3
	その他	57	16.1		19.2
	無回答	4	1.1		6.9
計		917			

（標本数：354 件）　（標本数：317 件）

※「その他」の内容
・「冬の生活が不便」、「賃金水準が低い」　など



属性別集計（年齢別）

		年齢別					
		１０代・２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代以上
標本数（件）		25	45	56	68	75	75
暮らしにくさを感じるところ（％）	道路事情や交通の便が悪い	52.0	51.1	57.1	52.9	53.3	53.3
	日常の買物が不便	44.0	31.1	41.1	35.3	42.7	54.7
	市内に雇用の場が少ない	28.0	24.4	19.6	33.8	33.3	34.7
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	44.0	46.7	23.2	27.9	22.7	14.7
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	28.0	13.3	23.2	27.9	22.7	34.7
	地域行事や近所付き合いが面倒	8.0	26.7	26.8	32.4	20.0	13.3
	地価、家賃が高い	24.0	15.6	12.5	10.3	12.0	5.3
	子どもの保育や教育環境に不安がある	8.0	8.9	23.2	8.8	9.3	8.0
	仕事や家庭の事情	0.0	6.7	7.1	4.4	8.0	4.0
	情報通信環境が整備されていない	0.0	13.3	3.6	0.0	5.3	4.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	4.0	6.7	1.8	4.4	4.0	4.0
	住民間の交流に活力がない	12.0	2.2	0.0	1.5	4.0	2.7
	上下水道等の整備が充足していない	4.0	4.4	1.8	1.5	2.7	0.0
	その他	12.0	20.0	16.1	25.0	16.0	6.7
	無回答	0.0	0.0	0.0	1.5	2.7	1.3

【年齢別】

・６０代以下は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。

・７０代以上は「日常の買物が不便」の割合が最も高い。

・「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合は、特に３０代以下で高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		193	12	14	15	33	24	15	35	17	13	2	13
暮らしにくさを感じるところ（%）	道路事情や交通の便が悪い	47.2	33.3	42.9	46.7	45.5	37.5	60.0	57.1	41.2	53.8	50.0	46.2
	日常の買物が不便	33.7	8.3	28.6	33.3	18.2	29.2	46.7	51.4	52.9	30.8	100.0	15.4
	市内に雇用の場が少ない	29.5	16.7	28.6	26.7	33.3	33.3	26.7	25.7	11.8	61.5	50.0	30.8
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	30.1	33.3	28.6	33.3	42.4	37.5	20.0	22.9	35.3	15.4	0.0	23.1
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	24.9	16.7	42.9	53.3	24.2	8.3	26.7	20.0	23.5	23.1	0.0	30.8
	地域行事や近所付き合いが面倒	22.3	33.3	7.1	6.7	21.2	25.0	46.7	22.9	17.6	15.4	50.0	23.1
	地価、家賃が高い	17.6	33.3	21.4	26.7	15.2	16.7	20.0	2.9	29.4	15.4	0.0	23.1
	子どもの保育や教育環境に不安がある	8.3	8.3	7.1	6.7	15.2	4.2	0.0	5.7	11.8	15.4	0.0	7.7
	仕事や家庭の事情	7.3	8.3	14.3	0.0	3.0	4.2	6.7	8.6	0.0	15.4	50.0	15.4
	情報通信環境が整備されていない	2.6	16.7	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	2.9	5.9	0.0	0.0	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	2.6	0.0	7.1	0.0	3.0	8.3	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0
	住民間の交流に活力がない	2.1	0.0	7.1	0.0	3.0	0.0	6.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	2.1	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	11.8	0.0	0.0	0.0
	その他	17.6	16.7	14.3	13.3	15.2	25.0	13.3	25.7	11.8	15.4	0.0	15.4
	無回答	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		14	14	7	21	14	16	2	32	28
暮らしにくさを感じるところ（%）	道路事情や交通の便が悪い	71.4	71.4	57.1	47.6	64.3	50.0	100.0	46.9	85.7
	日常の買物が不便	35.7	85.7	85.7	38.1	57.1	81.3	50.0	25.0	71.4
	市内に雇用の場が少ない	14.3	28.6	14.3	47.6	21.4	31.3	50.0	43.8	25.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	35.7	14.3	28.6	28.6	28.6	6.3	0.0	18.8	14.3
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	14.3	7.1	42.9	28.6	21.4	12.5	50.0	31.3	39.3
	地域行事や近所付き合いが面倒	7.1	21.4	0.0	33.3	35.7	0.0	0.0	34.4	17.9
	地価、家賃が高い	21.4	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	6.3	3.6
	子どもの保育や教育環境に不安がある	7.1	0.0	14.3	4.8	7.1	37.5	50.0	25.0	7.1
	仕事や家庭の事情	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	3.6
	情報通信環境が整備されていない	21.4	14.3	14.3	4.8	7.1	0.0	0.0	6.3	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	0.0	9.5	14.3	6.3	0.0	6.3	3.6
	住民間の交流に活力がない	0.0	7.1	0.0	4.8	0.0	25.0	0.0	0.0	3.6
	上下水道等の整備が充足していない	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	3.1	3.6
	その他	14.3	7.1	14.3	33.3	14.3	18.8	50.0	6.3	3.6
	無回答	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6

【居住地域別】

・「道路事情や交通の便が悪い」の割合が多くの地域で最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	三世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	その他
標本数（件）		31	89	150	(59)	66	(38)	4
暮らしにくさを感じるところ（%）	道路事情や交通の便が悪い	54.8	60.7	48.7	(45.8)	57.6	(63.2)	50.0
	日常の買物が不便	48.4	39.3	40.0	(37.3)	47.0	(52.6)	100.0
	市内に雇用の場が少ない	22.6	37.1	22.0	(11.9)	39.4	(36.8)	0.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	16.1	25.8	28.0	(40.7)	30.3	(28.9)	0.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	22.6	30.3	27.3	(13.6)	18.2	(21.1)	0.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	35.5	20.2	22.7	(25.4)	18.2	(18.4)	0.0
	地価、家賃が高い	25.8	11.2	10.7	(15.3)	10.6	(10.5)	0.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	6.5	6.7	12.0	(25.4)	13.6	(13.2)	25.0
	仕事や家庭の事情	9.7	4.5	4.7	(5.1)	6.1	(0.0)	25.0
	情報通信環境が整備されていない	3.2	4.5	4.7	(3.4)	4.5	(2.6)	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	4.5	4.7	(1.7)	3.0	(5.3)	0.0
	住民間の交流に活力がない	3.2	3.4	1.3	(1.7)	4.5	(5.3)	50.0
	上下水道等の整備が充足していない	6.5	3.4	0.7	(1.7)	3.0	(0.0)	0.0
	その他	9.7	18.0	18.0	(18.6)	12.1	(13.2)	0.0
	無回答	0.0	0.0	2.0	(0.0)	0.0	(0.0)	0.0

【家族構成別】

・その他以外は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。

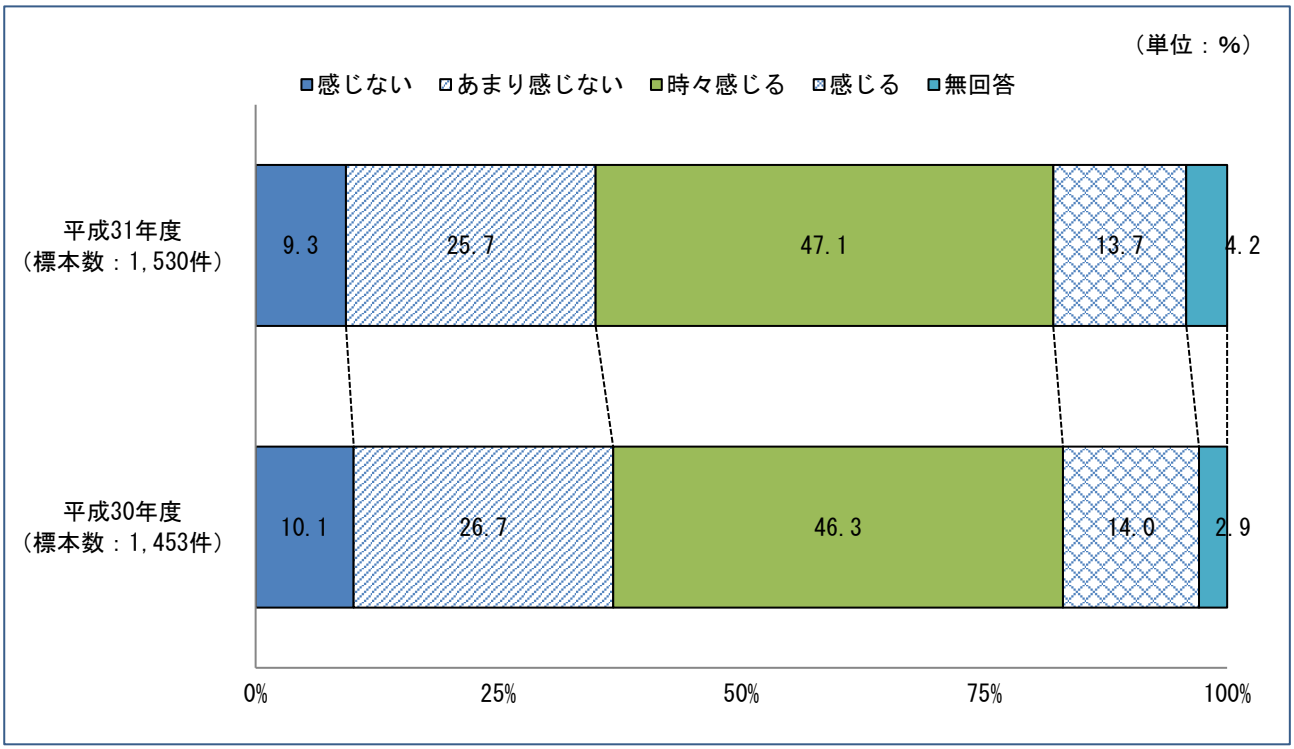
４　日常生活での不安

- 「時々感じる」の割合が最も高い。
- 「感じる」と「時々感じる」を合わせると60.8%を占め、前回（H30）の調査結果（60.3%）とほぼ同様である。

問４　あなたは、日常の暮らしの中で不安を感じることはありますか。（１つに○印）

	回答数（件）	回答率（%）
感じない	142	9.3
あまり感じない	393	25.7
時々感じる	720	47.1
感じる	210	13.7
無回答	65	4.2
計	1,530	

（標本数：1,530 件）



属性別集計（年齢別、居住地域別、家族構成別）

		標本数（件）	暮らしの中での不安（%）				
			感じない	あまり感じない	時々感じる	感じる	無回答
年齢	10代・20代	91	18.7	38.5	24.2	14.3	4.4
	30代	145	8.3	26.2	46.2	14.5	4.8
	40代	205	5.9	28.8	48.8	12.7	3.9
	50代	217	4.6	28.6	52.5	12.0	2.3
	60代	338	6.5	22.8	49.1	18.0	3.6
	70代以上	488	13.3	23.0	47.1	11.5	5.1
居住地域	高山地域	972	9.4	27.0	46.7	13.1	3.9
	東地区	60	8.3	31.7	43.3	15.0	1.7
	西地区	87	13.8	24.1	43.7	14.9	3.4
	南地区	123	8.9	28.5	48.8	8.1	5.7
	北地区	172	10.5	25.0	47.1	11.6	5.8
	山王地区	154	7.8	26.0	47.4	16.2	2.6
	江名子地区	57	8.8	29.8	43.9	12.3	5.3
	新宮地区	104	11.5	22.1	45.2	17.3	3.8
	三枝地区	61	0.0	37.7	45.9	13.1	3.3
	大八地区	76	10.5	23.7	52.6	11.8	1.3
	岩滝地区	7	14.3	0.0	71.4	14.3	0.0
	花里地区	71	9.9	32.4	43.7	9.9	4.2
	丹生川地域	80	10.0	26.3	48.8	13.8	1.3
	清見地域	43	9.3	16.3	53.5	18.6	2.3
	荘川地域	26	7.7	19.2	46.2	15.4	11.5
	一之宮地域	45	8.9	24.4	46.7	20.0	0.0
	久々野地域	67	11.9	20.9	52.2	10.4	4.5
	朝日地域	30	3.3	16.7	60.0	20.0	00
	高根地域	15	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0
	国府地域	137	8.0	29.2	42.3	13.9	6.6
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	63	14.3	17.5	46.0	15.9	6.3
家族構成	単身世帯	155	7.1	19.4	51.6	16.8	5.2
	夫婦のみ	366	10.4	22.7	48.4	15.8	2.7
	二世代世帯	596	9.7	28.0	45.6	12.9	3.7
	（うち中学生以下の子と同居）	(207)	(8.2)	(27.1)	(49.3)	(12.1)	(3.4)
	三世代世帯	299	7.0	28.8	47.5	11.0	5.7
	（うち中学生以下の子と同居）	(180)	(5.6)	(29.4)	(51.1)	(9.4)	(4.4)
	その他	31	9.7	22.6	45.2	16.1	6.5

【年齢別】

・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、６０代（67.1%）が最も高く、１０代・２０代（38.5%）が最も低い。

【居住地域別】

・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、岩滝地区（85.7%）が最も高く、次いで朝日地域（80.0%）、高根地域（80.0%）が高い。一方、花里地区（53.6%）が最も低く、次いで江名子地域（56.2%）、国府地域（56.2%）が低い。

【家族構成別】

・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、単身世帯（68.4%）が最も高く、二世代世帯及び三世代世帯（58.5%）が最も低い。

４－２　不安を感じるところ

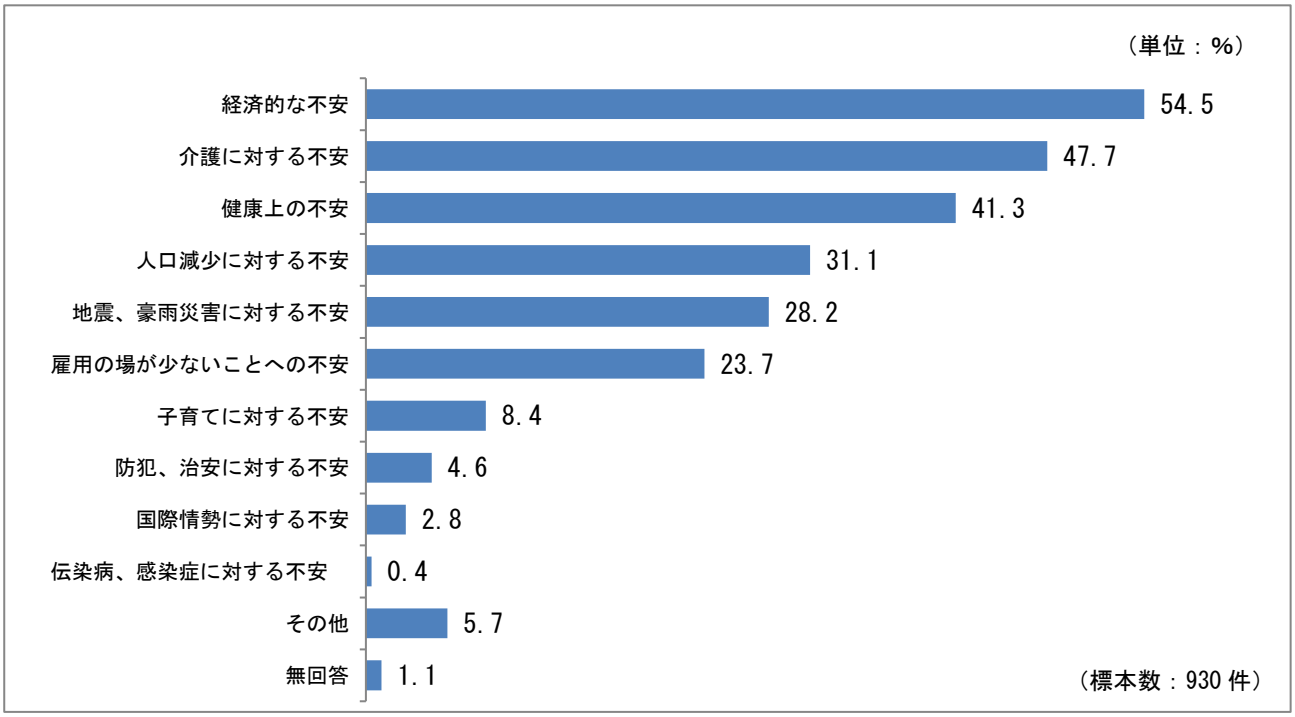
・上位からの順位は、5・6 位が入れ替わったことを除き前回（H30）の調査結果と同じである。
・前回（H30）の調査結果に比べ、「地震、豪雨災害に対する不安」の割合が最も上昇している。

問４－２　問４で、「感じる」または「時々感じる」に○をつけた方に伺います。どんなところに不安を感じますか。（３つまで○印）

順位		回答数（件）	回答率（%）	前回（H30）	
				順位	回答率(%)
1	経済的な不安	507	54.5	1	57.9
2	介護に対する不安	444	47.7	2	50.1
3	健康上の不安	384	41.3	3	40.2
4	人口減少に対する不安	289	31.1	4	29.0
5	地震、豪雨災害に対する不安	262	28.2	6	20.9
6	雇用の場が少ないことへの不安	220	23.7	5	27.9
7	子育てに対する不安	78	8.4	7	8.9
8	防犯、治安に対する不安	43	4.6	8	4.2
9	国際情勢に対する不安	26	2.8	9	3.0
10	伝染病、感染症に対する不安	4	0.4	10	0.8
	その他	53	5.7		8.4
	無回答	10	1.1		5.4
計		2,320			

（標本数：930 件）　（標本数：876 件）

※「その他」の内容
・「自分の老後」、「日常における移動手段」、「病院・医師不足」　など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		１０代・２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代以上
標本数(件)		35	88	126	140	227	286
不安を感じるところ(%)	経済的な不安	71.4	63.6	66.7	60.0	55.1	40.2
	介護に対する不安	22.9	26.1	34.9	44.3	51.1	61.2
	健康上の不安	8.6	9.1	21.4	37.1	46.3	61.2
	人口減少に対する不安	37.1	28.4	24.6	27.9	34.8	33.2
	雇用の場が少ないことへの不安	54.3	33.0	31.7	33.6	20.3	12.9
	地震、豪雨災害に対する不安	20.0	29.5	31.7	23.6	31.3	28.7
	子育てに対する不安	17.1	27.3	17.5	7.9	2.2	1.7
	防犯、治安に対する不安	11.4	5.7	7.9	2.9	3.1	4.5
	国際情勢に対する不安	0.0	3.4	1.6	5.0	3.5	2.1
	伝染病、感染症に対する不安	2.9	0.0	0.8	0.0	0.4	0.0
	その他	5.7	5.7	5.6	7.1	7.9	3.8
	無回答	2.9	1.1	2.4	0.7	0.9	0.7

【年齢別】

・６０代以下は「経済的な不安」の割合が最も高い。

・７０代以上は「介護に対する不安」及び「健康上の不安」の割合が最も高い。

・１０代・２０代は、他の年代に比べ「雇用の場が少ないことへの不安」の割合が特に高い。

・３０代は、他の年代に比べ「子育てに対する不安」の割合が特に高い。

・「介護に対する不安」と「健康上の不安」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数(件)		581	35	51	70	101	98	32	65	36	49	6	38
不安を感じるところ(%)	経済的な不安	56.6	68.6	52.9	52.9	53.5	52.0	65.6	64.6	58.3	65.3	50.0	44.7
	介護に対する不安	49.7	45.7	54.9	55.7	43.6	53.1	56.3	41.5	58.3	46.9	33.3	50.0
	健康上の不安	41.7	40.0	45.1	38.6	49.5	38.8	40.6	40.0	38.9	46.9	33.3	31.6
	人口減少に対する不安	25.0	20.0	23.5	30.0	20.8	27.6	21.9	23.1	22.2	28.6	50.0	26.3
	雇用の場が少ないことへの不安	23.4	22.9	19.6	24.3	20.8	25.5	21.9	30.8	19.4	24.5	50.0	15.8
	地震、豪雨災害に対する不安	28.2	25.7	29.4	25.7	25.7	32.7	31.3	24.6	30.6	32.7	16.7	26.3
	子育てに対する不安	8.6	5.7	7.8	5.7	9.9	7.1	9.4	12.3	8.3	6.1	16.7	13.2
	防犯、治安に対する不安	5.2	2.9	0.0	4.3	5.9	5.1	9.4	4.6	2.8	8.2	0.0	10.5
	国際情勢に対する不安	2.6	0.0	3.9	0.0	5.9	2.0	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	5.3
	伝染病、感染症に対する不安	0.7	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	5.2	2.9	5.9	4.3	5.9	5.1	3.1	6.2	5.6	0.0	16.7	10.5
	無回答	1.2	5.7	2.0	1.4	1.0	1.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数(件)		50	31	16	30	42	24	12	77	39
不安を感じるところ(%)	経済的な不安	58.0	54.8	12.5	50.0	52.4	50.0	25.0	58.4	38.5
	介護に対する不安	46.0	48.4	56.3	46.7	35.7	33.3	50.0	45.5	46.2
	健康上の不安	28.0	45.2	31.3	33.3	50.0	50.0	50.0	45.5	33.3
	人口減少に対する不安	44.0	41.9	68.8	30.0	38.1	41.7	75.0	28.6	69.2
	雇用の場が少ないことへの不安	20.0	19.4	18.8	30.0	26.2	33.3	25.0	19.5	41.0
	地震、豪雨災害に対する不安	28.0	35.5	18.8	33.3	35.7	25.0	8.3	31.2	23.1
	子育てに対する不安	6.0	0.0	12.5	10.0	4.8	20.8	0.0	13.0	5.1
	防犯、治安に対する不安	4.0	3.2	6.3	6.7	2.4	4.2	8.3	1.3	2.6
	国際情勢に対する不安	6.0	3.2	6.3	3.3	0.0	4.2	0.0	2.6	0.0
	伝染病、感染症に対する不安	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	2.0	6.5	6.3	6.7	4.8	12.5	8.3	3.9	15.4
	無回答	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0

【居住地域別】

・「経済的な不安」の割合は多くの地域で最も高い。

・「人口減少に対する不安」の割合は、高山地域と支所地域で傾向が異なり、高山地域は 30%以上は１１地区中２地区、支所地域は 30%以上は９地域中８地域（40%以上は６地域）となっている。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	三世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	その他
標本数(件)		106	235	349	(127)	175	(109)	19
不安を感じるところ(%)	経済的な不安	59.4	49.8	59.6	(60.6)	49.7	(51.4)	47.4
	介護に対する不安	43.4	54.9	43.6	(31.5)	48.0	(46.8)	42.1
	健康上の不安	60.4	51.1	31.5	(18.9)	33.7	(28.4)	57.9
	人口減少に対する不安	19.8	32.3	30.9	(29.1)	36.0	(37.6)	31.6
	雇用の場が少ないことへの不安	13.2	19.6	26.9	(26.0)	29.7	(29.4)	36.8
	地震、豪雨災害に対する不安	26.4	29.4	26.1	(31.5)	32.0	(33.0)	26.3
	子育てに対する不安	1.9	1.7	14.6	(30.7)	9.7	(11.0)	10.5
	防犯、治安に対する不安	7.5	5.1	4.0	(4.7)	4.0	(2.8)	5.3
	国際情勢に対する不安	0.9	3.4	1.7	(2.4)	4.6	(1.8)	5.3
	伝染病、感染症に対する不安	0.0	0.4	0.6	(1.6)	0.6	(0.9)	0.0
	その他	3.8	7.7	6.6	(9.4)	4.6	(5.5)	0.0
	無回答	0.0	0.4	1.7	(2.4)	0.6	(0.9)	5.3

【家族構成別】

・二世代世帯、三世代世帯は「経済的な不安」の割合が最も高い。

・単身世帯は「健康上の不安」の割合が最も高い。

・夫婦のみの世帯は「介護に対する不安」の割合が最も高い。

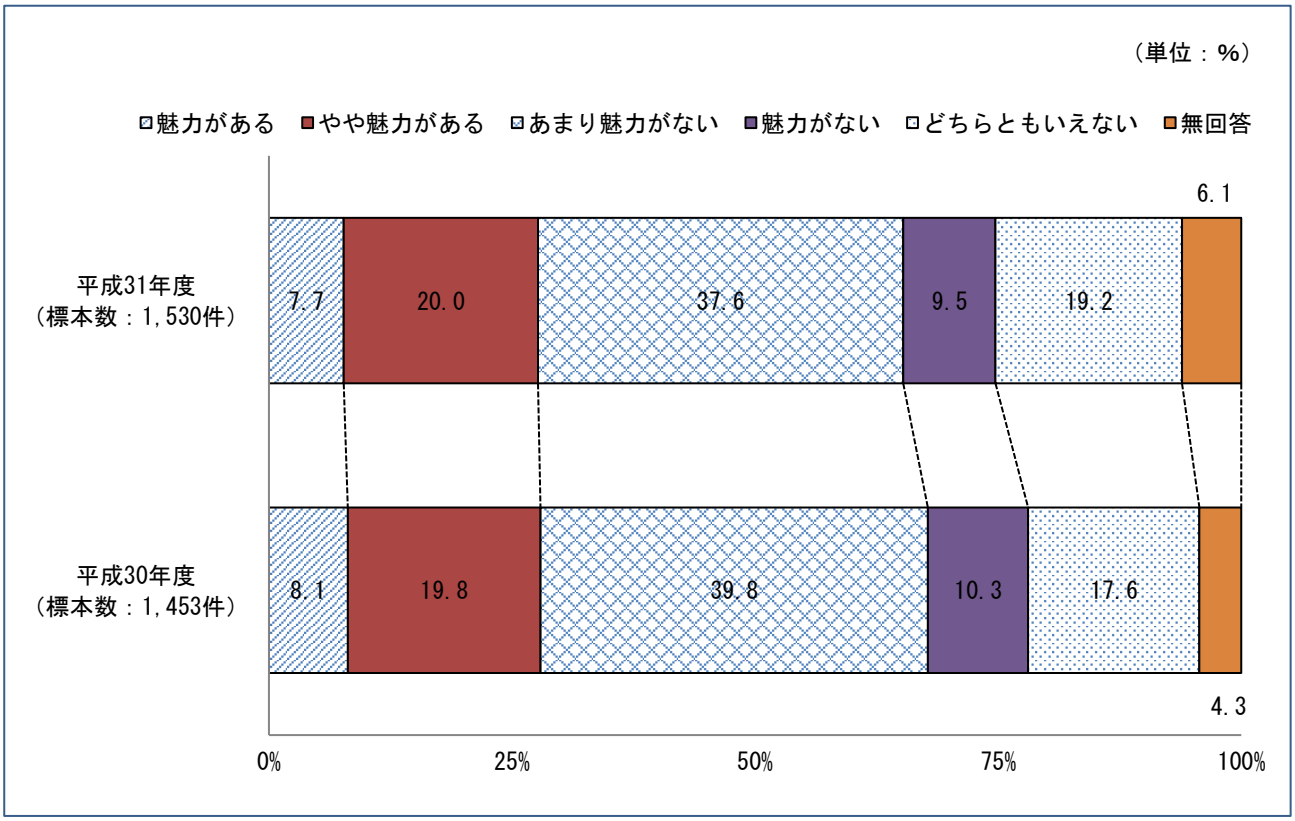
５　働く場としての高山市の魅力

- 「あまり魅力がない」の割合が最も高い。
- 「魅力がない」と「あまり魅力がない」を合わせると 47.1%を占めるが、前回（H30）の調査結果（50.1%）に比べ 3.0 ポイント改善している。

問５　あなたは、働く場としての高山市に魅力を感じますか。（１つに○印）

	回答数（件）	回答率（%）
魅力がある	118	7.7
やや魅力がある	306	20.0
あまり魅力がない	575	37.6
魅力がない	145	9.5
どちらともいえない	293	19.2
無回答	93	6.1
計	1,530	

（標本数：1,530 件）



属性別集計（性別、年齢別）

		標本数(件)	高山市の働く場としての魅力（%）					
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	無回答
性別	男	623	8.0	19.7	41.1	10.6	13.8	6.7
	女	826	7.4	19.7	35.6	9.0	23.1	5.2
年齢	１０代・２０代	91	9.9	17.6	38.5	17.6	12.1	4.4
	３０代	145	5.5	18.6	44.1	12.4	14.5	4.8
	４０代	205	7.3	22.9	41.5	12.7	11.2	4.4
	５０代	217	6.9	16.1	45.6	13.8	13.8	3.7
	６０代	338	7.7	18.6	43.8	7.4	20.1	2.4
	７０代以上	488	8.8	22.3	25.8	5.5	26.8	10.7

【性別】

・男女ともに「あまり魅力がない」の割合が最も高い。

【年齢別】

・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、７０代以上（31.1%）が最も高く、５０代（23.0%）が最も低い。

属性別集計（居住地域別、職業別）

		標本数(件)	高山市の働く場としての魅力(%)					
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	無回答
居住地域	高山地域	972	7.1	19.9	38.0	10.3	19.0	5.8
	東地区	60	8.3	15.0	38.3	20.0	16.7	1.7
	西地区	87	11.5	21.8	36.8	5.7	14.9	9.2
	南地区	123	5.7	20.3	37.4	8.1	22.0	6.5
	北地区	172	11.0	17.4	36.0	7.0	20.3	8.1
	山王地区	154	3.2	21.4	42.2	9.7	17.5	5.8
	江名子地区	57	8.8	14.0	40.4	10.5	22.8	3.5
	新宮地区	104	5.8	16.3	36.5	16.3	19.2	5.8
	三枝地区	61	1.6	24.6	37.7	13.1	16.4	6.6
	大八地区	76	7.9	25.0	36.8	14.5	13.2	2.6
	岩滝地区	7	14.3	57.1	14.3	0.0	14.3	0.0
	花里地区	71	5.6	19.7	39.4	5.6	26.8	2.8
	丹生川地域	80	12.5	35.0	27.5	8.8	15.0	1.3
	清見地域	43	9.3	11.6	39.5	14.0	18.6	7.0
	荘川地域	26	3.8	34.6	26.9	0.0	26.9	7.7
	一之宮地域	45	2.2	15.6	46.7	6.7	28.9	0.0
	久々野地域	67	9.0	17.9	40.3	6.0	22.4	4.5
	朝日地域	30	3.3	23.3	50.0	6.7	10.0	6.7
	高根地域	15	13.3	20.0	26.7	0.0	33.3	6.7
	国府地域	137	10.2	19.7	39.4	5.1	17.5	8.0
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	63	11.1	12.7	33.3	15.9	14.3	12.7
職業	農林畜産業	85	8.2	35.3	29.4	5.9	15.3	5.9
	自営業	145	12.4	24.1	38.6	12.4	9.7	2.8
	会社員・公務員・団体職員	432	8.3	17.6	45.4	12.7	11.8	4.2
	パート・アルバイト・内職	287	4.5	25.8	41.1	9.8	17.1	1.7
	家事従事者	96	8.3	10.4	35.4	6.3	33.3	6.3
	学生	24	0.0	20.8	45.8	16.7	12.5	4.2
	無職	348	8.0	15.5	28.2	5.5	31.0	11.8
	その他	30	13.3	6.7	46.7	3.3	16.7	13.3

【居住地域別】

・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、岩滝地区（71.4%）が最も高く、次いで丹生川地域（47.5%）、荘川地域（38.4%）が高い。一方、一之宮地域（17.8%）が最も低く、次いで清見地域（20.9%）、新宮地区（22.1%）が低い。

【職業別】

・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、農林畜産業（43.5%）が最も高く、家事従事者（18.7%）が最も低い。

５－２　働く場としての魅力がない理由

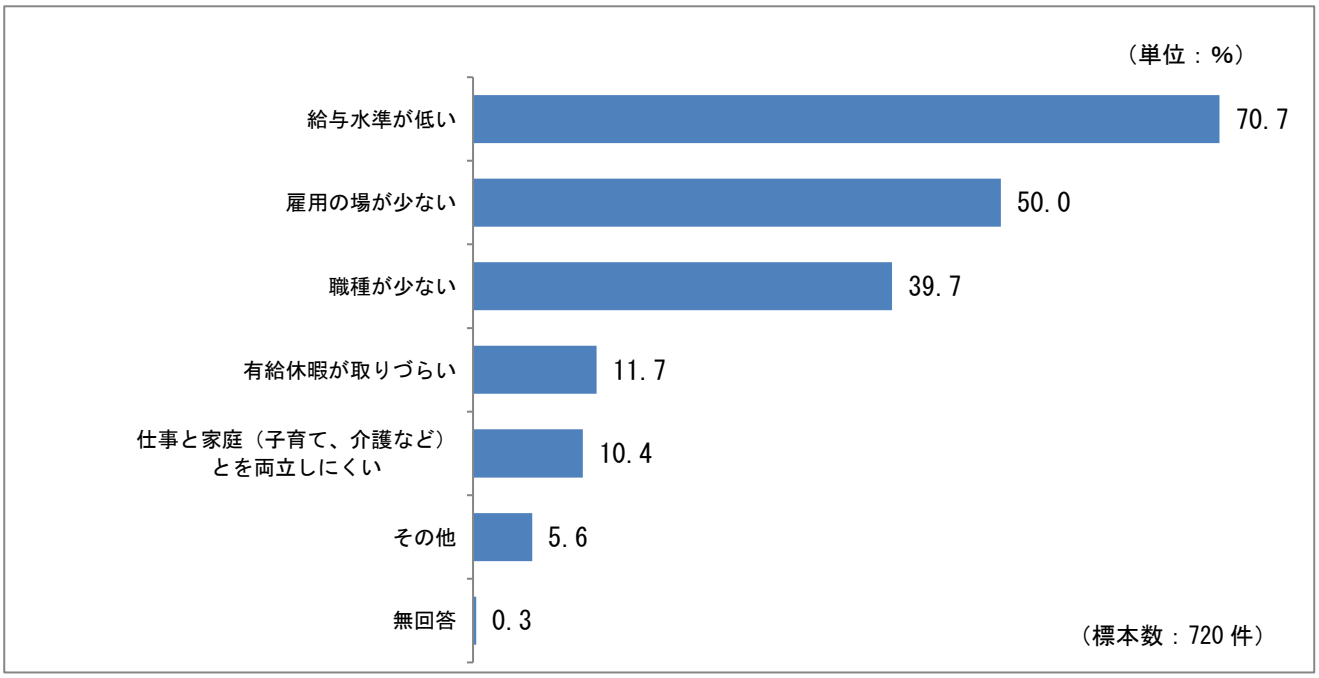
・上位からの順位は、前回（H30）の調査結果と全て同じである。
・前回（H30）の調査結果に比べ、特に「雇用の場が少ない」の割合が低下し、「職種が少ない」の割合が上昇している。

問５－２　問５で、「魅力がない」または「あまり魅力がない」に○をつけた方に伺います。その理由はなんですか。（２つまで○印）

順位		回答数（件）	回答率（%）	前回（H30）	
				順位	回答率(%)
1	給与水準が低い	509	70.7	1	71.6
2	雇用の場が少ない	360	50.0	2	53.6
3	職種が少ない	286	39.7	3	36.5
4	有給休暇が取りづらい	84	11.7	4	13.0
5	仕事と家庭（子育て、介護など）とを両立しにくい	75	10.4	5	11.3
	その他	40	5.6		4.8
	無回答	2	0.3		0.5
計		1,356			

（標本数：720 件）　（標本数：728 件）

※「その他」内容
・「若者の働く場が少ない」、「労働環境が悪い（パワハラ、人間関係等）」　など



属性別集計（性別、年齢別）

		標本数(件)	働く場としての魅力がない理由(%)						
			給与水準が低い	雇用の場が少ない	職種が少ない	有給休暇が取りづらい	仕事と家庭とを両立しにくい	その他	無回答
性別	男	322	72.7	53.4	38.5	10.6	5.0	6.2	0.3
	女	368	68.8	47.0	42.1	12.2	15.8	4.9	0.3
年齢	10代・20代	51	56.9	39.2	51.0	15.7	11.8	5.9	0.0
	30代	82	79.3	34.1	36.6	18.3	18.3	11.0	0.0
	40代	111	73.0	45.0	37.8	15.3	17.1	3.6	0.0
	50代	129	76.7	52.7	41.9	10.1	7.0	3.1	0.0
	60代	173	71.7	56.6	39.9	11.0	6.9	3.5	0.0
	70代以上	153	62.7	54.9	37.9	5.2	8.5	7.8	1.3

【性別】

・男性、女性ともに「給与水準が低い」の割合が最も高い。

・女性は男性に比べ「仕事と家庭とを両立しにくい」の割合が高い。

【年齢別】

・全年代で「給与水準が低い」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別、職業別）

		標本数(件)	働く場としての魅力がない理由(%)						
			給与水準が低い	雇用の場が少ない	職種が少ない	有給休暇が取りづらい	仕事と家庭とを両立しにくい	その他	無回答
居住地域	高山地域	469	72.3	47.5	39.2	11.5	11.3	5.5	0.0
	東地区	35	71.4	45.7	51.4	11.4	5.7	2.9	0.0
	西地区	37	67.6	51.4	27.0	13.5	10.8	8.1	0.0
	南地区	56	73.2	44.6	37.5	5.4	16.1	5.4	0.0
	北地区	74	71.6	43.2	41.9	16.2	12.2	4.1	0.0
	山王地区	80	75.0	51.3	36.3	11.3	11.3	6.3	0.0
	江名子地区	29	62.1	55.2	41.4	6.9	6.9	0.0	0.0
	新宮地区	55	70.9	40.0	36.4	16.4	18.2	7.3	0.0
	三枝地区	31	74.2	48.4	38.7	9.7	3.2	6.5	0.0
	大八地区	39	71.8	56.4	43.6	10.3	10.3	7.7	0.0
	岩滝地区	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	花里地区	32	81.3	43.8	40.6	9.4	9.4	6.3	0.0
	丹生川地域	29	75.9	44.8	48.3	6.9	13.8	3.4	0.0
	清見地域	23	69.6	60.9	26.1	13.0	4.3	4.3	0.0
	荘川地域	7	28.6	71.4	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	一之宮地域	24	70.8	54.2	54.2	4.2	16.7	0.0	0.0
	久々野地域	31	80.6	48.4	29.0	6.5	22.6	6.5	0.0
	朝日地域	17	64.7	58.8	35.3	17.6	11.8	11.8	5.9
	高根地域	4	25.0	100.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	国府地域	61	70.5	55.7	41.0	13.1	4.9	1.6	1.6
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	31	51.6	67.7	48.4	12.9	3.2	6.5	0.0
職業	農林畜産業	30	56.7	60.0	36.7	3.3	6.7	6.7	3.3
	自営業	74	71.6	52.7	41.9	9.5	5.4	13.5	0.0
	会社員・公務員・団体職員	251	78.1	45.8	37.1	15.1	10.8	5.6	0.0
	パート・アルバイト・内職	146	72.6	50.0	36.3	12.3	13.7	3.4	0.0
	家事従事者	40	62.5	42.5	45.0	12.5	17.5	2.5	0.0
	学生	15	46.7	53.3	60.0	13.3	6.7	0.0	0.0
	無職	117	59.8	55.6	47.9	6.0	9.4	2.6	0.9
	その他	15	53.3	60.0	40.0	13.3	6.7	20.0	0.0

【居住地域別】

・「給与水準が低い」の割合が多くの地域で最も高い。

【職業別】

・自営業、会社員・公務員・団体職員、パート・アルバイト・内職、家事従事者及び無職は「給与水準が低い」の割合が最も高い。

・農林畜産業は「雇用の場が少ない」の割合が最も高い。

・学生は「職種が少ない」の割合が最も高い。

２　高山市の市政運営について

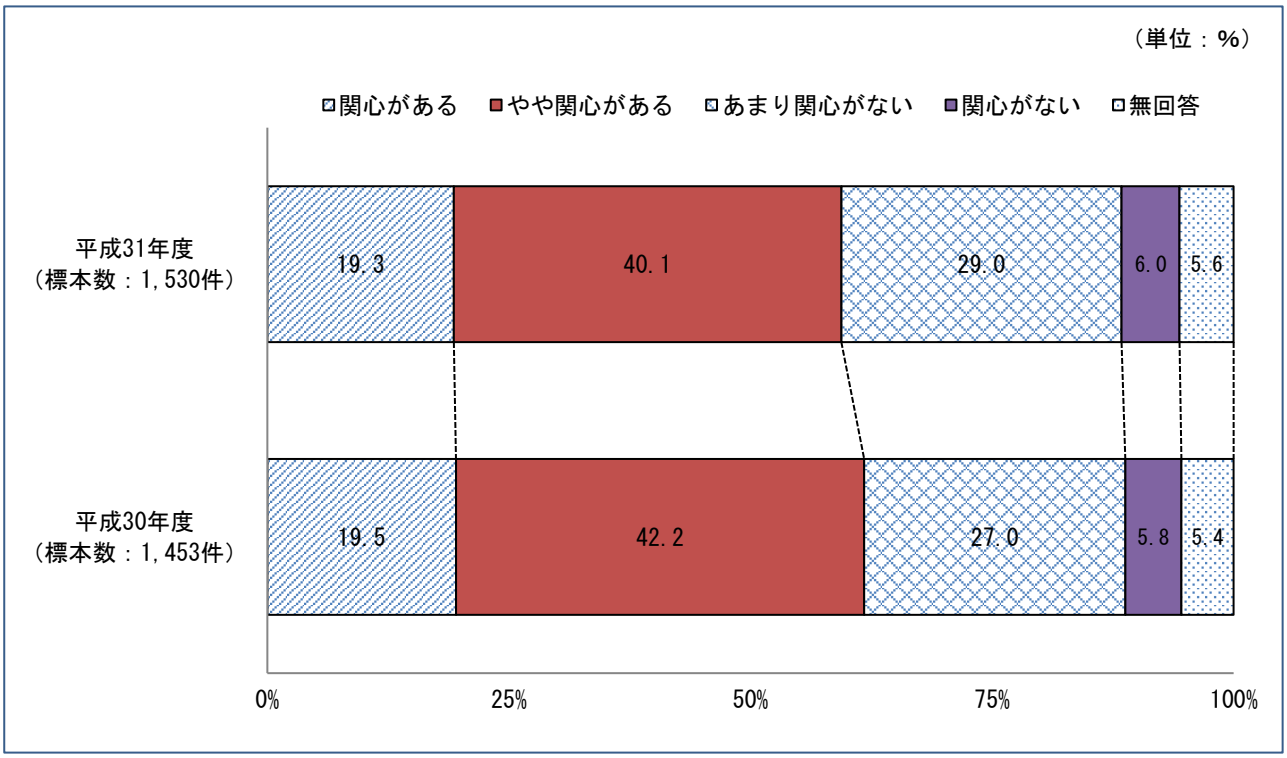
１　市政運営への関心

- 「やや関心がある」の割合が最も高い。
- 「関心がある」と「やや関心がある」を合わせると 59.4%を占め、前回（H30）の調査結果（61.7%）に比べ 2.3 ポイント減少している。

問６　あなたは、高山市の市政運営に関心をお持ちですか。（１つに○印）

	回答数（件）	回答率（%）
関心がある	295	19.3
やや関心がある	613	40.1
あまり関心がない	444	29.0
関心がない	92	6.0
無回答	86	5.6
計	1,530	

（標本数：1,530 件）



属性別集計（年齢別）

		標本数（件）	市政運営の関心（%）				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
年齢	１０代・２０代	91	7.7	30.8	41.8	18.7	1.1
	３０代	145	12.4	37.9	33.8	11.0	4.8
	４０代	205	13.7	41.0	32.7	9.8	2.9
	５０代	217	14.3	43.8	31.8	4.6	5.5
	６０代	338	20.7	42.6	29.9	3.6	3.3
	７０代以上	488	26.6	38.7	22.3	3.3	9.0

【年齢別】

・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、年齢が上がるにつれて高くなる。

属性別集計（居住地域別、定住年数別）

		標本数（件）	市政運営の関心（%）				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
居住地域	高山地域	972	19.1	39.6	30.2	5.8	5.2
	東地区	60	16.7	36.7	23.3	15.0	8.3
	西地区	87	28.7	35.6	25.3	3.4	6.9
	南地区	123	20.3	43.1	31.7	0.8	4.1
	北地区	172	20.3	41.3	29.1	4.1	5.2
	山王地区	154	18.2	42.2	26.0	7.8	5.8
	江名子地区	57	15.8	40.4	35.1	5.3	3.5
	新宮地区	104	19.2	28.8	35.6	10.6	5.8
	三枝地区	61	11.5	39.3	37.7	8.2	3.3
	大八地区	76	21.1	35.5	31.6	3.9	7.9
	岩滝地区	7	0.0	85.7	0.0	14.3	0.0
	花里地区	71	15.5	46.5	35.2	1.4	1.4
	丹生川地域	80	12.5	47.5	28.8	7.5	3.8
	清見地域	43	14.0	58.1	16.3	9.3	2.3
	荘川地域	26	26.9	34.6	26.9	3.8	7.7
	一之宮地域	45	8.9	33.3	40.0	17.8	0.0
	久々野地域	67	23.9	43.3	19.4	4.5	9.0
	朝日地域	30	26.7	43.3	16.7	6.7	6.7
	高根地域	15	26.7	40.0	13.3	13.3	6.7
	国府地域	137	21.9	37.2	34.3	2.9	3.6
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	63	20.6	34.9	22.2	7.9	14.3
定住年数	１年未満	14	14.3	42.9	28.6	7.1	7.1
	１年以上～５年未満	34	8.8	38.2	38.2	11.8	2.9
	５年以上～１０年未満	37	16.2	32.4	27.0	10.8	13.5
	１０年以上～２０年未満	118	10.2	39.8	38.1	9.3	2.5
	２０年以上	1,273	20.7	40.0	28.4	5.6	5.3

【居住地域別】

・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、岩滝地区（85.7%）が最も高く、次いで清見地域（72.1%）、朝日地域（70.0%）が高い。一方、一之宮地域（42.2%）が最も低く、次いで新宮地区（48.0%）、三枝地区（50.8%）が低い。

【定住年数別】

・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、２０年以上（60.7%）が最も高く、１年以上～５年未満（47.0%）が最も低い。

２　今後の重要課題

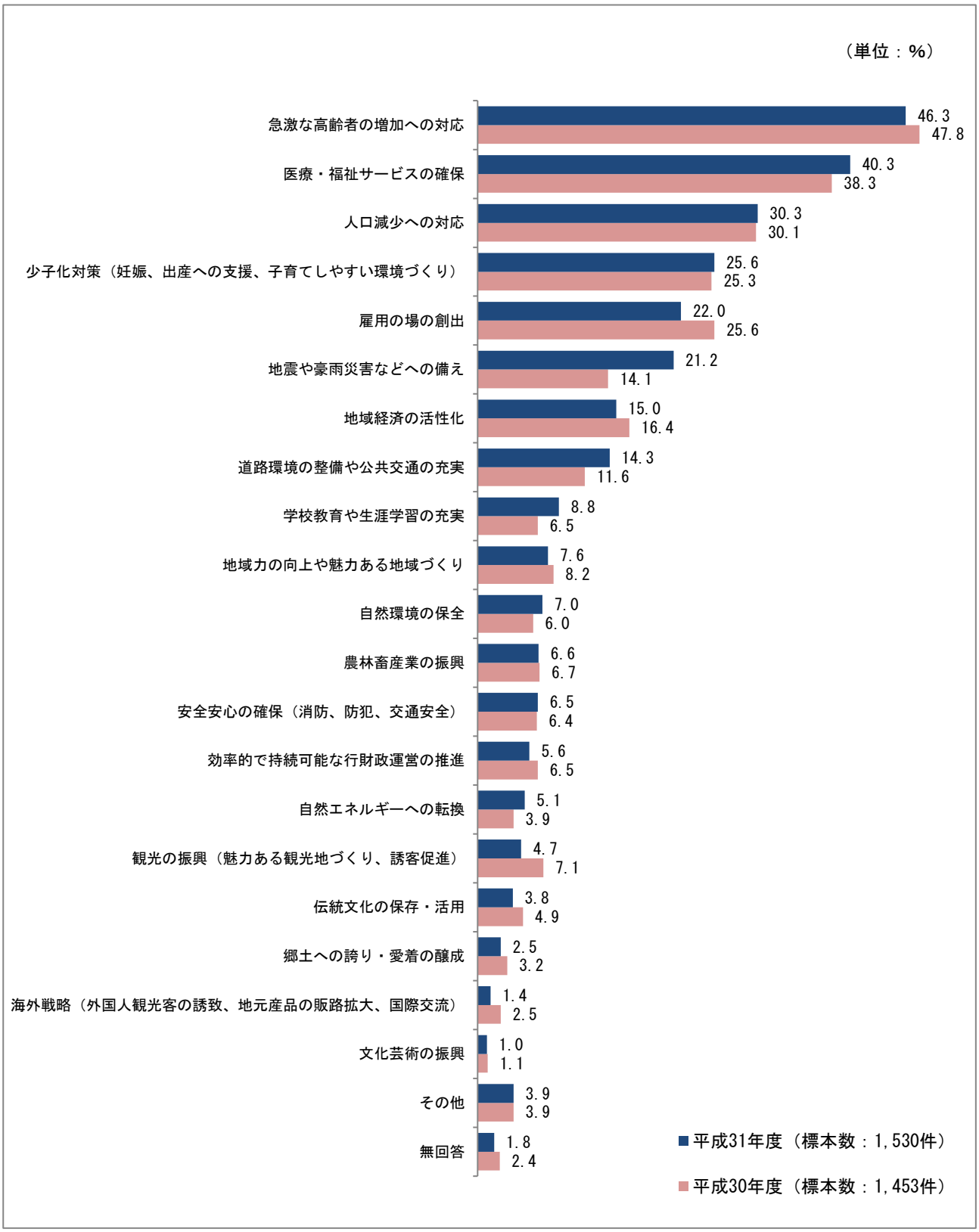
・上位から３位までの順位は、前回（H30）の調査結果と同じである。
・前回（H30）の調査結果に比べ、特に「雇用の場の創出」の割合が低下し、「地震や豪雨災害などへの備え」の割合が上昇している

問７　あなたは、今後、高山市がどのようなことに重点的に取り組むべきだとお考えですか。
（３つまで○印）

	回答数（件）	回答率（%）
急激な高齢者の増加への対応	708	46.3
医療・福祉サービスの確保	616	40.3
人口減少への対応	463	30.3
少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	391	25.6
雇用の場の創出	336	22.0
地震や豪雨災害などへの備え	324	21.2
地域経済の活性化	230	15.0
道路環境の整備や公共交通の充実	219	14.3
学校教育や生涯学習の充実	134	8.8
地域力の向上や魅力ある地域づくり	117	7.6
自然環境の保全	107	7.0
農林畜産業の振興	101	6.6
安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	100	6.5
効率的で持続可能な行財政運営の推進	86	5.6
自然エネルギーへの転換	78	5.1
観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	72	4.7
伝統文化の保存・活用	58	3.8
郷土への誇り・愛着の醸成	38	2.5
海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	21	1.4
文化芸術の振興	15	1.0
その他	60	3.9
無回答	28	1.8
計	4,302	

（標本数：1,530 件）

※「その他」内容
・「市民が楽しめる場所の創出」　など


（単位：%）
急激な高齢者の増加への対応
46.3
47.8
医療・福祉サービスの確保
40.3
38.3
人口減少への対応
30.3
30.1
少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）
25.6
25.3
雇用の場の創出
22.0
25.6
地震や豪雨災害などへの備え
21.2
14.1
地域経済の活性化
15.0
16.4
道路環境の整備や公共交通の充実
14.3
11.6
学校教育や生涯学習の充実
8.8
6.5
地域力の向上や魅力ある地域づくり
7.6
8.2
自然環境の保全
7.0
6.0
農林畜産業の振興
6.6
6.7
安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）
6.5
6.4
効率的で持続可能な行財政運営の推進
5.6
6.5
自然エネルギーへの転換
5.1
3.9
観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）
4.7
7.1
伝統文化の保存・活用
3.8
4.9
郷土への誇り・愛着の醸成
2.5
3.2
海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）
1.4
2.5
文化芸術の振興
1.0
1.1
その他
3.9
3.9
無回答
1.8
2.4
平成31年度（標本数：1,530件）
平成30年度（標本数：1,453件）

属性別集計（年齢別）

		年齢					
		１０代・２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代以上
標本数（件）		91	145	205	217	338	488
今後の重要課題（%）	急激な高齢者の増加への対応	22.0	20.7	34.6	42.4	52.7	59.8
	医療・福祉サービスの確保	35.2	32.4	39.0	41.9	40.5	43.2
	人口減少への対応	22.0	17.9	28.3	28.1	31.7	36.3
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	45.1	47.6	22.9	24.0	26.3	16.6
	雇用の場の創出	28.6	21.4	28.3	30.9	24.9	13.3
	地震や豪雨災害などへの備え	20.9	17.9	23.4	20.3	22.5	21.3
	地域経済の活性化	13.2	15.9	19.0	17.1	13.6	13.3
	道路環境の整備や公共交通の充実	17.6	18.6	14.1	12.0	12.7	13.3
	学校教育や生涯学習の充実	18.7	22.1	15.1	6.5	4.1	4.3
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	7.7	8.3	5.9	6.9	9.8	7.6
	自然環境の保全	6.6	6.2	7.3	5.5	6.8	8.2
	農林畜産業の振興	4.4	4.8	5.4	8.3	9.5	5.1
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	3.3	7.6	5.9	4.6	3.8	10.0
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	4.4	2.8	6.3	4.6	4.1	8.2
	自然エネルギーへの転換	3.3	7.6	7.8	6.0	5.9	3.1
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	5.5	6.9	5.9	4.1	3.8	4.3
	伝統文化の保存・活用	7.7	3.4	3.4	4.1	4.1	3.3
	郷土への誇り・愛着の醸成	1.1	1.4	2.4	3.7	2.4	2.9
	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	1.1	2.8	2.4	2.8	0.3	0.8
	文化芸術の振興	1.1	0.7	0.0	1.4	1.2	1.2
	その他	5.5	4.1	7.3	4.1	3.3	2.7
	無回答	1.1	4.1	0.5	2.8	0.6	2.0

【年齢別】

・３０代以下は「少子化対策」の割合が最も高い。

・４０代は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。

・５０代以上は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		972	60	87	123	172	154	57	104	61	76	7	71
今後の重要課題（%）	急激な高齢者の増加への対応	47.7	46.7	51.7	41.5	48.3	54.5	43.9	38.5	50.8	56.6	57.1	42.3
	医療・福祉サービスの確保	41.7	31.7	44.8	38.2	41.9	46.8	50.9	36.5	37.7	38.2	42.9	47.9
	人口減少への対応	28.2	23.3	29.9	26.0	26.2	28.6	28.1	34.6	24.6	30.3	42.9	28.2
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	25.2	28.3	21.8	28.5	25.6	23.4	21.1	25.0	29.5	21.1	28.6	28.2
	雇用の場の創出	23.1	21.7	17.2	20.3	21.5	26.0	22.8	21.2	29.5	31.6	14.3	23.9
	地震や豪雨災害などへの備え	21.9	18.3	20.7	23.6	21.5	22.1	26.3	16.3	31.1	22.4	14.3	21.1
	地域経済の活性化	14.3	13.3	13.8	14.6	12.2	14.3	10.5	14.4	19.7	17.1	42.9	12.7
	道路環境の整備や公共交通の充実	11.7	3.3	8.0	13.8	17.4	7.1	14.0	13.5	9.8	11.8	0.0	14.1
	学校教育や生涯学習の充実	9.5	16.7	8.0	10.6	7.6	11.0	8.8	14.4	6.6	6.6	0.0	4.2
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	6.3	8.3	9.2	8.1	5.8	3.9	5.3	8.7	4.9	3.9	0.0	5.6
	自然環境の保全	7.3	8.3	5.7	8.9	9.3	4.5	3.5	10.6	6.6	10.5	0.0	2.8
	農林畜産業の振興	4.4	1.7	3.4	3.3	4.1	7.1	3.5	3.8	8.2	2.6	14.3	4.2
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	7.0	10.0	9.2	8.9	5.8	9.1	10.5	3.8	4.9	3.9	0.0	4.2
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	6.2	5.0	2.3	8.9	9.9	3.2	5.3	6.7	4.9	6.6	0.0	5.6
	自然エネルギーへの転換	5.9	6.7	4.6	3.3	8.7	5.2	5.3	7.7	6.6	5.3	0.0	4.2
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	4.9	6.7	8.0	4.1	4.7	6.5	3.5	4.8	1.6	5.3	0.0	2.8
	伝統文化の保存・活用	4.4	1.7	5.7	7.3	5.2	5.2	1.8	1.9	3.3	2.6	0.0	5.6
	郷土への誇り・愛着の醸成	2.2	0.0	1.1	4.1	0.6	3.2	1.8	1.0	0.0	6.6	0.0	2.8
	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	1.4	3.3	1.1	1.6	1.7	1.3	3.5	0.0	1.6	1.3	0.0	0.0
	文化芸術の振興	1.3	1.7	2.3	0.8	3.5	0.6	1.8	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0
	その他	4.4	1.7	5.7	1.6	4.7	3.9	8.8	6.7	4.9	0.0	0.0	8.5
	無回答	1.6	3.3	2.3	4.1	0.6	0.0	1.8	1.9	0.0	2.6	0.0	1.4

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		80	43	26	45	67	30	15	137	63
今後の重要課題（%）	急激な高齢者の増加への対応	47.5	39.5	34.6	37.8	49.3	33.3	53.3	47.4	38.1
	医療・福祉サービスの確保	33.8	37.2	19.2	44.4	34.3	30.0	46.7	38.7	46.0
	人口減少への対応	30.0	41.9	53.8	15.6	34.3	36.7	53.3	30.7	41.3
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	27.5	20.9	23.1	24.4	34.3	26.7	20.0	28.5	22.2
	雇用の場の創出	13.8	27.9	11.5	31.1	17.9	26.7	6.7	22.6	15.9
	地震や豪雨災害などへの備え	20.0	20.9	15.4	31.1	19.4	6.7	13.3	22.6	12.7
	地域経済の活性化	17.5	16.3	23.1	17.8	17.9	23.3	0.0	17.5	11.1
	道路環境の整備や公共交通の充実	16.3	25.6	11.5	20.0	9.0	20.0	13.3	12.4	41.3
	学校教育や生涯学習の充実	8.8	4.7	3.8	2.2	6.0	16.7	6.7	9.5	7.9
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	6.3	7.0	23.1	8.9	10.4	16.7	6.7	14.6	4.8
	自然環境の保全	7.5	7.0	23.1	4.4	9.0	3.3	0.0	5.8	0.0
	農林畜産業の振興	18.8	14.0	15.4	8.9	10.4	10.0	13.3	7.3	6.3
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	1.3	9.3	0.0	2.2	7.5	13.3	0.0	5.1	9.5
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	5.0	2.3	11.5	0.0	3.0	3.3	13.3	5.8	3.2
	自然エネルギーへの転換	2.5	2.3	3.8	6.7	7.5	0.0	0.0	5.1	1.6
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	3.8	0.0	3.8	2.2	3.0	3.3	6.7	4.4	9.5
	伝統文化の保存・活用	3.8	0.0	0.0	4.4	1.5	0.0	0.0	5.8	0.0
	郷土への誇り・愛着の醸成	3.8	0.0	0.0	2.2	3.0	10.0	6.7	2.9	3.2
	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	1.3	0.0	0.0	2.2	1.5	0.0	0.0	2.2	0.0
	文化芸術の振興	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	1.6
	その他	3.8	4.7	3.8	4.4	3.0	3.3	6.7	2.2	1.6
	無回答	5.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	6.7	1.5	3.2

【居住地域別】

・高山地域は１１地区中９地区で「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

・支所地域は「急激な高齢者の増加への対応」と「人口減少への対応」の割合が最も高い地域がそれぞれ４地域と最多である。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	三世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	その他
標本数（件）		155	366	596	(207)	299	(180)	31
今後の重要課題（%）	急激な高齢者の増加への対応	52.3	52.7	41.8	(29.0)	41.8	(45.0)	51.6
	医療・福祉サービスの確保	45.8	45.6	37.6	(36.2)	37.8	(35.6)	48.4
	人口減少への対応	30.3	35.8	28.0	(29.0)	26.8	(27.8)	32.3
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	18.7	20.2	29.4	(39.6)	26.8	(29.4)	41.9
	雇用の場の創出	16.1	17.8	26.7	(22.7)	22.7	(21.1)	25.8
	地震や豪雨災害などへの備え	21.3	19.7	20.6	(21.7)	22.4	(21.7)	25.8
	地域経済の活性化	14.2	13.4	15.8	(13.0)	17.1	(15.6)	12.9
	道路環境の整備や公共交通の充実	12.9	13.9	14.8	(15.0)	13.4	(13.9)	9.7
	学校教育や生涯学習の充実	5.2	4.9	10.1	(21.7)	13.0	(12.8)	6.5
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	5.2	7.4	7.7	(5.8)	9.4	(6.7)	6.5
	自然環境の保全	9.0	5.7	7.0	(5.8)	8.0	(8.9)	6.5
	農林畜産業の振興	3.9	6.6	6.4	(2.4)	8.7	(8.9)	0.0
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	4.5	6.8	6.4	(6.3)	7.4	(6.7)	6.5
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	5.8	6.6	5.5	(3.9)	5.4	(6.1)	9.7
	自然エネルギーへの転換	3.2	4.9	5.7	(7.7)	5.4	(6.7)	0.0
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	5.2	3.6	5.5	(6.8)	4.3	(5.6)	3.2
	伝統文化の保存・活用	3.9	3.3	3.2	(2.9)	6.0	(6.1)	6.5
	郷土への誇り・愛着の醸成	1.9	2.5	2.2	(1.4)	2.7	(4.4)	6.5
	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	0.6	0.5	1.7	(1.4)	2.3	(1.7)	0.0
	文化芸術の振興	1.3	1.1	0.8	(1.0)	1.0	(1.1)	0.0
	その他	5.2	3.6	3.5	(4.3)	5.4	(5.6)	0.0
	無回答	1.9	2.2	1.5	(1.9)	0.7	(1.1)	3.2

【家族構成別】

・二世代世帯（うち中学生以下の子と同居）は「少子化対策」の割合が最も高い。その他の家族構成は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数（件）		85	145	432	287	96	24	348	30
今後の重要課題（%）	急激な高齢者の増加への対応	36.5	42.1	35.6	48.8	57.3	25.0	59.5	33.3
	医療・福祉サービスの確保	23.5	35.9	39.1	43.9	41.7	20.8	45.7	43.3
	人口減少への対応	36.5	36.6	29.9	25.4	30.2	33.3	31.3	33.3
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	20.0	23.4	31.0	28.2	24.0	50.0	21.0	20.0
	雇用の場の創出	15.3	21.4	28.5	26.5	17.7	25.0	15.8	13.3
	地震や豪雨災害などへの備え	22.4	17.2	19.4	23.7	24.0	4.2	22.4	6.7
	地域経済の活性化	22.4	15.9	17.4	12.9	13.5	16.7	11.5	26.7
	道路環境の整備や公共交通の充実	11.8	15.9	15.0	13.2	17.7	20.8	10.9	13.3
	学校教育や生涯学習の充実	5.9	6.9	14.4	9.8	8.3	16.7	3.7	3.3
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	11.8	9.0	6.9	7.0	6.3	12.5	6.6	3.3
	自然環境の保全	9.4	5.5	6.3	4.5	6.3	8.3	9.5	0.0
	農林畜産業の振興	40.0	7.6	3.5	4.9	8.3	8.3	3.2	6.7
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	5.9	6.9	4.9	4.9	7.3	4.2	9.8	0.0
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	8.2	8.3	3.5	4.5	10.4	4.2	5.7	3.3
	自然エネルギーへの転換	2.4	4.8	6.0	7.0	4.2	4.2	3.4	13.3
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	0.0	12.4	5.1	3.8	2.1	4.2	3.2	16.7
	伝統文化の保存・活用	1.2	4.8	3.2	3.1	2.1	8.3	5.2	6.7
	郷土への誇り・愛着の醸成	4.7	3.4	2.5	1.0	1.0	4.2	2.3	0.0
	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	0.0	3.4	2.1	0.7	1.0	0.0	0.6	3.3
	文化芸術の振興	0.0	0.7	1.4	0.3	0.0	0.0	1.7	3.3
	その他	3.5	7.6	3.9	3.1	3.1	4.2	2.6	13.3
	無回答	1.2	0.0	1.6	1.7	2.1	0.0	2.9	0.0

【職業別】

・自営業、パート・アルバイト・内職、家事従事者、無職は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

・農林畜産業は「農林畜産業の振興」の割合が最も高い。

・会社員・公務員・団体職員は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。

・学生は「少子化対策」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数（件）		14	34	37	118	1,273
今後の重要課題（%）	急激な高齢者の増加への対応	35.7	26.5	32.4	33.1	48.2
	医療・福祉サービスの確保	14.3	32.4	29.7	39.0	41.2
	人口減少への対応	28.6	38.2	27.0	22.9	31.0
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	35.7	20.6	24.3	30.5	25.5
	雇用の場の創出	35.7	20.6	21.6	28.8	21.5
	地震や豪雨災害などへの備え	42.9	32.4	16.2	20.3	20.7
	地域経済の活性化	14.3	2.9	24.3	9.3	15.8
	道路環境の整備や公共交通の充実	0.0	26.5	21.6	14.4	13.6
	学校教育や生涯学習の充実	0.0	11.8	13.5	19.5	7.7
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	7.1	11.8	10.8	5.9	7.4
	自然環境の保全	14.3	5.9	5.4	7.6	6.7
	農林畜産業の振興	7.1	2.9	5.4	5.9	6.9
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	7.1	2.9	5.4	11.9	6.2
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	7.1	2.9	2.7	4.2	5.9
	自然エネルギーへの転換	21.4	2.9	10.8	11.0	4.5
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	14.3	5.9	2.7	5.1	4.6
	伝統文化の保存・活用	7.1	5.9	2.7	5.1	3.5
	郷土への誇り・愛着の醸成	0.0	0.0	2.7	1.7	2.5
	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	7.1	0.0	2.7	0.0	1.5
	文化芸術の振興	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
	その他	0.0	8.8	13.5	4.2	3.6
	無回答	0.0	2.9	5.4	0.8	1.6

【定住年数別】

・１年未満は「地震や豪雨災害などへの備え」の割合が最も高い。

・１年以上～５年未満は「人口減少への対応」の割合が最も高い。

・５年以上～１０年未満と２０年以上は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

・１０年以上～２０年未満は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。

３　高山市の取り組みに対する満足度

・満足度の高い分野は、高い順に「上下水道」分野（90.5%）、「生活環境」分野（84.2%）、「観光」分野（81.7%）となっている。
・上位３分野について、現総合計画の初回調査（H26）からの順位の変化については下記のとおり
「上下水道」：初回調査の２位以降は１位で順位が高い状態で推移
「生活環境」：初回調査の１位から順位が低下
「観光」　　：初回調査の６位から順位が上昇

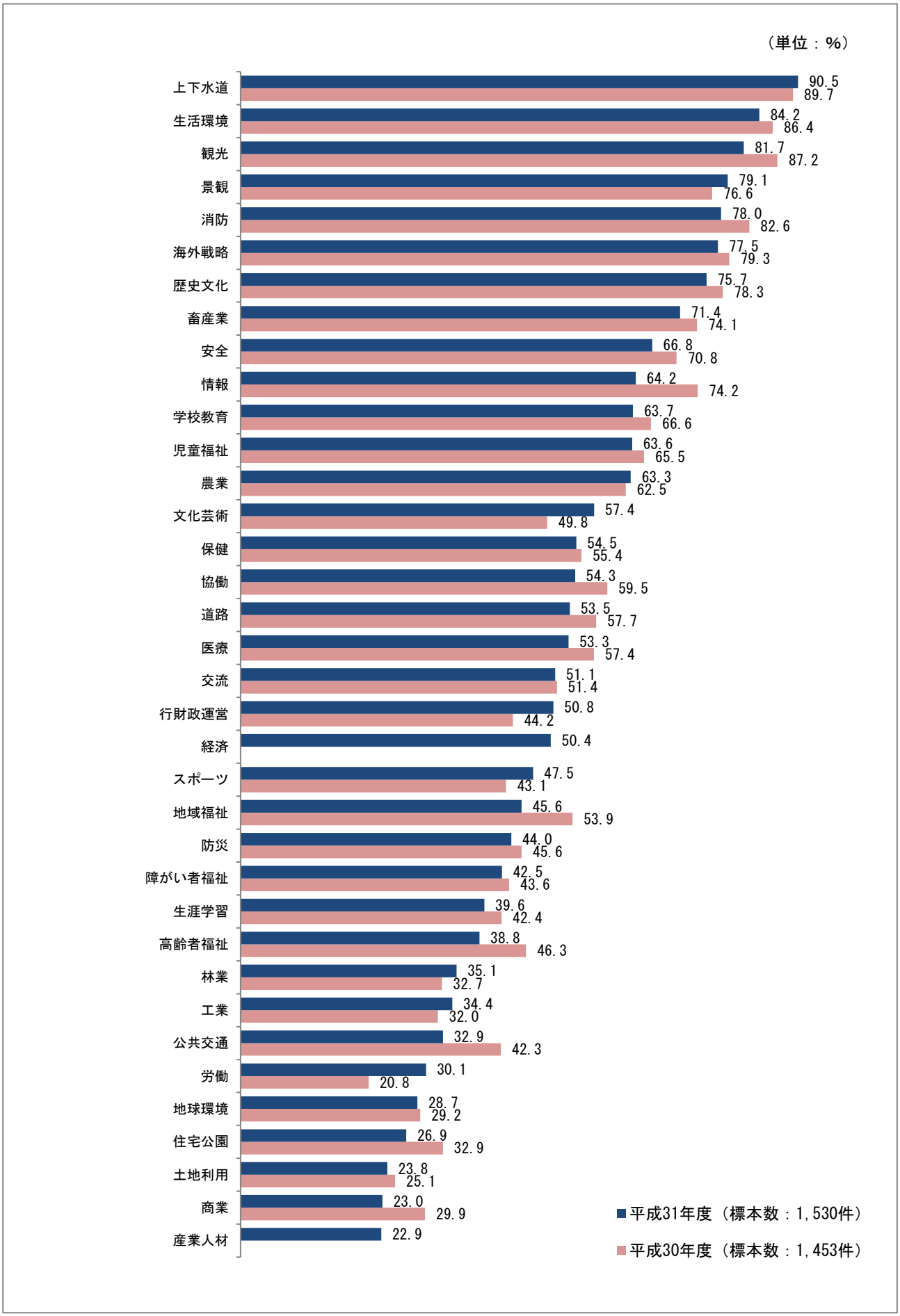
・満足度の低い分野は、低い順に「産業人材」分野（22.9%）、「商業」分野（23.0%）、「土地利用」分野（23.8%）となっている。
・下位３分野について、現総合計画の初回調査（H26）からの順位の変化については下記のとおり
「産業人材」：今回初調査のため過去のデータ無し
「商業」　　：初回調査の３３位から、最高で２８位の時もあったが、近年低下傾向
「土地利用」：初回調査以降、下位から２位又は３位で推移

問８　あなたは、現在の高山市の行政サービスやまちづくりに関して、どのように感じていますか。それぞれの分野の設問ごとにあなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。（それぞれの設問ごとに１つに○印）

（満足度の算出方法）

$$\text{満足度} = \frac{\text{「感じている」、「やや感じている」の合計}}{\text{「感じている」、「やや感じている」、「あまり感じない」、「感じていない」の合計}}$$

順位	満足度（%）	分野	設問	回答数（件）					前回調査(H30)	
			満足度指標	感じている	やや感じている	あまり感じない	感じていない	無回答	順位	満足度（%）
1	90.5	上下水道	あなたは、「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じていますか。	600	726	115	24	65	1	89.7
2	84.2	生活環境	あなたは、「ごみ処理や分別収集が適切に行われ、良好な生活環境が保たれている」と感じていますか。	377	862	189	43	59	3	86.4
3	81.7	観光	あなたは、「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じていますか。	442	778	209	64	37	2	87.2
4	79.1	景観	あなたは、「町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれている」と感じていますか。	301	853	260	45	71	7	76.6
5	78.0	消防	あなたは、「消防・救急救助体制が整っている」と感じていますか。	333	810	277	45	65	4	82.6
6	77.5	海外戦略	あなたは、「外国人で市内がにぎわい、海外との人や物の交流が進んでいる」と感じていますか。	435	719	271	64	41	5	79.3
7	75.7	歴史文化	あなたは、「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じていますか。	317	808	303	59	43	6	78.3
8	71.4	畜産業	あなたは、「地元の畜産物が広く消費され、畜産業が活性化している」と感じていますか。	295	767	354	72	42	9	74.1
9	66.8	安全	あなたは、「犯罪や交通事故などが少なく、安全に暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	141	836	429	56	68	10	70.8
10	64.2	情報	あなたは、「テレビ、ラジオ、インターネットなどを快適に視聴・利用できる環境が整っている」と感じていますか。	253	683	403	120	71	8	74.2
11	63.7	学校教育	あなたは、「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じていますか。	155	781	441	92	61	11	66.6
12	63.6	児童福祉	あなたは、「子どもが健やかに育つ環境が整っている」と感じていますか。	153	786	453	85	53	12	65.5
13	63.3	農業	あなたは、「地元の農産物が広く消費され、農業が活性化している」と感じていますか。	158	782	433	111	46	13	62.5
14	57.4	文化芸術	あなたは、「文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている」と感じていますか。	146	704	540	91	49	20	49.8
15	54.5	保健	あなたは、「主体的な健康づくりや病気の予防に取り組む環境が整っている」と感じていますか。	144	671	563	117	35	17	55.4
16	54.3	協働	あなたは、「市民、地域、行政が協働してまちづくりに取り組んでいる」と感じていますか。	140	650	570	94	76	14	59.5
17	53.5	道路	あなたは、「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じていますか。	134	648	505	176	67	15	57.7
18	53.3	医療	あなたは、「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じていますか。	179	620	500	201	30	16	57.4
19	51.1	交流	あなたは、「国内外の都市と様々な分野において交流が進んでいる」と感じていますか。	126	627	606	115	56	19	51.4
20	50.8	行財政運営	あなたは、「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じていますか。	106	634	598	119	73	23	44.2
21	50.4	経済	あなたは、「市内で生産されたものが市内で販売、消費されるなど、地域内で経済が循環している」と感じていますか。	95	656	634	106	39	―	―
22	47.5	スポーツ	あなたは、「スポーツをしたり、楽しんだりできる環境が整っている」と感じていますか。	122	583	620	159	46	25	43.1
23	45.6	地域福祉	あなたは、「地域で支え合い、安心して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	81	598	687	122	42	18	53.9
24	44.0	防災	あなたは、「災害から命・財産を守るための準備や体制が整っている」と感じていますか。	77	564	708	109	72	22	45.6
25	42.5	障がい者福祉	あなたは、「障がい者が必要な支援を受け、自立して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	88	539	686	164	53	24	43.6
26	39.6	生涯学習	あなたは、「生涯学習に取り組む機会や学習成果を活かすことができる環境が整っている」と感じていますか。	68	502	751	119	90	26	42.4
27	38.8	高齢者福祉	あなたは、「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	87	493	713	202	35	21	46.3
28	35.1	林業	あなたは、「地元の木材が広く利用され、林業・木材産業が活性化している」と感じていますか。	78	442	703	259	48	29	32.7
29	34.4	工業	あなたは、「個性・魅力あるものづくりが行われ、工業が活性化している」と感じていますか。	54	453	795	173	55	30	32.0
30	32.9	公共交通	あなたは、「日常的に利用できる公共交通体系が整っている」と感じていますか。	75	405	592	388	70	27	42.3
31	30.1	労働	あなたは、「若者、女性をはじめ、働く意欲のある人の就労の場が確保されている」と感じていますか。	51	395	842	193	49	34	20.8
32	28.7	地球環境	あなたは、「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ、地球環境を守る取り組みが進んでいる」と感じていますか。	46	369	854	176	85	32	29.2
33	26.9	住宅公園	あなたは、「身近に憩える公園があり、快適な住宅環境が整っている」と感じていますか。	71	319	710	349	81	28	32.9
34	23.8	土地利用	あなたは、「保全と開発とのバランスのとれた秩序ある土地利用が行われている」と感じていますか。	29	314	875	221	91	33	25.1
35	23.0	商業	あなたは、「個性・魅力ある商店経営が行われ、商業が活性化している」と感じていますか。	41	302	844	302	41	31	29.9
36	22.9	産業人材	あなたは、「地域産業が受け継がれるための人材の確保・後継者育成が進んでいる」と感じていますか。	22	316	959	182	51	―	―


（単位：%）
上下水道 90.5 89.7
生活環境 84.2 86.4
観光 81.7 87.2
景観 79.1 76.6
消防 78.0 82.6
海外戦略 77.5 79.3
歴史文化 75.7 78.3
畜産業 71.4 74.1
安全 66.8 70.8
情報 64.2 74.2
学校教育 63.7 66.6
児童福祉 63.6 65.5
農業 63.3 62.5
文化芸術 57.4 49.8
保健 54.5 55.4
協働 54.3 59.5
道路 53.5 57.7
医療 53.3 57.4
交流 51.1 51.4
行財政運営 50.8 44.2
経済 50.4
スポーツ 47.5 43.1
地域福祉 45.6 53.9
防災 44.0 45.6
障がい者福祉 42.5 43.6
生涯学習 39.6 42.4
高齢者福祉 38.8 46.3
林業 35.1 32.7
工業 34.4 32.0
公共交通 32.9 42.3
労働 30.1 20.8
地球環境 28.7 29.2
住宅公園 26.9 32.9
土地利用 23.8 25.1
商業 23.0 29.9
産業人材 22.9
平成31年度（標本数：1,530件）
平成30年度（標本数：1,453件）

属性別集計（年齢別）

		年齢					
		１０代・２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代以上
標本数（件）		91	145	205	217	338	488
取り組みに対する満足度（%）	上下水道	93.0	86.9	88.1	88.8	90.5	92.5
	生活環境	76.7	75.4	80.2	80.4	87.2	88.5
	観光	91.2	90.2	84.2	82.9	79.9	76.9
	景観	80.2	84.7	84.7	82.2	74.4	76.1
	消防	72.1	61.6	69.3	69.6	82.2	88.6
	海外戦略	92.3	88.1	85.2	78.7	73.3	71.1
	歴史文化	84.6	68.5	72.9	74.0	75.3	77.3
	畜産業	85.6	76.4	76.0	72.9	70.1	66.0
	安全	73.3	62.3	62.9	64.0	65.3	70.6
	情報	66.3	63.8	62.4	65.4	65.0	63.2
	学校教育	63.7	55.2	68.0	61.1	59.8	66.9
	児童福祉	60.4	55.2	69.0	61.6	61.6	66.7
	農業	77.8	65.3	62.7	59.3	59.9	64.2
	文化芸術	56.0	55.2	58.1	57.2	53.7	61.2
	保健	42.9	42.4	54.7	37.0	56.8	67.1
	協働	50.6	48.2	53.5	46.9	54.0	59.6
	道路	45.3	51.8	52.5	47.2	49.8	61.0
	医療	53.8	52.1	44.8	37.0	48.9	67.1
	交流	61.5	47.9	53.7	42.5	47.3	54.1
	行財政運営	54.7	38.2	49.3	37.9	49.7	61.8
	経済	65.9	50.0	52.0	50.7	48.0	47.7
	スポーツ	45.1	38.7	43.8	44.2	45.2	54.0
	地域福祉	54.9	41.3	47.0	38.9	42.1	49.7
	防災	40.7	40.6	39.6	35.5	39.5	53.8
	障がい者福祉	38.9	34.5	38.6	33.3	39.8	52.9
	生涯学習	29.1	33.6	39.8	34.7	36.6	46.7
	高齢者福祉	38.9	36.6	39.1	27.4	33.3	48.1
	林業	66.7	58.3	43.1	38.1	26.4	23.8
	工業	52.2	41.7	33.8	29.3	29.5	34.2
	公共交通	33.7	26.1	30.7	22.9	31.4	41.4
	労働	41.6	36.8	31.4	23.4	22.8	34.4
	地球環境	36.0	37.0	26.5	21.1	25.2	30.9
	住宅公園	36.0	33.3	25.7	24.4	23.1	27.1
	土地利用	29.1	27.9	25.7	22.0	20.1	24.3
	商業	38.5	28.0	22.2	23.1	14.8	24.5
	産業人材	18.9	19.4	18.6	17.8	24.3	27.3

【年齢別】

・30 代のみ「観光」の割合が最も高く、その他の年代は「上下水道」の割合が最も高い。

・上位のうち「観光」、「海外戦略」及び「畜産業」は、年代が上がるにつれて割合が低くなる。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（高山地域）											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数(件)		972	60	87	123	172	154	57	104	61	76	7	71
取り組みに対する満足度（%）	上下水道	91.2	91.2	91.5	89.7	91.1	92.5	86.0	89.8	89.1	93.2	100.0	95.6
	生活環境	83.3	86.0	91.6	83.1	82.8	79.6	78.9	79.6	83.9	84.9	71.4	88.2
	観光	82.8	81.4	73.5	85.1	82.4	79.5	84.2	84.3	85.0	88.0	100.0	86.6
	景観	79.5	82.5	80.0	75.6	81.1	80.3	86.0	74.0	83.6	78.4	57.1	80.6
	消防	77.2	82.5	81.7	75.4	76.9	76.7	67.9	71.4	83.6	81.1	85.7	77.6
	海外戦略	79.4	76.3	71.1	78.7	83.0	80.7	75.0	80.4	76.7	78.7	100.0	85.1
	歴史文化	76.1	74.6	79.3	73.2	77.1	76.2	75.4	69.3	78.3	77.3	85.7	82.1
	畜産業	71.3	79.3	72.6	76.7	73.7	70.9	55.4	69.9	68.3	65.8	57.1	73.9
	安全	65.9	56.1	70.4	64.7	65.5	69.4	71.9	59.4	65.5	67.6	71.4	66.7
	情報	63.9	59.6	56.1	70.1	65.1	66.0	57.9	61.5	69.6	59.2	57.1	68.2
	学校教育	61.8	56.9	63.4	63.9	60.4	60.1	64.9	56.4	65.0	69.9	85.7	59.1
	児童福祉	62.2	59.3	57.8	63.0	65.3	62.9	64.9	54.5	61.0	70.3	85.7	57.6
	農業	64.6	70.2	65.5	65.8	66.7	65.8	57.1	59.2	70.0	61.6	71.4	60.9
	文化芸術	56.2	47.5	61.7	53.7	57.9	51.7	41.8	59.8	63.3	60.8	85.7	59.7
	保健	53.1	59.3	49.4	54.1	50.3	47.4	59.6	47.1	60.0	54.7	85.7	62.7
	協働	52.6	43.9	48.8	49.2	52.4	51.4	52.6	53.1	64.3	55.6	85.7	56.7
	道路	52.4	52.6	57.3	47.5	58.8	54.5	45.6	42.3	57.1	55.6	42.9	47.8
	医療	52.0	59.3	54.8	56.1	50.9	47.4	52.6	44.1	61.7	53.3	57.1	49.3
	交流	51.1	55.9	46.3	49.2	53.5	52.0	41.8	48.0	55.0	53.3	85.7	50.7
	行財政運営	49.7	56.1	52.4	49.2	46.2	47.3	47.4	38.8	58.9	53.4	71.4	59.7
	経済	51.3	52.5	51.2	47.1	55.0	49.7	47.4	55.9	56.7	44.0	28.6	53.7
	スポーツ	45.1	47.5	51.8	41.8	44.7	43.3	36.8	45.1	48.3	42.7	85.7	48.5
	地域福祉	43.0	47.5	41.0	45.9	44.1	45.0	48.2	34.7	45.0	37.3	42.9	41.2
	防災	42.0	37.5	39.5	43.2	41.4	44.5	38.6	36.1	47.3	43.2	42.9	47.8
	障がい者福祉	41.5	35.6	48.8	43.0	42.4	41.6	33.9	36.6	53.3	39.7	71.4	35.3
	生涯学習	38.1	35.1	43.2	33.3	37.1	38.9	28.1	36.1	39.3	44.4	71.4	43.3
	高齢者福祉	37.7	30.5	47.0	38.5	33.5	29.8	35.1	42.2	46.7	41.3	71.4	38.8
	林業	37.0	40.4	32.1	47.1	38.5	38.7	26.8	37.9	33.9	27.8	14.3	37.1
	工業	34.2	35.1	33.7	35.3	39.2	35.4	23.2	30.4	25.4	32.9	42.9	39.7
	公共交通	34.2	40.4	47.0	31.9	34.1	32.9	35.1	23.7	40.0	28.8	71.4	31.3
	労働	29.0	32.1	26.8	29.2	31.2	29.5	32.1	19.4	35.0	27.0	71.4	26.8
	地球環境	25.6	22.8	22.2	25.0	24.0	29.2	26.3	22.7	34.5	24.7	28.6	26.9
	住宅公園	26.6	33.3	34.1	25.6	28.0	24.0	17.5	22.7	33.9	23.3	28.6	26.9
	土地利用	22.7	12.3	23.8	24.1	24.1	22.4	14.0	19.6	30.9	23.6	42.9	27.3
	商業	21.7	17.2	22.9	22.3	20.6	25.8	21.4	18.8	25.0	17.3	57.1	19.4
	産業人材	21.0	17.9	21.7	20.2	23.4	23.5	16.1	17.6	21.7	21.9	42.9	17.4

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（支所地域）								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数(件)		80	43	26	45	67	30	15	137	63
取り組みに対する満足度（%）	上下水道	86.1	90.2	91.7	90.5	94.0	92.3	92.9	88.8	81.0
	生活環境	87.3	85.7	95.8	79.1	79.1	96.2	100.0	86.6	82.8
	観光	84.4	81.4	80.0	90.9	83.6	85.7	71.4	75.9	64.5
	景観	78.5	64.3	87.5	83.7	77.6	73.1	71.4	83.6	65.5
	消防	82.3	83.3	87.5	69.0	85.1	84.6	71.4	85.1	63.8
	海外戦略	80.3	72.1	76.0	84.1	71.6	81.5	71.4	70.7	67.2
	歴史文化	71.1	76.7	80.0	75.0	72.3	74.1	78.6	78.2	67.8
	畜産業	73.1	72.1	69.2	75.0	77.3	77.8	71.4	70.2	59.3
	安全	64.6	66.7	87.5	72.1	73.1	76.9	71.4	69.4	59.6
	情報	55.1	57.1	79.2	62.8	62.7	61.5	42.9	78.4	59.3
	学校教育	71.1	64.3	72.0	61.9	69.7	74.1	64.3	64.9	68.3
	児童福祉	71.1	64.3	84.0	60.5	69.7	66.7	50.0	69.5	58.3
	農業	71.8	48.8	57.7	70.5	65.2	66.7	42.9	58.0	55.2
	文化芸術	51.3	58.1	72.0	62.8	66.2	70.4	64.3	63.2	50.8
	保健	62.3	57.1	72.0	50.0	56.7	55.6	57.1	58.6	58.1
	協働	64.1	69.0	62.5	43.9	66.7	42.3	64.3	53.8	51.8
	道路	55.1	52.4	75.0	40.5	55.2	50.0	57.1	67.2	32.8
	医療	63.6	51.2	72.0	45.5	46.3	57.1	57.1	57.8	52.5
	交流	55.3	60.5	44.0	52.3	58.5	55.6	50.0	44.6	36.8
	行財政運営	56.4	53.7	62.5	42.9	72.3	38.5	57.1	49.6	46.6
	経済	50.6	46.5	70.8	51.1	53.7	29.6	57.1	47.4	40.0
	スポーツ	53.9	53.5	68.0	40.9	63.1	44.4	64.3	47.0	49.2
	地域福祉	53.9	55.8	60.0	48.8	61.2	57.1	50.0	44.6	41.9
	防災	43.0	50.0	79.2	37.2	50.0	46.2	35.7	45.9	50.9
	障がい者福祉	44.7	46.5	64.0	36.4	49.2	46.4	50.0	42.7	36.7
	生涯学習	49.4	47.5	34.8	29.3	67.2	23.1	53.8	36.4	36.4
	高齢者福祉	45.5	37.2	56.0	27.3	52.2	44.4	42.9	41.4	29.0
	林業	32.1	20.9	53.8	36.4	35.4	18.5	35.7	30.3	30.5
	工業	31.2	31.0	50.0	31.8	40.9	33.3	42.9	32.1	28.8
	公共交通	35.9	14.3	41.7	14.3	31.3	23.1	42.9	38.1	23.6
	労働	41.6	23.8	36.0	31.8	40.9	14.8	15.4	30.3	30.5
	地球環境	34.6	26.2	41.7	33.3	45.5	16.0	23.1	34.1	34.5
	住宅公園	32.9	19.0	20.8	12.2	26.2	11.5	14.3	36.4	25.9
	土地利用	29.5	22.5	29.2	19.5	39.4	19.2	28.6	20.8	20.4
	商業	25.0	27.9	52.0	20.5	22.4	28.6	42.9	23.3	18.0
	産業人材	36.4	18.6	26.9	22.7	27.3	40.7	28.6	20.6	27.1

【居住地域別】

・高山地域は、11 地区中 10 地区で「上下水道」の割合が最も高い。

・支所地域は、9 地域中 5 地域で「生活環境」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	三世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	その他
標本数（件）		155	366	596	(207)	299	(180)	31
取り組みに対する満足度（%）	上下水道	85.3	90.4	91.2	(90.0)	92.0	(90.6)	89.7
	生活環境	82.8	87.3	81.6	(79.2)	84.3	(82.2)	89.7
	観光	80.4	80.5	82.5	(84.4)	84.7	(84.1)	80.6
	景観	66.4	78.1	81.7	(84.7)	80.0	(79.2)	79.3
	消防	76.2	80.9	75.8	(71.6)	81.9	(78.7)	69.0
	海外戦略	69.6	76.3	79.2	(85.4)	82.6	(82.3)	74.2
	歴史文化	67.3	78.3	73.8	(71.6)	81.7	(80.2)	66.7
	畜産業	66.9	68.1	74.2	(77.1)	74.7	(74.4)	70.0
	安全	59.2	67.3	67.6	(63.9)	70.6	(67.3)	55.2
	情報	56.4	65.5	64.6	(67.0)	68.2	(65.7)	62.1
	学校教育	54.2	62.6	63.5	(66.2)	71.4	(72.6)	53.6
	児童福祉	52.4	65.1	63.7	(66.3)	68.4	(65.3)	65.5
	農業	57.8	61.9	65.2	(65.7)	67.9	(67.2)	70.0
	文化芸術	49.7	57.8	57.9	(57.6)	62.0	(60.8)	48.3
	保健	50.3	56.4	53.1	(53.7)	57.3	(58.5)	58.1
	協働	47.9	52.6	54.7	(55.3)	57.9	(58.9)	48.1
	道路	53.1	51.3	53.1	(48.7)	57.3	(55.6)	55.2
	医療	60.4	54.0	49.5	(51.7)	55.6	(55.7)	54.8
	交流	47.6	49.3	48.8	(50.5)	58.6	(54.0)	46.7
	行財政運営	49.7	52.0	48.8	(50.5)	55.9	(55.4)	24.1
	経済	45.3	47.2	52.0	(55.6)	52.7	(48.3)	45.2
	スポーツ	38.6	47.8	49.9	(46.3)	48.8	(45.5)	26.7
	地域福祉	40.9	41.9	46.9	(48.5)	50.0	(45.1)	48.3
	防災	38.7	44.8	43.6	(44.6)	43.9	(43.2)	37.9
	障がい者福祉	41.2	42.6	42.2	(42.1)	43.0	(44.3)	50.0
	生涯学習	37.4	41.6	37.3	(37.9)	42.6	(40.2)	35.7
	高齢者福祉	37.8	35.9	39.3	(39.6)	40.5	(38.1)	38.7
	林業	32.4	28.8	41.0	(48.8)	34.9	(33.5)	36.7
	工業	33.1	35.9	33.5	(35.3)	36.8	(37.5)	23.3
	公共交通	36.8	31.3	31.9	(33.0)	34.6	(33.7)	24.1
	労働	32.0	26.8	30.7	(34.5)	32.3	(32.0)	20.0
	地球環境	32.1	25.2	30.3	(33.3)	28.2	(27.2)	7.1
	住宅公園	27.7	22.4	27.7	(28.1)	28.8	(28.0)	25.0
	土地利用	21.4	21.9	24.4	(25.9)	24.8	(21.7)	22.2
	商業	29.1	21.2	23.2	(25.0)	23.0	(20.0)	29.0
	産業人材	18.6	26.9	21.0	(20.2)	22.5	(22.2)	16.7

【家族構成別】

・全ての家族構成で「上下水道」の割合が最も高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数(件)		85	145	432	287	96	24	348	30
取り組みに対する満足度（%）	上下水道	91.6	89.4	88.8	92.4	92.2	95.7	90.8	82.1
	生活環境	84.3	86.7	80.2	84.5	90.0	78.3	87.8	78.6
	観光	81.9	76.2	85.3	84.1	87.2	95.8	76.5	69.0
	景観	69.5	73.0	81.2	83.3	86.7	82.6	74.8	82.1
	消防	86.7	77.5	69.0	78.1	85.6	87.0	83.6	78.6
	海外戦略	77.1	73.2	84.2	81.3	72.3	95.8	69.3	69.0
	歴史文化	74.7	76.8	72.7	76.3	83.2	91.7	75.2	72.4
	畜産業	60.2	69.7	76.0	73.9	74.5	91.7	66.1	65.5
	安全	69.5	64.8	65.7	62.4	72.2	87.0	69.8	71.4
	情報	62.7	64.3	62.5	67.1	67.4	65.2	61.4	75.0
	学校教育	73.5	70.9	60.0	60.7	71.7	83.3	61.6	60.7
	児童福祉	75.9	66.0	61.1	64.2	68.5	70.8	61.5	60.7
	農業	50.0	59.2	62.9	65.4	78.3	79.2	64.3	69.0
	文化芸術	59.0	54.5	54.8	56.6	73.4	62.5	57.2	60.7
	保健	71.1	52.8	41.2	55.5	76.8	54.2	60.4	51.7
	協働	63.9	50.4	48.1	57.4	60.4	65.2	55.0	55.6
	道路	61.4	50.3	47.3	51.6	66.7	47.8	57.4	64.3
	医療	61.4	53.1	40.9	51.8	58.9	62.5	65.4	58.6
	交流	48.8	49.6	49.6	48.6	53.2	75.0	51.4	62.1
	行財政運営	54.2	51.1	40.8	51.4	58.9	69.6	58.5	39.3
	経済	43.9	40.1	49.5	60.8	59.6	54.2	47.3	41.4
	スポーツ	57.8	46.9	43.8	43.1	57.4	54.2	51.4	48.3
	地域福祉	59.0	45.5	40.2	43.6	50.0	83.3	46.2	48.1
	防災	50.6	40.6	38.1	40.9	53.3	47.8	49.2	44.4
	障がい者福祉	54.2	44.8	31.9	42.5	54.9	45.8	48.3	34.5
	生涯学習	43.4	43.8	30.0	40.7	55.6	43.5	42.4	40.7
	高齢者福祉	47.0	37.8	30.4	37.7	52.1	58.3	43.7	44.8
	林業	17.9	35.7	44.4	34.2	37.6	70.8	26.9	27.6
	工業	33.7	32.2	32.8	37.0	42.4	41.7	34.4	13.8
	公共交通	37.3	33.1	24.0	33.5	43.3	30.4	38.5	39.3
	労働	41.7	30.5	29.6	24.4	34.8	34.8	30.2	25.0
	地球環境	29.3	22.7	27.9	25.2	42.7	43.5	29.4	17.9
	住宅公園	25.3	20.7	24.1	26.9	37.5	39.1	28.2	40.7
	土地利用	23.5	15.0	25.8	24.4	29.2	30.4	22.9	29.6
	商業	18.5	17.7	23.0	23.0	22.3	41.7	25.4	10.7
	産業人材	28.9	24.8	17.2	19.8	30.4	25.0	26.9	10.3

【職業別】

・学生のみ「観光」及び「海外戦略」の割合が最も高く、その他の職業は「上下水道」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数(件)		14	34	37	118	1,273
取り組みに対する満足度（%）	上下水道	78.6	83.9	85.7	90.2	90.8
	生活環境	92.9	80.6	77.1	84.2	84.5
	観光	92.3	90.9	91.7	88.0	80.7
	景観	100.0	74.2	85.7	84.2	78.3
	消防	50.0	61.3	65.7	74.1	79.2
	海外戦略	92.3	87.9	88.9	88.0	75.7
	歴史文化	78.6	69.7	71.4	73.5	75.9
	畜産業	84.6	75.0	80.6	79.5	70.2
	安全	57.1	71.0	71.4	71.1	66.2
	情報	53.8	58.1	62.9	56.1	65.1
	学校教育	46.2	48.5	69.4	65.2	63.7
	児童福祉	42.9	54.5	75.0	66.1	63.5
	農業	46.2	63.6	61.1	70.9	62.8
	文化芸術	57.1	45.5	54.3	65.0	57.1
	保健	42.9	48.5	52.8	53.4	54.8
	協働	35.7	35.5	52.9	57.9	54.5
	道路	53.8	35.5	62.9	44.7	54.6
	医療	50.0	45.5	55.6	52.1	53.2
	交流	38.5	39.4	45.7	47.0	51.7
	行財政運営	15.4	48.4	52.9	50.4	51.2
	経済	28.6	63.6	55.6	58.1	49.4
	スポーツ	28.6	42.4	48.6	44.4	48.2
	地域福祉	61.5	42.4	54.3	47.9	44.8
	防災	30.8	48.4	42.9	46.5	43.3
	障がい者福祉	15.4	28.1	37.1	40.2	43.4
	生涯学習	23.1	32.3	44.1	38.1	39.6
	高齢者福祉	21.4	34.4	44.1	39.3	38.9
	林業	38.5	48.5	61.1	54.7	32.5
	工業	23.1	31.3	52.8	41.9	33.2
	公共交通	42.9	29.0	28.6	28.1	33.2
	労働	23.1	36.4	38.9	33.6	29.5
	地球環境	35.7	32.3	48.6	34.2	27.0
	住宅公園	28.6	32.3	42.9	28.1	25.9
	土地利用	15.4	22.6	29.4	27.2	23.6
	商業	69.2	30.3	27.8	25.6	22.1
	産業人材	7.7	12.1	30.6	23.9	22.3

【定住年数別】

・1年未満は「景観」の割合が最も高い。

・1年以上10年未満は「観光」の割合が最も高い。

・10年以上は「上下水道」の割合が最も高い。

３　協働のまちづくりについて

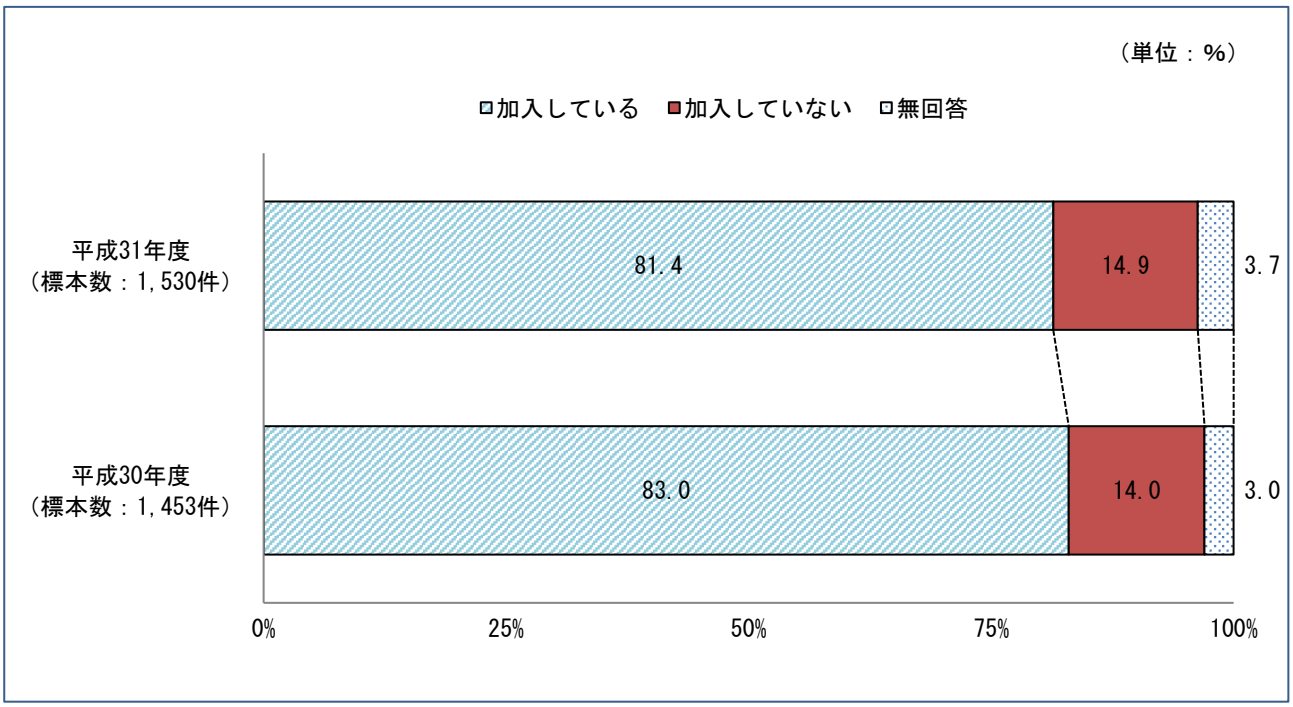
１　町内会への加入状況

・「加入している」の割合が高いが、前回（H30）の調査結果（83.0%）に比べ 1.6 ポイント低下している。

問９　あなたは、町内会（自治会）に加入していますか。（１つに○印）

	回答数（件）	回答率（%）
加入している	1,245	81.4
加入していない	228	14.9
無回答	57	3.7
計	1,530	

（標本数：1,530 件）



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数（件）	町内会への加入状況（%）		
			加入している	加入していない	無回答
年齢	10代・20代	91	51.6	45.1	3.3
	30代	145	57.9	38.6	3.4
	40代	205	82.9	16.6	0.5
	50代	217	83.9	13.8	2.3
	60代	338	89.1	9.2	1.8
	70代以上	488	86.1	6.8	7.2
居住地域	高山地域	972	79.7	17.0	3.3
	東地区	60	81.7	16.7	1.7
	西地区	87	75.9	19.5	4.6
	南地区	123	78.9	15.4	5.7
	北地区	172	83.1	15.1	1.7
	山王地区	154	77.9	19.5	2.6
	江名子地区	57	80.7	14.0	5.3
	新宮地区	104	80.8	17.3	1.9
	三枝地区	61	80.3	18.0	1.6
	大八地区	76	78.9	14.5	6.6
	岩滝地区	7	85.7	14.3	0.0
	花里地区	71	77.5	19.7	2.8
	丹生川地域	80	87.5	10.0	2.5
	清見地域	43	83.7	9.3	7.0
	荘川地域	26	61.5	23.1	15.4
	一之宮地域	45	73.3	20.0	6.7
	久々野地域	67	97.0	1.5	1.5
	朝日地域	30	90.0	6.7	3.3
	高根地域	15	60.0	33.3	6.7
	国府地域	137	88.3	7.3	4.4
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	63	90.5	6.3	3.2

【年齢別】

・年齢が上がるにつれて「加入している」の割合が高くなるが、70 代以上では低下している。

【居住地域別】

・高山地域における「加入している」の割合が最も高いのは岩滝地区（85.7%）、最も低いのは西地区（75.9%）である。

・支所地域における「加入している」の割合が最も高いのは久々野地域（97.0%）、最も低いのは高根地域（60.0%）である。

属性別集計（家族構成別、定住年数別、居住形態別）

		標本数（件）	町内会への加入状況（%）		
			加入している	加入していない	無回答
家族構成	単身世帯	155	61.9	32.3	5.8
	夫婦のみ	366	87.7	8.5	3.8
	二世代世帯	596	81.7	15.6	2.7
	（うち中学生以下の子と同居）	(207)	(74.9)	(23.2)	(1.9)
	三世代世帯	299	87.6	9.7	2.7
	（うち中学生以下の子と同居）	(180)	(90.0)	(7.8)	(2.2)
	その他	31	61.3	38.7	0.0
定住年数	1年未満	14	28.6	71.4	0.0
	1年以上～5年未満	34	32.4	64.7	2.9
	5年以上～10年未満	37	62.2	29.7	8.1
	10年以上～20年未満	118	67.8	26.3	5.9
	20年以上	1,273	84.8	11.9	3.2
居住形態	持ち家（分譲マンション・家族所有含む）	1,300	88.4	8.2	3.4
	借家（アパート含む）	157	28.7	68.2	3.2
	間借	5	40.0	20.0	40.0
	社宅・寮	15	53.3	40.0	6.7
	その他	5	20.0	80.0	0.0

【家族構成別】

・全ての家族構成で「加入している」の割合が高いが、そのうち単身世帯は割合が低い。

【定住年数別】

・５年未満は「加入していない」の割合が高く、５年以上は「加入している」の割合が高い。

【居住形態別】

・持ち家、間借及び社宅・寮は「加入している」の割合が高く、借家は「加入していない」の割合が高い。

１－２　町内会に加入しない理由

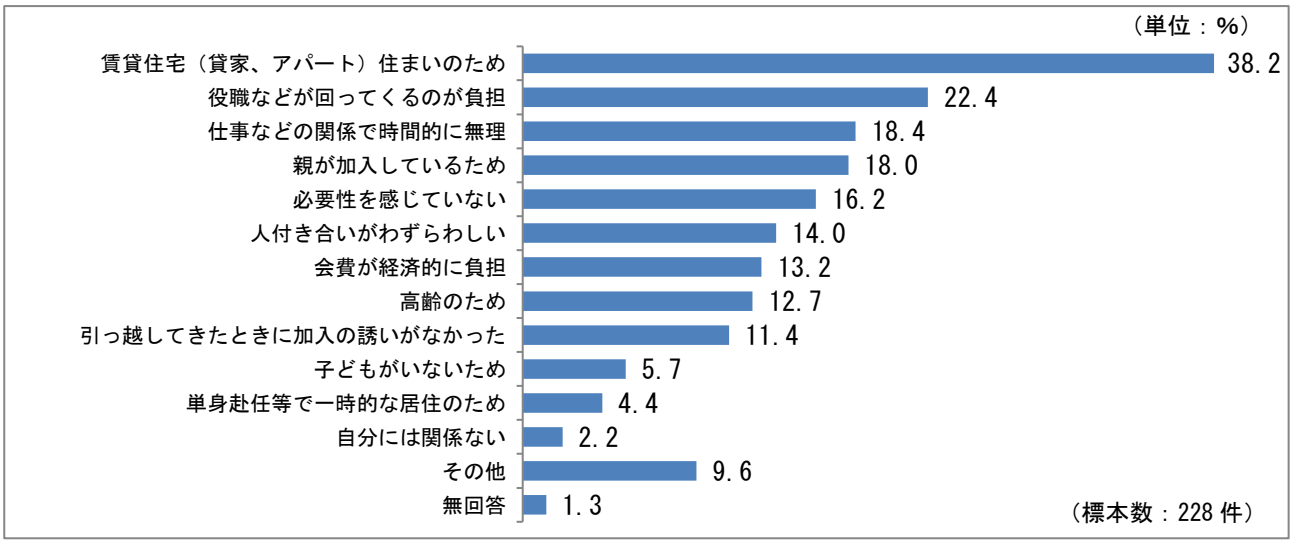
・上位から３位までの順位は、前回（H30）の調査結果と同じである。
・前回（H30）の調査結果に比べ、「必要性を感じていない」、「人付き合いがわずらわしい」、「会費が経済的に負担」の順位・割合が上昇し、「高齢のため」、「引っ越してきたときに加入の誘いがなかった」の順位、割合が低下している。

問９―２　問９で、「加入していない」に○をつけた方に伺います。その理由はなんですか。
（３つまで○印）

順位		回答数（件）	回答率（%）	前回（H30）	
				順位	回答率(%)
1	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	87	38.2	1	39.9
2	役職などが回ってくるのが負担	51	22.4	2	24.6
3	仕事などの関係で時間的に無理	42	18.4	3	17.7
4	親が加入しているため	41	18.0	3	17.7
5	必要性を感じていない	37	16.2	7	13.3
6	人付き合いがわずらわしい	32	14.0	8	12.3
7	会費が経済的に負担	30	13.2	9	9.4
8	高齢のため	29	12.7	5	17.2
9	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	26	11.4	6	14.3
10	子どもがいないため	13	5.7	10	7.4
11	単身赴任等で一時的な居住のため	10	4.4	11	6.9
12	自分には関係ない	5	2.2	12	2.5
	その他	22	9.6		8.4
	無回答	3	1.3		1.0
計		428			

（標本数：228 件）　　（標本数：203 件）

※「その他」の内容
・「別荘に住んでいるため」　など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		１０代・２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代以上
標本数(件)		41	56	34	30	31	33
町内会に加入しない理由（%）	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	19.5	53.6	50.0	43.3	32.3	24.2
	役職などが回ってくるのが負担	12.2	21.4	26.5	33.3	25.8	18.2
	仕事などの関係で時間的に無理	14.6	19.6	20.6	13.3	35.5	9.1
	親が加入しているため	43.9	21.4	26.5	3.3	0.0	0.0
	必要性を感じていない	14.6	12.5	17.6	23.3	16.1	18.2
	人付き合いがわずらわしい	12.2	16.1	11.8	20.0	19.4	6.1
	会費が経済的に負担	14.6	17.9	2.9	16.7	9.7	9.1
	高齢のため	0.0	0.0	0.0	0.0	16.1	66.7
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	9.8	10.7	17.6	20.0	9.7	3.0
	子どもがいないため	2.4	7.1	5.9	16.7	3.2	0.0
	単身赴任等で一時的な居住のため	4.9	5.4	11.8	3.3	0.0	0.0
	自分には関係ない	0.0	3.6	2.9	0.0	3.2	3.0
	その他	9.8	5.4	2.9	10.0	16.1	18.2
	無回答	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1

【年齢別】

・１０代・２０代は「親が加入しているため」の割合が最も高い。

・３０代～５０代は「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。

・６０代は「仕事などの関係で時間的に無理」の割合が最も高い。

・７０代以上は「高齢のため」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	三世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	その他
標本数(件)		50	31	93	(48)	29	(14)	12
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	52.0	35.5	46.2	(75.0)	0.0	(0.0)	33.3
	役職などが回ってくるのが負担	24.0	25.8	25.8	(16.7)	13.8	(14.3)	8.3
	仕事などの関係で時間的に無理	22.0	19.4	18.3	(20.8)	13.8	(14.3)	25.0
	親が加入しているため	4.0	0.0	23.7	(18.8)	51.7	(57.1)	8.3
	必要性を感じていない	6.0	19.4	20.4	(10.4)	20.7	(14.3)	8.3
	人付き合いがわずらわしい	14.0	19.4	11.8	(10.4)	17.2	(14.3)	0.0
	会費が経済的に負担	16.0	6.5	15.1	(10.4)	13.8	(28.6)	8.3
	高齢のため	12.0	25.8	5.4	(0.0)	17.2	(7.1)	8.3
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	20.0	16.1	9.7	(14.6)	3.4	(7.1)	8.3
	子どもがいないため	12.0	9.7	4.3	(0.0)	0.0	(0.0)	0.0
	単身赴任等で一時的な居住のため	8.0	3.2	4.3	(8.3)	3.4	(0.0)	0.0
	自分には関係ない	2.0	3.2	2.2	(0.0)	3.4	(0.0)	0.0
	その他	6.0	9.7	9.7	(6.3)	10.3	(0.0)	16.7
	無回答	0.0	0.0	0.0	(0.0)	0.0	(0.0)	8.3

【家族構成別】

・単身世帯、夫婦のみ及び二世代世帯は「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。

・三世代世帯は「親が加入しているため」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数（件）		10	22	11	31	152
町内会に加入しない理由（%）	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	30.0	54.5	36.4	38.7	36.2
	役職などが回ってくるのが負担	10.0	13.6	18.2	16.1	25.7
	仕事などの関係で時間的に無理	0.0	27.3	9.1	25.8	17.8
	親が加入しているため	10.0	13.6	9.1	29.0	17.8
	必要性を感じていない	0.0	4.5	18.2	16.1	19.1
	人付き合いがわずらわしい	0.0	4.5	9.1	22.6	15.1
	会費が経済的に負担	0.0	4.5	27.3	16.1	13.2
	高齢のため	10.0	0.0	9.1	3.2	16.4
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	40.0	18.2	18.2	6.5	9.2
	子どもがいないため	0.0	4.5	0.0	6.5	6.6
	単身赴任等で一時的な居住のため	20.0	18.2	9.1	3.2	1.3
	自分には関係ない	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
	その他	20.0	9.1	9.1	3.2	10.5
	無回答	0.0	0.0	0.0	6.5	0.7

【定住年数別】

・１年未満は「引っ越してきたときに加入の誘いがなかった」の割合が最も高い。

・１年以上は「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。

属性別集計（居住形態別）

		居住形態				
		持ち家（分譲マンション・家族所有含む）	借家（アパート含む）	間借	社宅・寮	その他
標本数（件）		107	107	1	6	4
町内会に加入しない理由（%）	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	0.0	79.4	0.0	16.7	25.0
	役職などが回ってくるのが負担	30.8	13.1	100.0	16.7	0.0
	仕事などの関係で時間的に無理	23.4	13.1	0.0	50.0	0.0
	親が加入しているため	30.8	7.5	0.0	0.0	0.0
	必要性を感じていない	22.4	11.2	0.0	0.0	25.0
	人付き合いがわずらわしい	18.7	10.3	0.0	0.0	0.0
	会費が経済的に負担	16.8	7.5	100.0	33.3	0.0
	高齢のため	14.0	8.4	100.0	0.0	50.0
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	6.5	15.9	0.0	16.7	0.0
	子どもがいないため	8.4	2.8	0.0	16.7	0.0
	単身赴任等で一時的な居住のため	0.9	5.6	0.0	50.0	0.0
	自分には関係ない	2.8	1.9	0.0	0.0	0.0
	その他	9.3	8.4	0.0	16.7	50.0
	無回答	1.9	0.0	0.0	0.0	25.0

【居住形態別】

・持ち家は「役職などが回ってくるのが負担」及び「親が加入しているため」の割合が最も高い。

・借家は「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。

・社宅・寮は「仕事などの関係で時間的に無理」及び「単身赴任等で一時的な居住のため」の割合が最も高い。

※間借は回答数が１件のため除く

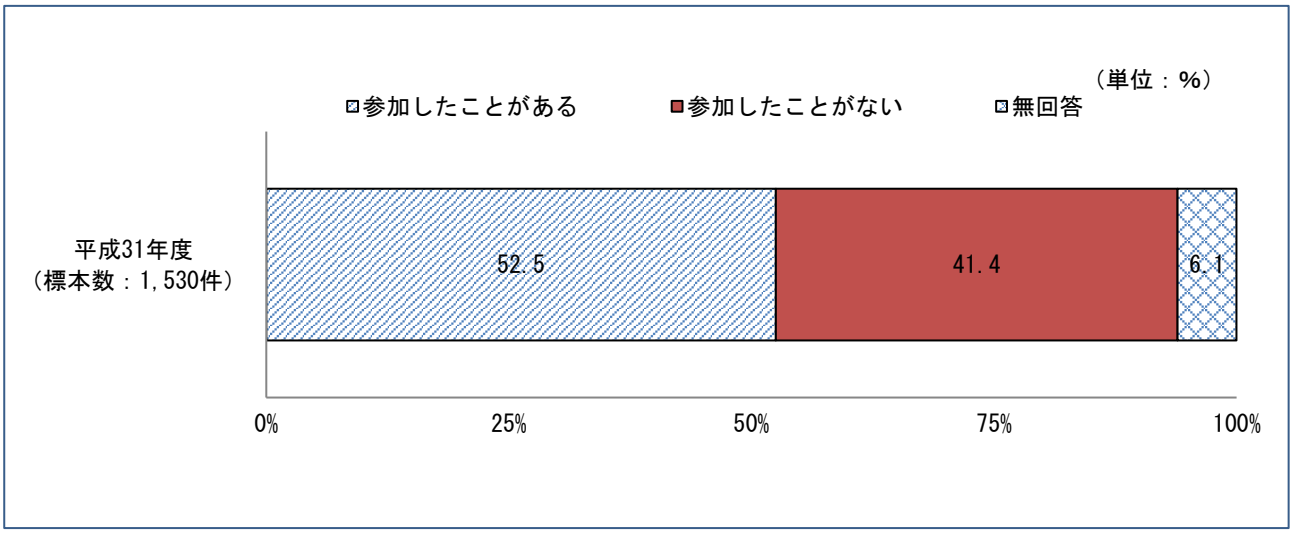
２　まちづくり協議会への参加状況

・「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が高いが、過半数をわずかに上回る程度である。

問１０　あなたは、お住まいの地域のまちづくり協議会（まち協）の活動に参加したことがありますか。（１つに○印）

	回答数（件）	回答率（%）
まちづくり協議会(まち協)の活動に参加したことがある。もしくは参加している	803	52.5
まちづくり協議会(まち協)の活動に参加したことがない	634	41.4
無回答	93	6.1
計	1,530	

（標本数：1,530 件）



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	まちづくり協議会への参加状況(%)		
			まちづくり協議会（まち協）の活動に参加したことがある。もしくは参加している	まちづくり協議会（まち協）の活動に参加したことがない	無回答
年齢	10代・20代	91	28.6	67.0	4.4
	30代	145	36.6	57.2	6.2
	40代	205	58.5	40.5	1.0
	50代	217	58.5	37.8	3.7
	60代	338	60.7	36.7	2.7
	70代以上	488	50.2	39.1	10.7
居住地域	高山地域	972	47.5	47.1	5.3
	東地区	60	51.7	40.0	8.3
	西地区	87	52.9	36.8	10.3
	南地区	123	46.3	47.2	6.5
	北地区	172	45.3	53.5	1.2
	山王地区	154	39.6	55.2	5.2
	江名子地区	57	45.6	47.4	7.0
	新宮地区	104	47.1	50.0	2.9
	三枝地区	61	52.5	41.0	6.6
	大八地区	76	52.6	39.5	7.9
	岩滝地区	7	71.4	14.3	14.3
	花里地区	71	52.1	45.1	2.8
	丹生川地域	80	66.3	28.8	5.0
	清見地域	43	69.8	20.9	9.3
	荘川地域	26	42.3	42.3	15.4
	一之宮地域	45	57.8	40.0	2.2
	久々野地域	67	74.6	22.4	3.0
	朝日地域	30	83.3	13.3	3.3
	高根地域	15	53.3	40.0	6.7
	国府地域	137	59.1	35.8	5.1
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	63	63.5	25.4	11.1

【年齢別】

・４０代以上は「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が高い。

【居住地域別】

・南地区、北地区、山王地区、江名子地区及び新宮地区は、「参加したことがない」の割合が高い。
（荘川地域は「参加したことがない」と「参加したことがある。もしくは参加している」とが同数）

・「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が最も高いのは朝日地域、最も低いのは山王地区である。

属性別集計（定住年数、居住形態別）

		標本数(件)	まちづくり協議会への参加状況(%)		
			まちづくり協議会（まち協）の活動に参加したことがある。もしくは参加している	まちづくり協議会（まち協）の活動に参加したことがない	無回答
定住年数	1年未満	14	14.3	85.7	0.0
	1年以上～5年未満	34	8.8	88.2	2.9
	5年以上～10年未満	37	43.2	48.6	8.1
	10年以上～20年未満	118	39.0	55.9	5.1
	20年以上	1,273	55.6	38.7	5.7
居住形態	持ち家（分譲マンション・家族所有含む）	1,300	57.2	37.4	5.5
	借家(アパート含む)	157	19.1	75.2	5.7
	間借	5	40.0	40.0	20.0
	社宅･寮	15	33.3	60.0	6.7
	その他	5	20.0	80.0	0.0

【定住年数別】

・２０年未満は「参加したことがない」の割合が高い。

・２０年以上は「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が高い。

【居住形態別】

・持ち家は「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が高い。

まちづくり協議会の活動に参加したことがない理由

・「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」と「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が同数で、最も高い。

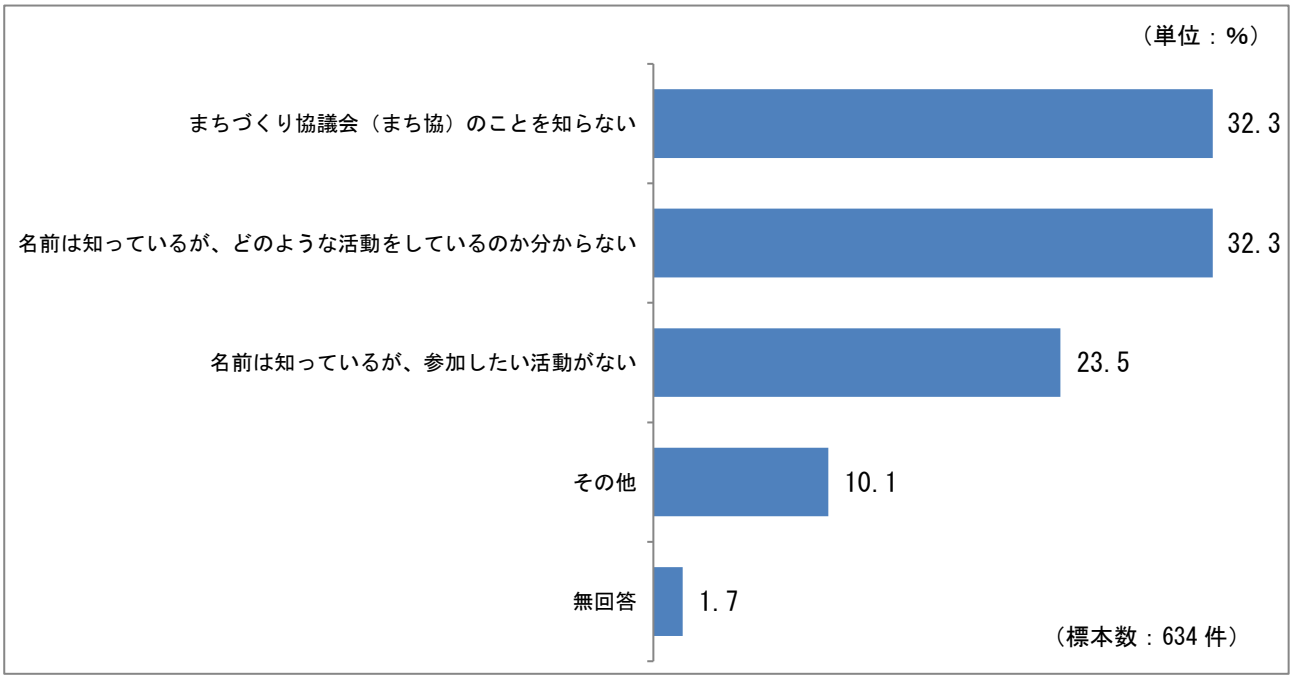
まちづくり協議会（まち協）の活動に参加したことがない理由はなんですか。（１つに○印）

	回答数（件）	回答率（%）
まちづくり協議会（まち協）のことを知らない	205	32.3
名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない	205	32.3
名前は知っているが、参加したい活動がない	149	23.5
その他	64	10.1
無回答	11	1.7
計	634	

（標本数：634 件）

※「その他」の内容

・「高齢のため」、「参加する時間がない」、「家族が参加している」　など



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	まちづくり協議会の活動に参加したことがない理由(%)				
			まちづくり協議会（まち協）のことを知らない	名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない	名前は知っているが、参加したい活動がない	その他	無回答
年齢	10代・20代	61	52.5	34.4	8.2	4.9	0.0
	30代	83	41.0	34.9	18.1	6.0	0.0
	40代	83	38.6	30.1	25.3	4.8	1.2
	50代	82	41.5	28.0	15.9	12.2	2.4
	60代	124	21.8	39.5	29.0	8.9	0.8
	70代以上	191	22.5	28.8	29.3	15.7	3.7
居住地域	高山地域	458	34.3	31.2	23.4	9.8	1.3
	東地区	24	33.3	37.5	20.8	8.3	0.0
	西地区	32	50.0	18.8	15.6	15.6	0.0
	南地区	58	32.8	32.8	24.1	10.3	0.0
	北地区	92	33.7	34.8	21.7	8.7	1.1
	山王地区	85	38.8	30.6	23.5	5.9	1.2
	江名子地区	27	25.9	29.6	37.0	3.7	3.7
	新宮地区	52	28.8	23.1	32.7	11.5	3.8
	三枝地区	25	32.0	36.0	12.0	20.0	0.0
	大八地区	30	26.7	36.7	16.7	16.7	3.3
	岩滝地区	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	花里地区	32	34.4	34.4	25.0	6.3	0.0
	丹生川地域	23	13.0	52.2	21.7	13.0	0.0
	清見地域	9	22.2	33.3	44.4	0.0	0.0
	荘川地域	11	45.5	27.3	18.2	9.1	0.0
	一之宮地域	18	44.4	27.8	22.2	5.6	0.0
	久々野地域	15	6.7	33.3	26.7	26.7	6.7
	朝日地域	4	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0
	高根地域	6	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0
	国府地域	49	22.4	42.9	22.4	12.2	0.0
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	16	31.3	31.3	31.3	0.0	6.3

【年齢別】

・５０代以下は「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」の割合が最も高い。

【居住地域別】

・「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高い地域は、全２０地域（地区）中１１地域（地区）である。

・「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」の割合が最も高い地域は、全２０地域（地区）中９地域（地区）である。

属性別集計（定住年数、居住形態別）

		標本数(件)	まちづくり協議会の活動に参加したことがない理由(%)				
			まちづくり協議会（まち協）のことを知らない	名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない	名前は知っているが、参加したい活動がない	その他	無回答
定住年数	1年未満	12	33.3	33.3	16.7	8.3	8.3
	1年以上～5年未満	30	70.0	26.7	0.0	3.3	0.0
	5年以上～10年未満	18	38.9	44.4	5.6	5.6	5.6
	10年以上～20年未満	66	34.8	24.2	27.3	13.6	0.0
	20年以上	493	30.2	33.1	24.5	10.5	1.6
居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	486	29.4	32.7	26.5	9.7	1.6
	借家(アパート含む)	118	44.1	32.2	11.0	11.9	0.8
	間借	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	社宅・寮	9	66.7	11.1	0.0	22.2	0.0
	その他	4	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0

【定住年数別】

・１年以上～５年未満と１０年以上～２０年未満は「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」の割合が最も高い。

・５年以上～１０年未満と２０年以上は「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高い。

【居住形態別】

・持ち家のみ「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高く、その他の居住形態は「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」の割合が最も高い。

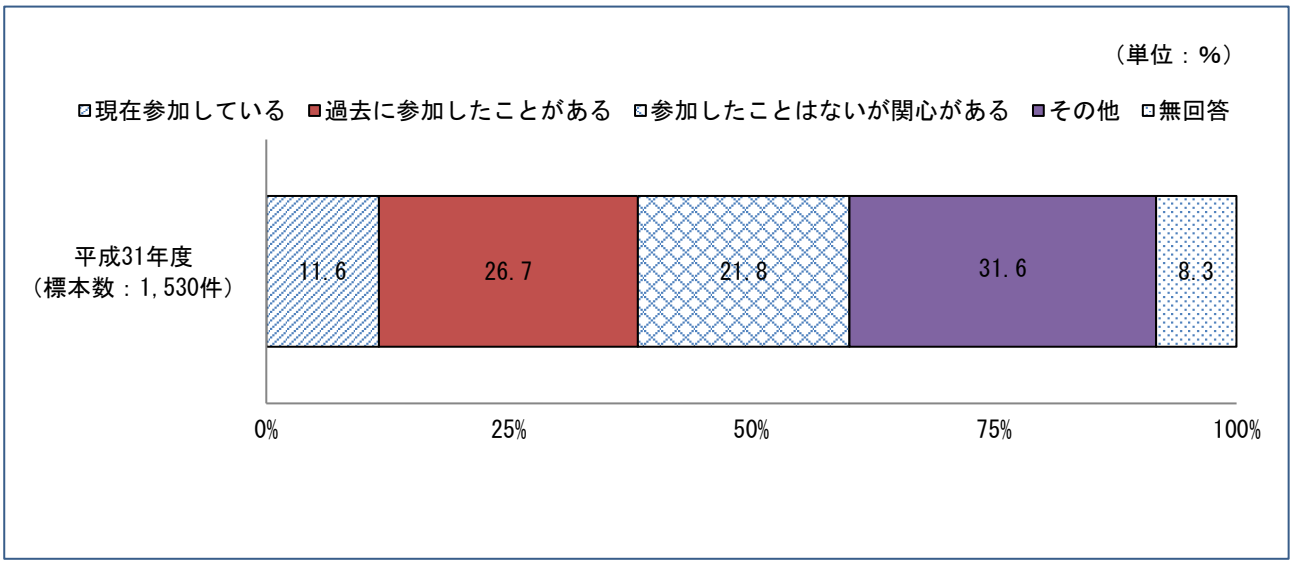
３　市民活動（まちづくり協議会以外）への参加状況

・市民活動の経験者は、「現在参加している」と「過去に参加したことがある」を合わせて 38.3%となっている。

問１１　あなたは、市民活動（まちづくり協議会以外）に参加したことがありますか。
（１つに○印）

	回答数（件）	回答率（%）
現在参加している	178	11.6
過去に参加したことがある	409	26.7
参加したことはないが関心がある	333	21.8
参加したことはなく関心もない	483	31.6
無回答	127	8.3
計	1,530	

（標本数：1,530 件）



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	市民活動(まちづくり協議会以外)への参加状況(%)				
			現在参加している	過去に参加したことがある	参加したことはないが関心がある	参加したことはなく関心もない	無回答
年齢	10代・20代	91	3.3	22.0	20.9	49.5	4.4
	30代	145	10.3	5.5	30.3	49.7	4.1
	40代	205	11.2	25.4	23.4	38.5	1.5
	50代	217	12.0	28.1	22.6	32.7	4.6
	60代	338	14.8	29.9	21.6	27.2	6.5
	70代以上	488	11.7	30.3	18.4	24.4	15.2
居住地域	高山地域	972	9.7	25.5	22.4	35.2	7.2
	東地区	60	15.0	23.3	15.0	40.0	6.7
	西地区	87	14.9	20.7	25.3	27.6	11.5
	南地区	123	13.0	25.2	20.3	32.5	8.9
	北地区	172	6.4	27.3	27.9	36.0	2.3
	山王地区	154	7.1	22.7	26.0	37.0	7.1
	江名子地区	57	3.5	28.1	15.8	42.1	10.5
	新宮地区	104	8.7	21.2	24.0	40.4	5.8
	三枝地区	61	9.8	24.6	18.0	39.3	8.2
	大八地区	76	6.6	38.2	15.8	28.9	10.5
	岩滝地区	7	14.3	42.9	0.0	28.6	14.3
	花里地区	71	15.5	25.4	23.9	29.6	5.6
	丹生川地域	80	16.3	28.8	21.3	27.5	6.3
	清見地域	43	23.3	25.6	14.0	18.6	18.6
	荘川地域	26	19.2	19.2	19.2	30.8	11.5
	一之宮地域	45	13.3	26.7	17.8	40.0	2.2
	久々野地域	67	20.9	34.3	20.9	16.4	7.5
	朝日地域	30	23.3	33.3	10.0	10.0	23.3
	高根地域	15	6.7	26.7	20.0	20.0	26.7
	国府地域	137	9.5	29.2	24.1	29.2	8.0
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	63	15.9	41.3	15.9	17.5	9.5

【年齢別】

・５０代以下は「参加したことはなく関心もない」の割合が最も高い。

・６０代以上は「過去に参加したことがある」の割合が最も高い。

【居住地域別】

・高山地域は、１１地区中９地区で「参加したことはなく関心もない」の割合が最も高く、支所地域は、９地域中７地域で「過去に参加したことがある」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数、居住形態別）

		標本数（件）	市民活動（まちづくり協議会以外）への参加状況（%）				
			現在参加している	過去に参加したことがある	参加したことはないが関心がある	参加したことはなく関心もない	無回答
定住年数	1年未満	14	0.0	0.0	50.0	42.9	7.1
	1年以上～5年未満	34	0.0	5.9	29.4	61.8	2.9
	5年以上～10年未満	37	16.2	10.8	27.0	37.8	8.1
	10年以上～20年未満	118	6.8	20.3	25.4	40.7	6.8
	20年以上	1,273	12.4	28.4	20.7	30.2	8.2
居住形態	持ち家（分譲マンション・家族所有含む）	1,300	12.3	28.5	21.4	29.1	8.7
	借家（アパート含む）	157	5.1	12.7	22.9	56.1	3.2
	間借	5	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0
	社宅・寮	15	26.7	6.7	33.3	26.7	6.7
	その他	5	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0

【定住年数別】

・１年未満は「参加したことはないが関心がある」の割合が最も高い。

・１年以上は「参加したことはなく関心もない」の割合が最も高い。

【居住形態別】

・社宅・寮のみ「参加したことはないが関心がある」の割合が最も高く、その他の居住形態は「参加したことはなく関心もない」の割合が最も高い。

３－２　市民活動（まちづくり協議会以外）に参加した、もしくは関心がある分野

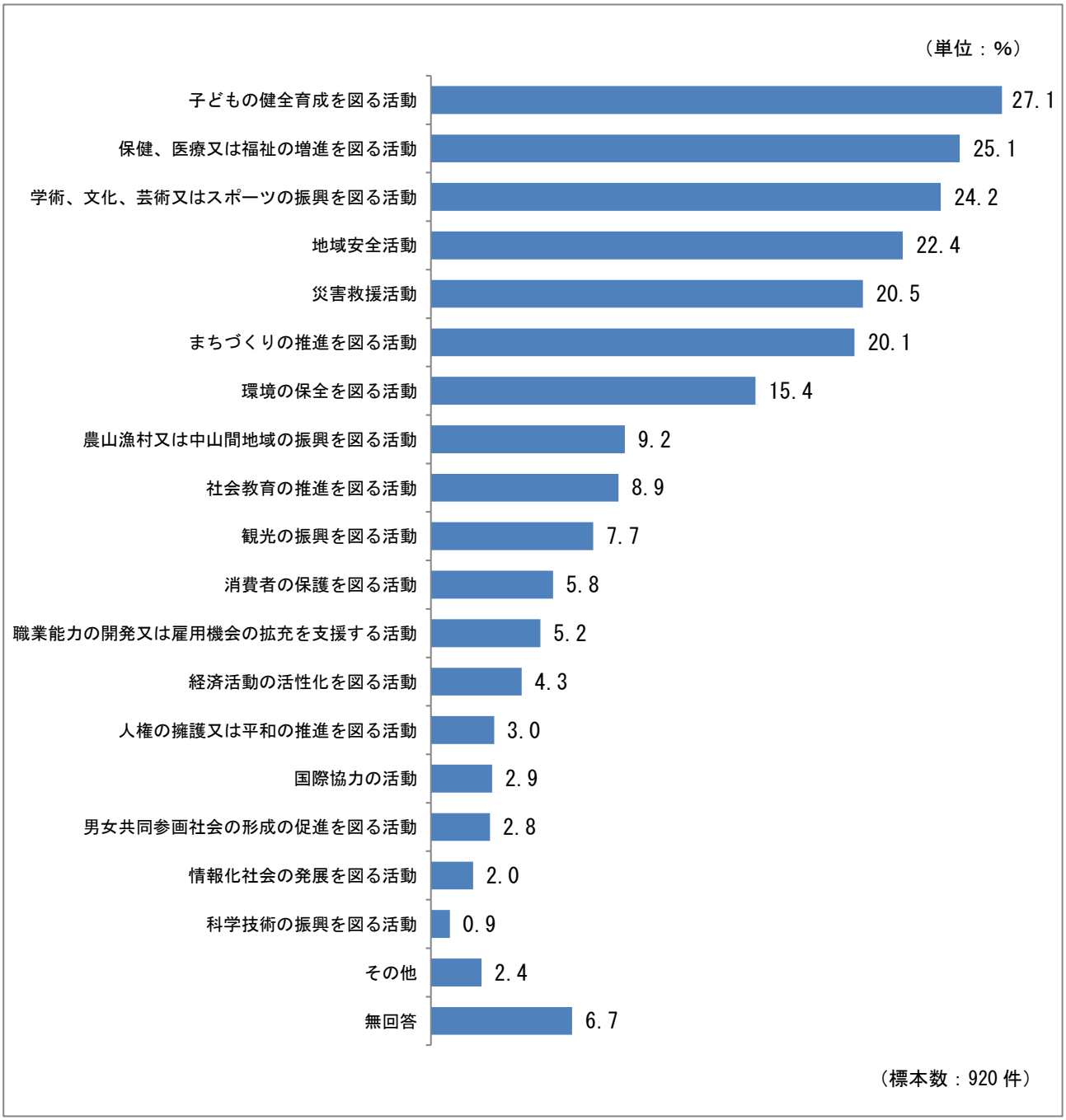
・「子どもの健全育成を図る活動」の割合が最も高い。
・次いで、「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」の割合が高い。

問１１―２　問１１で、「現在参加している」「過去に参加したことがある」「参加したことはないが関心がある」に〇をつけた方に伺います。どのような分野の市民活動に参加したことがありますか。もしくは関心がありますが。（全てに〇印）

順位		回答数（件）	回答率（%）
1	子どもの健全育成を図る活動	249	27.1
2	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	231	25.1
3	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	223	24.2
4	地域安全活動	206	22.4
5	災害救援活動	189	20.5
6	まちづくりの推進を図る活動	185	20.1
7	環境の保全を図る活動	142	15.4
8	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	85	9.2
9	社会教育の推進を図る活動	82	8.9
10	観光の振興を図る活動	71	7.7
11	消費者の保護を図る活動	53	5.8
12	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	48	5.2
13	経済活動の活性化を図る活動	40	4.3
14	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	28	3.0
15	国際協力の活動	27	2.9
16	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	26	2.8
17	情報化社会の発展を図る活動	18	2.0
18	科学技術の振興を図る活動	8	0.9
	その他	22	2.4
	無回答	62	6.7
計		1,995	

（標本数：920 件）

※「その他」の内容
・「神社の維持管理」など


（単位：%）
子どもの健全育成を図る活動 27.1
保健、医療又は福祉の増進を図る活動 25.1
学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 24.2
地域安全活動 22.4
災害救援活動 20.5
まちづくりの推進を図る活動 20.1
環境の保全を図る活動 15.4
農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動 9.2
社会教育の推進を図る活動 8.9
観光の振興を図る活動 7.7
消費者の保護を図る活動 5.8
職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動 5.2
経済活動の活性化を図る活動 4.3
人権の擁護又は平和の推進を図る活動 3.0
国際協力の活動 2.9
男女共同参画社会の形成の促進を図る活動 2.8
情報化社会の発展を図る活動 2.0
科学技術の振興を図る活動 0.9
その他 2.4
無回答 6.7
（標本数：920 件）

属性別集計（性別、年齢別）

		性別		年齢					
		男性	女性	１０代・２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代以上
標本数（件）		383	491	42	67	123	136	224	295
市民活動に参加した、もしくは関心がある分野（％）	子どもの健全育成を図る活動	23.2	30.8	33.3	53.7	39.8	27.2	21.0	19.7
	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	18.8	29.3	11.9	13.4	17.1	21.3	22.8	35.6
	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	23.0	24.6	31.0	19.4	25.2	26.5	24.1	22.4
	地域安全活動	30.0	16.9	14.3	9.0	17.1	26.5	26.3	24.1
	災害救援活動	24.3	17.9	14.3	20.9	18.7	25.7	19.6	21.4
	まちづくりの推進を図る活動	25.6	15.5	16.7	16.4	17.1	22.1	18.3	22.7
	環境の保全を図る活動	19.1	12.2	11.9	7.5	9.8	16.2	19.6	15.6
	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	16.2	3.5	4.8	4.5	8.9	8.8	13.4	8.1
	社会教育の推進を図る活動	10.4	7.9	11.9	4.5	5.7	6.6	9.8	11.2
	観光の振興を図る活動	8.4	6.7	11.9	14.9	5.7	4.4	4.0	11.2
	消費者の保護を図る活動	4.7	6.5	0.0	4.5	2.4	4.4	5.4	8.8
	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	5.0	5.3	2.4	11.9	8.1	7.4	4.5	2.7
	経済活動の活性化を図る活動	6.8	2.6	7.1	10.4	6.5	6.6	1.3	3.1
	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	2.6	2.9	0.0	0.0	0.8	2.2	3.1	5.1
	国際協力の活動	4.2	2.2	14.3	7.5	4.1	2.9	2.2	0.7
	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	1.8	3.7	7.1	0.0	0.8	3.7	1.8	3.7
	情報化社会の発展を図る活動	2.6	1.4	2.4	3.0	0.0	3.7	1.3	2.4
	科学技術の振興を図る活動	1.0	0.6	0.0	3.0	0.8	2.2	0.0	0.3
	その他	2.3	2.6	0.0	4.5	1.6	2.9	1.3	3.1
	無回答	6.3	6.3	0.0	3.0	6.5	1.5	7.6	10.2

【性別】

・男性は「地域安全活動」の割合が最も高い。

・女性は「子どもの健全育成を図る活動」の割合が最も高い。

【年齢別】

・５０代以下は「子どもの健全育成を図る活動」の割合が最も高い。

・６０代は「地域安全活動」の割合が最も高い。

・７０代以上は「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数(件)		560	32	53	72	106	86	27	56	32	46	4	46
市民活動に参加した、もしくは関心がある分野（%）	子どもの健全育成を図る活動	29.8	40.6	32.1	29.2	30.2	27.9	18.5	30.4	40.6	17.4	50.0	32.6
	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	27.5	25.0	39.6	29.2	30.2	20.9	40.7	16.1	21.9	21.7	50.0	32.6
	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	25.5	18.8	24.5	29.2	22.6	25.6	25.9	32.1	34.4	19.6	25.0	23.9
	地域安全活動	22.9	12.5	24.5	26.4	21.7	24.4	14.8	19.6	25.0	19.6	50.0	30.4
	災害救援活動	20.7	15.6	20.8	20.8	23.6	18.6	14.8	14.3	28.1	21.7	25.0	26.1
	まちづくりの推進を図る活動	19.1	18.8	24.5	25.0	15.1	25.6	14.8	16.1	15.6	15.2	50.0	10.9
	環境の保全を図る活動	12.9	0.0	11.3	16.7	11.3	9.3	3.7	12.5	18.8	19.6	25.0	21.7
	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	5.5	0.0	5.7	1.4	7.5	5.8	3.7	5.4	6.3	10.9	25.0	4.3
	社会教育の推進を図る活動	9.5	6.3	9.4	9.7	12.3	7.0	7.4	1.8	3.1	13.0	25.0	19.6
	観光の振興を図る活動	5.9	12.5	11.3	5.6	6.6	5.8	0.0	1.8	6.3	0.0	25.0	6.5
	消費者の保護を図る活動	6.4	3.1	9.4	4.2	7.5	7.0	7.4	3.6	12.5	6.5	0.0	4.3
	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	5.4	3.1	5.7	5.6	4.7	8.1	3.7	10.7	0.0	0.0	0.0	6.5
	経済活動の活性化を図る活動	4.8	6.3	5.7	1.4	8.5	5.8	0.0	7.1	3.1	0.0	0.0	4.3
	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	2.9	0.0	1.9	6.9	3.8	2.3	0.0	1.8	3.1	2.2	0.0	2.2
	国際協力の活動	3.2	6.3	3.8	1.4	2.8	3.5	3.7	1.8	3.1	2.2	0.0	6.5
	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	3.0	0.0	1.9	0.0	4.7	2.3	7.4	3.6	3.1	2.2	25.0	4.3
	情報化社会の発展を図る活動	2.1	0.0	5.7	5.6	0.9	2.3	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
	科学技術の振興を図る活動	0.9	0.0	0.0	1.4	0.9	2.3	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	3.0	3.1	0.0	0.0	7.5	3.5	0.0	1.8	3.1	0.0	0.0	6.5
	無回答	5.2	6.3	0.0	6.9	6.6	9.3	0.0	5.4	3.1	2.2	0.0	4.3

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数(件)		53	27	15	26	51	20	8	86	46
市民活動に参加した、もしくは関心がある分野（%）	子どもの健全育成を図る活動	22.6	22.2	6.7	34.6	29.4	20.0	12.5	19.8	21.7
	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	26.4	25.9	13.3	7.7	19.6	25.0	25.0	18.6	21.7
	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	24.5	22.2	33.3	26.9	19.6	25.0	12.5	20.9	17.4
	地域安全活動	18.9	18.5	13.3	30.8	27.5	20.0	12.5	16.3	30.4
	災害救援活動	22.6	25.9	13.3	26.9	17.6	20.0	25.0	16.3	28.3
	まちづくりの推進を図る活動	26.4	40.7	20.0	11.5	19.6	35.0	25.0	16.3	19.6
	環境の保全を図る活動	20.8	29.6	40.0	30.8	9.8	15.0	12.5	17.4	21.7
	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	17.0	18.5	33.3	3.8	11.8	15.0	12.5	10.5	28.3
	社会教育の推進を図る活動	5.7	18.5	13.3	11.5	3.9	0.0	12.5	5.8	10.9
	観光の振興を図る活動	11.3	3.7	20.0	11.5	5.9	10.0	12.5	10.5	17.4
	消費者の保護を図る活動	0.0	0.0	6.7	7.7	2.0	0.0	0.0	8.1	6.5
	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	1.9	3.7	6.7	3.8	5.9	5.0	12.5	4.7	6.5
	経済活動の活性化を図る活動	1.9	0.0	6.7	0.0	2.0	10.0	0.0	4.7	4.3
	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	1.9	7.4	0.0	0.0	2.0	5.0	0.0	3.5	4.3
	国際協力の活動	3.8	3.7	6.7	3.8	2.0	5.0	0.0	1.2	2.2
	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	1.9	0.0	6.7	3.8	3.9	0.0	0.0	3.5	2.2
	情報化社会の発展を図る活動	0.0	3.7	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	3.5	2.2
	科学技術の振興を図る活動	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	2.2
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	0.0	0.0	3.5	0.0
	無回答	11.3	3.7	6.7	3.8	7.8	10.0	12.5	11.6	8.7

【居住地域別】

・高山地域は、１１地区中７地区で「子どもの健全育成を図る活動」又は「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」の割合が最も高い。

・支所地域は、地域によって分野のばらつきがあるが、９地域中４地域で「まちづくりの推進を図る活動」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	三世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	その他
標本数（件）		72	242	339	(112)	202	(131)	18
市民活動に参加した、もしくは関心がある分野（%）	子どもの健全育成を図る活動	19.4	21.9	28.0	(42.0)	37.6	(39.7)	16.7
	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	38.9	31.0	22.1	(14.3)	19.8	(17.6)	11.1
	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	25.0	25.6	23.0	(21.4)	26.2	(24.4)	16.7
	地域安全活動	19.4	23.1	19.8	(12.5)	25.7	(25.2)	27.8
	災害救援活動	30.6	22.3	21.5	(19.6)	14.9	(13.0)	0.0
	まちづくりの推進を図る活動	15.3	21.5	20.4	(14.3)	19.8	(16.0)	16.7
	環境の保全を図る活動	15.3	16.9	15.6	(10.7)	14.9	(12.2)	11.1
	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	4.2	10.7	9.4	(7.1)	10.4	(9.9)	0.0
	社会教育の推進を図る活動	8.3	9.1	10.0	(8.0)	6.4	(3.1)	11.1
	観光の振興を図る活動	4.2	8.7	9.1	(7.1)	5.9	(5.3)	5.6
	消費者の保護を図る活動	8.3	8.3	5.6	(1.8)	1.5	(2.3)	0.0
	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	5.6	3.7	7.4	(6.3)	3.0	(3.1)	11.1
	経済活動の活性化を図る活動	2.8	3.3	5.9	(5.4)	4.0	(3.8)	5.6
	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	1.4	4.1	2.7	(0.9)	2.0	(1.5)	0.0
	国際協力の活動	4.2	3.7	2.9	(4.5)	1.5	(0.8)	11.1
	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	5.6	2.5	2.9	0.0	2.5	0.0	0.0
	情報化社会の発展を図る活動	5.6	2.5	1.2	0.0	2.0	(1.5)	0.0
	科学技術の振興を図る活動	0.0	0.8	1.2	(1.8)	0.0	0.0	0.0
	その他	2.8	2.5	2.1	(1.8)	2.5	(2.3)	0.0
	無回答	12.5	7.4	4.4	(6.3)	5.4	(6.1)	11.1

【家族構成別】

・単身世帯及び夫婦のみは「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」の割合が最も高い。

・二世代世帯及び三世代世帯は「子どもの健全育成を図る活動」の割合が最も高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数（件）		58	99	248	178	65	16	194	14
市民活動に参加した、もしくは関心がある分野（%）	子どもの健全育成を図る活動	17.2	30.3	31.5	32.6	26.2	25.0	20.6	21.4
	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	20.7	22.2	20.2	24.7	29.2	12.5	34.0	14.3
	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	15.5	20.2	28.2	23.6	23.1	31.3	22.2	28.6
	地域安全活動	20.7	19.2	22.2	20.2	24.6	6.3	27.8	7.1
	災害救援活動	13.8	18.2	25.8	18.5	13.8	12.5	19.1	7.1
	まちづくりの推進を図る活動	25.9	22.2	18.1	21.3	12.3	25.0	19.6	21.4
	環境の保全を図る活動	15.5	13.1	14.5	12.9	13.8	18.8	19.6	14.3
	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	31.0	7.1	10.5	5.6	7.7	6.3	6.7	7.1
	社会教育の推進を図る活動	5.2	9.1	10.5	3.9	9.2	6.3	11.9	14.3
	観光の振興を図る活動	8.6	8.1	9.7	5.1	9.2	18.8	7.2	0.0
	消費者の保護を図る活動	6.9	5.1	3.2	6.7	9.2	0.0	7.7	0.0
	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	0.0	5.1	7.3	6.2	3.1	0.0	3.6	7.1
	経済活動の活性化を図る活動	0.0	9.1	5.2	3.4	1.5	12.5	2.1	14.3
	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	0.0	5.1	1.6	2.8	3.1	0.0	4.1	0.0
	国際協力の活動	1.7	4.0	4.4	2.2	0.0	25.0	1.0	0.0
	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	1.7	4.0	2.8	1.7	3.1	6.3	2.6	7.1
	情報化社会の発展を図る活動	0.0	5.1	2.0	1.1	1.5	0.0	2.6	0.0
	科学技術の振興を図る活動	0.0	2.0	0.4	1.1	0.0	0.0	1.0	0.0
	その他	0.0	4.0	1.2	2.2	4.6	0.0	3.1	7.1
	無回答	8.6	11.1	2.8	6.2	7.7	0.0	7.7	21.4

【職業別】

・自営業、会社員・公務員・団体職員及びパート・アルバイト・内職は「子どもの健全育成を図る活動」の割合が最も高い。

・家事従事者及び無職は「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」の割合が最も高い。

・農林畜産業及び学生は、自身との関りが深い分野の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数（件）		7	12	20	62	784
市民活動に参加した、もしくは関心がある分野（%）	子どもの健全育成を図る活動	57.1	8.3	40.0	43.5	26.1
	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	14.3	25.0	25.0	21.0	25.6
	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	0.0	41.7	25.0	25.8	23.5
	地域安全活動	0.0	16.7	15.0	17.7	23.2
	災害救援活動	28.6	16.7	25.0	17.7	20.4
	まちづくりの推進を図る活動	14.3	16.7	20.0	19.4	20.2
	環境の保全を図る活動	0.0	16.7	10.0	11.3	15.9
	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	14.3	0.0	10.0	8.1	9.7
	社会教育の推進を図る活動	0.0	16.7	5.0	9.7	8.9
	観光の振興を図る活動	14.3	33.3	10.0	9.7	7.4
	消費者の保護を図る活動	14.3	0.0	0.0	4.8	6.0
	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	28.6	0.0	10.0	9.7	4.7
	経済活動の活性化を図る活動	0.0	16.7	20.0	4.8	3.8
	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	0.0	0.0	0.0	1.6	3.1
	国際協力の活動	14.3	25.0	5.0	9.7	2.0
	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	0.0	8.3	5.0	4.8	2.7
	情報化社会の発展を図る活動	0.0	8.3	0.0	4.8	1.8
	科学技術の振興を図る活動	14.3	0.0	5.0	3.2	0.4
	その他	0.0	0.0	5.0	3.2	2.3
	無回答	14.3	0.0	0.0	1.6	7.1

【定住年数別】

・１年以上～５年未満のみ「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」の割合が最も高く、その他の定住年数では「子どもの健全育成を図る活動」の割合が最も高い。

４　まちづくり活動に参加しやすくするための条件

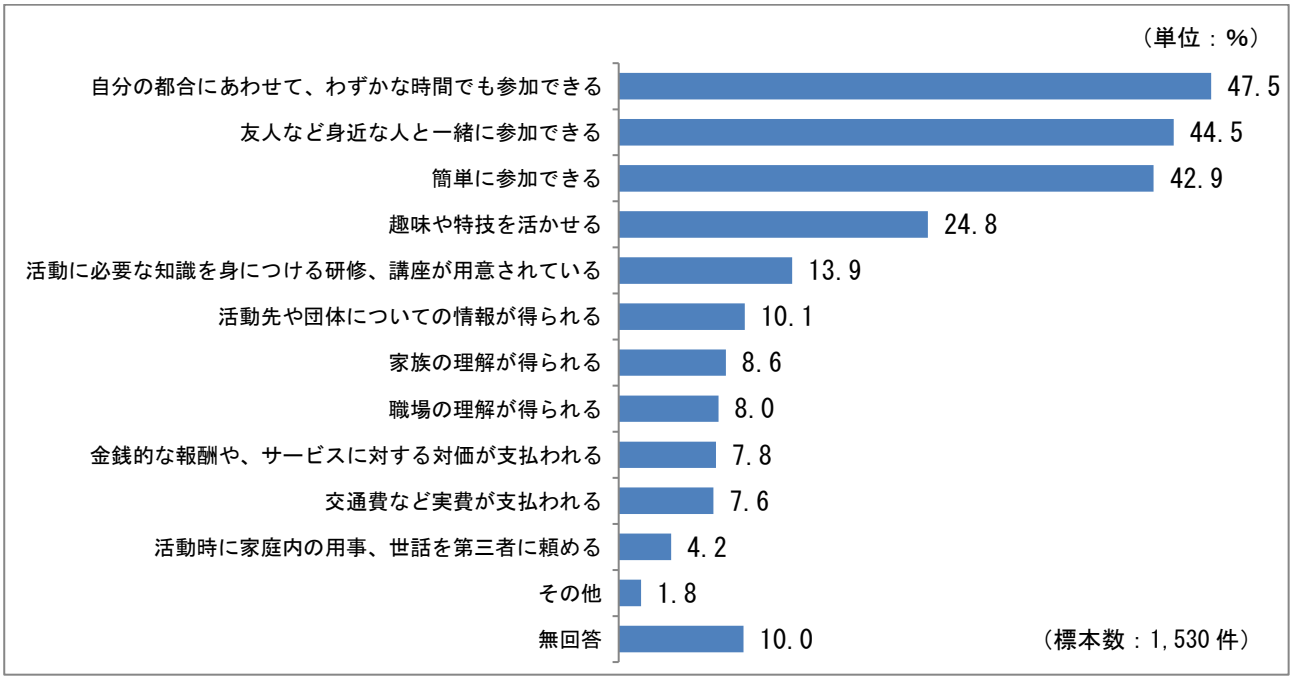
・１位から６位までの順位は、前回（H30）の調査結果と同じである。
・前回（H30）の調査結果に比べ、「職場の理解が得られる」の順位・割合が低下している。

問１２　あなたは、地域活動や市民活動など、まちづくりの活動に参加する場合、どのような条件があれば参加しやすいですか。（３つまで○印）

順位		回答数（件）	回答率（%）	前回（H30）	
				順位	回答率(%)
1	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	726	47.5	1	47.4
2	友人など身近な人と一緒に参加できる	681	44.5	2	40.9
3	簡単に参加できる	656	42.9	3	40.7
4	趣味や特技を活かせる	379	24.8	4	22.7
5	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	212	13.9	5	16.3
6	活動先や団体についての情報が得られる	155	10.1	6	12.5
7	家族の理解が得られる	131	8.6	8	11.4
8	職場の理解が得られる	122	8.0	7	12.2
9	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	120	7.8	9	10.5
10	交通費など実費が支払われる	116	7.6	10	7.6
11	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	65	4.2	11	5.9
	その他	28	1.8		3.0
	無回答	153	10.0		6.0
計		3,544			

（標本数：1,530 件）　（標本数：1,453 件）

※「その他」の内容
・「人間関係のわずらわしさがない」、「送迎がある」、「やりがいがある」　など



属性別集計（性別、年齢別）

		性別		年齢					
		男性	女性	１０代・２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代以上
標本数（件）		623	826	91	145	205	217	338	488
地域活動に参加しやすくするための条件（％）	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	48.8	47.3	48.4	49.7	60.0	50.7	51.5	38.3
	友人など身近な人と一緒に参加できる	36.3	50.6	56.0	41.4	39.5	31.8	42.0	51.2
	簡単に参加できる	43.2	43.9	44.0	45.5	44.9	47.0	47.9	36.5
	趣味や特技を活かせる	27.4	22.6	23.1	24.1	21.0	21.2	26.9	26.6
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	14.6	13.9	12.1	13.8	12.2	16.1	14.5	14.3
	活動先や団体についての情報が得られる	10.6	9.8	6.6	9.7	9.3	8.8	11.5	10.9
	家族の理解が得られる	7.4	9.3	2.2	4.8	12.7	4.6	11.5	8.4
	職場の理解が得られる	11.2	5.8	9.9	16.6	12.2	16.1	5.6	1.6
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	10.1	6.8	16.5	15.9	12.2	11.5	7.4	1.0
	交通費など実費が支払われる	7.4	7.9	18.7	10.3	7.8	10.1	6.8	4.3
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	3	5.3	3.3	8.3	9.8	1.8	4.1	1.8
	その他	2.2	1.6	1.1	2.1	2.0	2.3	1.5	1.8
	無回答	9.5	9.2	5.5	4.8	1.5	7.4	7.4	18.2

【性別】

・男性は「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。

・女性は「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い。

【年齢別】

・１０代・２０代及び７０代以上は「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い。

・３０代～６０代は「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数(件)		972	60	87	123	172	154	57	104	61	76	7	71
地域活動に参加しやすくするための条件（%）	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	49.3	50.0	48.3	50.4	47.1	50.6	45.6	50.0	47.5	44.7	57.1	57.7
	友人など身近な人と一緒に参加できる	43.5	41.7	44.8	45.5	43.6	42.9	40.4	36.5	45.9	40.8	71.4	52.1
	簡単に参加できる	44.4	35.0	33.3	47.2	44.8	44.8	47.4	46.2	45.9	44.7	85.7	49.3
	趣味や特技を活かせる	24.1	15.0	28.7	21.1	28.5	22.1	19.3	19.2	31.1	26.3	28.6	26.8
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	14.2	16.7	12.6	15.4	12.2	17.5	8.8	13.5	18.0	13.2	0.0	14.1
	活動先や団体についての情報が得られる	10.6	10.0	10.3	8.9	14.5	7.1	12.3	11.5	11.5	7.9	0.0	12.7
	家族の理解が得られる	8.7	3.3	11.5	10.6	9.3	6.5	8.8	11.5	14.8	9.2	0.0	1.4
	職場の理解が得られる	7.6	5.0	5.7	8.9	8.1	12.3	8.8	4.8	3.3	2.6	0.0	11.3
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	7.5	16.7	5.7	6.5	8.1	6.5	0.0	10.6	8.2	10.5	14.3	1.4
	交通費など実費が支払われる	7.6	8.3	4.6	6.5	8.7	8.4	5.3	6.7	11.5	11.8	0.0	4.2
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	3.5	3.3	2.3	3.3	2.9	4.5	5.3	4.8	3.3	3.9	0.0	1.4
	その他	2.2	1.7	4.6	0.0	1.7	3.2	1.8	2.9	3.3	1.3	14.3	0.0
	無回答	9.0	15.0	12.6	10.6	4.7	9.7	15.8	7.7	6.6	9.2	0.0	4.2

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数(件)		80	43	26	45	67	30	15	137	63
地域活動に参加しやすくするための条件（%）	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	50.0	51.2	34.6	51.1	53.7	30.0	40.0	39.4	41.3
	友人など身近な人と一緒に参加できる	50.0	39.5	50.0	46.7	46.3	43.3	46.7	44.5	49.2
	簡単に参加できる	51.3	44.2	38.5	28.9	46.3	33.3	26.7	40.9	34.9
	趣味や特技を活かせる	25.0	23.3	26.9	15.6	26.9	16.7	26.7	28.5	33.3
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	13.8	7.0	7.7	17.8	13.4	23.3	20.0	13.1	14.3
	活動先や団体についての情報が得られる	7.5	4.7	15.4	8.9	9.0	10.0	0.0	10.2	15.9
	家族の理解が得られる	10.0	7.0	0.0	4.4	14.9	10.0	6.7	7.3	9.5
	職場の理解が得られる	6.3	11.6	3.8	8.9	13.4	13.3	13.3	5.1	7.9
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	5.0	14.0	11.5	8.9	3.0	13.3	6.7	9.5	9.5
	交通費など実費が支払われる	11.3	11.6	11.5	6.7	1.5	13.3	6.7	8.8	6.3
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	6.3	4.7	3.8	8.9	9.0	6.7	0.0	5.8	0.0
	その他	0.0	0.0	7.7	4.4	1.5	0.0	13.3	0.0	0.0
	無回答	8.8	16.3	23.1	11.1	6.0	10.0	13.3	12.4	11.1

【居住地域別】

・高山地域は、１１地区中９地区で「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。

・支所地域は、９地域中５地域で「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	三世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	その他
標本数（件）		155	366	596	(207)	299	(180)	31
地域活動に参加しやすくするための条件（%）	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	43.2	45.4	49.5	(48.3)	53.8	(53.9)	38.7
	友人など身近な人と一緒に参加できる	38.1	45.1	43.1	(42.0)	50.5	(47.8)	29.0
	簡単に参加できる	35.5	40.4	45.8	(46.4)	46.2	(48.3)	41.9
	趣味や特技を活かせる	21.3	27.9	26.0	(26.1)	20.7	(20.0)	19.4
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	11.0	13.7	15.3	(11.1)	13.7	(15.0)	19.4
	活動先や団体についての情報が得られる	11.0	15.8	7.7	(8.7)	7.4	(7.2)	12.9
	家族の理解が得られる	2.6	6.8	9.4	(10.6)	10.7	(12.8)	3.2
	職場の理解が得られる	7.7	6.3	8.7	(12.6)	9.0	(9.4)	9.7
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	6.5	6.0	9.4	(11.6)	7.4	(7.8)	12.9
	交通費など実費が支払われる	7.7	5.5	9.4	(10.6)	8.4	(8.9)	3.2
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	2.6	1.4	5.2	(8.7)	7.0	(9.4)	0.0
	その他	4.5	2.2	1.0	(0.5)	1.7	(2.2)	3.2
	無回答	17.4	11.5	6.7	(4.8)	7.0	(7.2)	19.4

【家族構成別】

・その他を除く全ての家族構成で「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数（件）		85	145	432	287	96	24	348	30
地域活動に参加しやすくするための条件（%）	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	54.1	53.8	55.6	52.6	34.4	29.2	36.5	53.3
	友人など身近な人と一緒に参加できる	41.2	35.2	37.3	45.6	62.5	58.3	50.9	40.0
	簡単に参加できる	54.1	38.6	44.0	49.1	39.6	45.8	36.5	46.7
	趣味や特技を活かせる	22.4	28.3	23.1	20.9	25.0	25.0	27.0	30.0
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	17.6	18.6	13.4	14.3	15.6	20.8	10.9	10.0
	活動先や団体についての情報が得られる	5.9	7.6	10.0	10.8	13.5	8.3	11.2	10.0
	家族の理解が得られる	12.9	9.0	8.8	7.3	11.5	0.0	7.5	10.0
	職場の理解が得られる	1.2	4.8	17.6	8.7	2.1	4.2	0.6	6.7
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	10.6	7.6	12.5	8.0	6.3	12.5	2.9	6.7
	交通費など実費が支払われる	7.1	3.4	11.3	8.0	3.1	4.2	6.3	6.7
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	1.2	4.1	4.2	5.2	8.3	4.2	2.6	0.0
	その他	1.2	3.4	0.9	1.0	1.0	4.2	2.3	6.7
	無回答	9.4	13.1	3.9	6.3	9.4	12.5	18.4	10.0

【職業別】

・農林畜産業、自営業、会社員・公務員・団体職員、パート・アルバイト・内職は「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い（農林畜産業は「簡単に参加できる」と同率）。

・家事従事者、学生及び無職は「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数（件）		14	34	37	118	1,273
地域活動に参加しやすくするための条件（%）	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	57.1	52.9	48.6	53.4	46.9
	友人など身近な人と一緒に参加できる	35.7	52.9	27.0	43.2	44.9
	簡単に参加できる	50.0	44.1	37.8	35.6	43.7
	趣味や特技を活かせる	7.1	23.5	27.0	21.2	24.9
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	28.6	11.8	18.9	12.7	13.9
	活動先や団体についての情報が得られる	7.1	5.9	8.1	6.8	10.8
	家族の理解が得られる	7.1	0.0	5.4	5.9	9.2
	職場の理解が得られる	7.1	17.6	13.5	5.9	7.9
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	0.0	5.9	8.1	13.6	7.8
	交通費など実費が支払われる	0.0	11.8	10.8	11.9	7.3
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	0.0	5.9	8.1	5.9	4.0
	その他	0.0	2.9	10.8	1.7	1.6
	無回答	28.6	8.8	8.1	9.3	9.6

【定住年数別】

・全ての定住年数で「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い（１年以上～５年未満は「友人など身近な人と一緒に参加できる」と同率）。

５　重点的に協働で取り組むべき分野

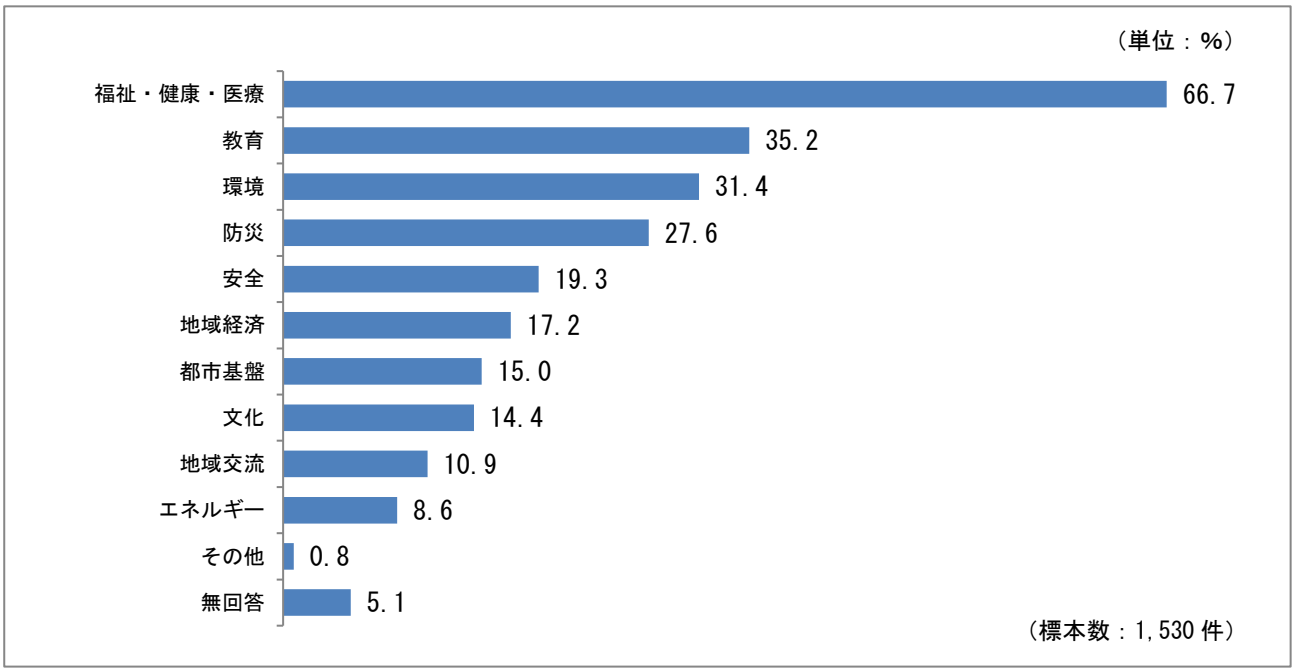
・１位から３位までの順位は、前回（H30）の調査結果と同じである。
・前回（H30）の調査結果に比べ「防災」、「都市基盤」の順位・割合が上昇し、「安全」、「地域経済」、「文化」、「地域交流」の順位・割合が低下している。

問１３　あなたは、どのような分野を重点的にまちづくり協議会や市民活動団体、行政が協働で取り組むべきだとお考えですか。（３つまで○印）

順位		回答数（件）	回答率（%）	前回（H30）	
				順位	回答率(%)
1	福祉・健康・医療（介護、子育て、健康づくりなど）	1,020	66.7	1	64.6
2	教育（学校教育、生涯学習、スポーツ、青少年の健全育成など）	538	35.2	2	34.8
3	環境（道路・河川の美化、自然環境の保全、ごみの資源化など）	480	31.4	3	28.8
4	防災（災害予防、被災者支援など）	423	27.6	5	21.0
5	安全（防犯、交通安全など）	295	19.3	4	23.5
6	地域経済（商店街の活性化など）	263	17.2	5	21.0
7	都市基盤（道路・河川・公園の整備など）	230	15.0	9	14.7
8	文化（文化芸術、伝統・祭りの保存など）	221	14.4	7	18.0
9	地域交流（地域活動、ボランティア、ＮＰＯ活動など）	167	10.9	8	15.0
10	エネルギー（省エネ、再生可能エネルギーへの転換など）	131	8.6	10	6.1
	その他	12	0.8		1.6
	無回答	78	5.1		5.7
計		3,858			

（標本数：1,530 件）　（標本数：1,453 件）

※「その他」内容
・「差別のないまちづくり」　など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		１０代・２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代以上
標本数（件）		91	145	205	217	338	488
重点的に協働で取り組むべき分野（%）	福祉・健康・医療	54.9	68.3	60.5	61.3	70.1	71.1
	教育	51.6	56.6	39.0	37.8	29.9	26.8
	環境	27.5	20.0	29.3	26.3	36.7	34.2
	防災	23.1	30.3	31.7	31.3	26.3	25.2
	安全	22.0	19.3	18.0	17.1	18.0	22.3
	地域経済	15.4	18.6	21.5	20.3	16.6	14.5
	都市基盤	19.8	19.3	13.2	15.7	15.7	12.5
	文化	17.6	12.4	16.6	15.2	12.7	14.8
	地域交流	13.2	8.3	13.7	10.6	14.2	8.0
	エネルギー	3.3	5.5	8.3	10.1	10.4	8.6
	その他	1.1	1.4	1.0	1.4	0.3	0.4
	無回答	2.2	3.4	2.9	4.6	3.0	8.0

【年齢別】

・全ての年代で「福祉・健康・医療」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数(件)		972	60	87	123	172	154	57	104	61	76	7	71
重点的に協働で取り組むべき分野（%）	福祉・健康・医療	68.0	58.3	63.2	70.7	72.1	68.8	75.4	64.4	57.4	72.4	57.1	70.4
	教育	35.2	38.3	31.0	35.0	34.3	35.7	47.4	35.6	23.0	30.3	57.1	42.3
	環境	30.1	30.0	34.5	22.8	33.1	23.4	28.1	26.0	39.3	42.1	14.3	33.8
	防災	27.9	30.0	25.3	30.9	27.3	32.5	21.1	23.1	27.9	28.9	0.0	29.6
	安全	22.1	31.7	20.7	24.4	21.5	26.0	22.8	15.4	24.6	21.1	0.0	15.5
	地域経済	15.0	11.7	17.2	19.5	14.5	14.3	10.5	10.6	19.7	17.1	14.3	14.1
	都市基盤	14.5	18.3	13.8	13.8	16.3	14.9	24.6	13.5	9.8	6.6	28.6	12.7
	文化	14.4	11.7	17.2	10.6	17.4	14.3	8.8	14.4	14.8	18.4	42.9	9.9
	地域交流	10.0	5.0	10.3	15.4	5.2	5.8	12.3	9.6	21.3	13.2	42.9	7.0
	エネルギー	9.1	8.3	3.4	10.6	10.5	7.8	3.5	10.6	11.5	9.2	28.6	11.3
	その他	0.9	0.0	2.3	0.0	1.7	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	14.3	0.0
	無回答	4.6	6.7	8.0	3.3	1.7	5.2	1.8	7.7	4.9	2.6	0.0	7.0

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数(件)		80	43	26	45	67	30	15	137	63
重点的に協働で取り組むべき分野（%）	福祉・健康・医療	62.5	60.5	50.0	66.7	62.7	40.0	93.3	70.1	65.1
	教育	45.0	30.2	30.8	46.7	38.8	36.7	20.0	34.3	25.4
	環境	28.8	46.5	38.5	22.2	37.3	40.0	33.3	29.2	33.3
	防災	30.0	37.2	19.2	26.7	35.8	16.7	20.0	27.0	19.0
	安全	21.3	9.3	7.7	20.0	7.5	13.3	0.0	14.6	12.7
	地域経済	16.3	18.6	30.8	13.3	26.9	23.3	33.3	20.4	22.2
	都市基盤	20.0	14.0	11.5	11.1	16.4	16.7	6.7	12.4	30.2
	文化	13.8	18.6	23.1	11.1	14.9	23.3	26.7	15.3	6.3
	地域交流	12.5	9.3	11.5	15.6	16.4	10.0	26.7	11.7	14.3
	エネルギー	8.8	4.7	3.8	4.4	4.5	0.0	0.0	10.9	12.7
	その他	0.0	0.0	3.8	2.2	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0
	無回答	5.0	4.7	11.5	2.2	6.0	13.3	0.0	5.1	7.9

【居住地域別】

・全ての地域で「福祉・健康・医療」の割合が最も高い（岩滝地域は「教育」、朝日地域は「環境」と同率）。

６　協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの

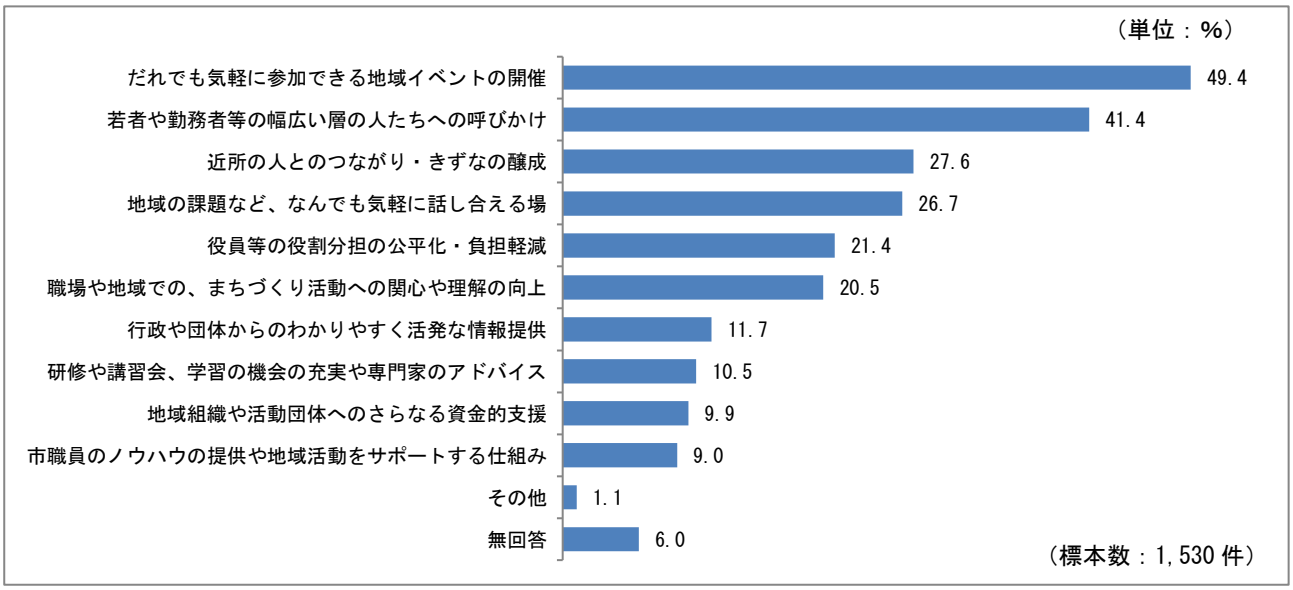
・１位から４位までの順位は、前回（H30）の調査結果と同じである。
・前回（H30）の調査結果に比べ「役員等の役割分担の公平化・負担軽減」、「研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス」の順位・割合が上昇し、「職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上」、「行政や団体からのわかりやすく活発な情報提供」、「市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み」の順位・割合が低下している。

問１４　あなたは、まちづくり協議会や市民活動団体、行政が協働でまちづくりをすすめていくうえで、主に何が必要であると考えますか。（３つまで○印）

順位		回答数（件）	回答率（%）	前回（H30）	
				順位	回答率(%)
1	だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	756	49.4	1	47.9
2	若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	634	41.4	2	37.4
3	近所の人とのつながり・きずなの醸成	423	27.6	3	26.8
4	地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	408	26.7	4	24.4
5	役員等の役割分担の公平化・負担軽減	327	21.4	7	19.3
6	職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	313	20.5	5	22.4
7	行政や団体からのわかりやすく活発な情報提供	179	11.7	6	21.9
8	研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	160	10.5	10	9.2
9	地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	152	9.9	9	10.9
10	市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	137	9.0	8	10.9
	その他	17	1.1		2.3
	無回答	92	6.0		6.7
計		3,598			

（標本数：1,530 件）　（標本数：1,453 件）

※「その他」の内容
・「若者の参加」、「地域のニーズに応じた活動」　など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		１０代・２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代以上
標本数（件）		91	145	205	217	338	488
協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの（％）	だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	62.6	61.4	50.7	41.9	49.7	47.3
	若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	49.5	49.0	43.9	38.7	42.6	36.9
	近所の人とのつながり・きずなの醸成	12.1	15.2	20.5	19.8	29.3	38.9
	地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	22.0	13.1	25.4	20.3	29.0	33.6
	役員等の役割分担の公平化・負担軽減	17.6	20.0	29.3	27.2	24.9	14.1
	職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	27.5	24.1	22.9	28.6	18.3	14.8
	行政や団体からのわかりやすく活発な情報提供	8.8	11.7	13.2	11.5	12.4	11.5
	研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	7.7	10.3	8.8	12.9	10.7	10.9
	地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	12.1	11.7	8.3	12.0	8.9	9.2
	市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	6.6	5.5	7.3	10.1	9.8	9.8
	その他	3.3	1.4	2.4	1.8	0.3	0.4
	無回答	1.1	5.5	4.4	4.1	3.0	10.0

【年齢別】

・すべての年代で「だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催」の割合が最も高い。

・「近所の人とのつながり・きずなの醸成」は、１０代・２０代に比べ７０代以上は約３倍の割合となっている。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数(件)		972	60	87	123	172	154	57	104	61	76	7	71
協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの(%)	だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	51.6	48.3	46.0	57.7	48.8	48.7	57.9	50.0	60.7	48.7	100.0	52.1
	若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	40.9	45.0	33.3	39.0	49.4	40.9	43.9	37.5	39.3	40.8	28.6	35.2
	近所の人とのつながり・きずなの醸成	29.0	20.0	28.7	33.3	26.7	29.9	28.1	21.2	29.5	36.8	28.6	36.6
	地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	25.5	15.0	29.9	30.1	27.3	21.4	26.3	20.2	21.3	34.2	14.3	28.2
	役員等の役割分担の公平化・負担軽減	21.7	30.0	20.7	13.0	22.1	19.5	29.8	24.0	24.6	26.3	28.6	16.9
	職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	19.5	15.0	17.2	23.6	22.1	19.5	17.5	12.5	18.0	17.1	14.3	29.6
	行政や団体からのわかりやすく活発な情報提供	10.9	8.3	13.8	9.8	14.5	9.1	10.5	12.5	9.8	5.3	14.3	11.3
	研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	11.1	13.3	12.6	12.2	12.2	10.4	7.0	10.6	11.5	10.5	0.0	9.9
	地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	8.2	6.7	6.9	6.5	7.0	9.1	10.5	9.6	9.8	9.2	57.1	4.2
	市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	8.4	8.3	9.2	7.3	8.7	10.4	1.8	8.7	4.9	11.8	0.0	9.9
	その他	1.6	5.0	2.3	0.0	1.7	3.9	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.4
	無回答	5.3	6.7	9.2	5.7	2.3	5.2	5.3	9.6	6.6	2.6	0.0	2.8

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		80	43	26	45	67	30	15	137	63
協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの（%）	だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	50.0	27.9	38.5	44.4	55.2	26.7	40.0	51.1	47.6
	若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	47.5	37.2	42.3	33.3	46.3	36.7	46.7	38.7	49.2
	近所の人とのつながり・きずなの醸成	32.5	18.6	19.2	22.2	28.4	23.3	53.3	20.4	22.2
	地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	36.3	30.2	26.9	28.9	28.4	20.0	40.0	25.5	31.7
	役員等の役割分担の公平化・負担軽減	15.0	32.6	11.5	33.3	25.4	30.0	20.0	19.0	15.9
	職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	23.8	27.9	38.5	20.0	19.4	30.0	20.0	22.6	11.1
	行政や団体からのわかりやすく活発な情報提供	10.0	14.0	26.9	6.7	16.4	6.7	6.7	14.6	19.0
	研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	7.5	7.0	0.0	15.6	7.5	10.0	6.7	11.7	11.1
	地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	12.5	16.3	15.4	8.9	16.4	20.0	20.0	9.5	14.3
	市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	12.5	4.7	7.7	6.7	7.5	16.7	13.3	10.2	9.5
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0
	無回答	6.3	9.3	11.5	0.0	4.5	13.3	0.0	7.3	11.1

・高山地域は、１１地区中１０地区で「だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催」の割合が最も高く、支所地域は、９地域中４地域で「だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催」又は「若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ」の割合が最も高い。

４　高山市のまちづくりに関するご意見など

問１５　その他、ご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にご記入ください。

労働・産業
・給与が低いので、残業をしないと生活ができない。有休が取りにくいので、取りやすい環境になってほしい。
・高山市は物価が高く、給料が他県と比べて低いので、生活が大変です。
・外国人の働く場所が少なく、賃金も安いと思います。外国人女性は日本人男性と結婚して養ってもらうこともできますが、外国人男性の中には、安定した給料がもらえず、家族を養っていけなくて苦しんでいる人もいると聞いています。
・給与水準が低く、働きがいを感じにくいと思います。一般企業に勤める人と公務員の給与格差が大きいと感じています。
・給与水準が低いので、若者や１人暮らしの女性が生活しやすい環境なのか疑問。車がなければ暮らしにくい土地で、楽しみも少なく、安全面や金銭面に不安があるので出ていく人も多い。給料が安いので、定住できるのは実家を継げる長男ばかり。それでは自分たちの町の良さは見えてこない。
・給与水準が低いと感じます。
・学業終了後に働く場所が選べないこと、賃金が低いことが問題である。
・医療、福祉分野の賃金を上げてもらいたい。お盆や正月も働いているのに、高山市は全国水準より低い。高齢化でお年寄りが増える一方、若い世代が出ていってしまうことが問題である。
・自分の子どもが大きくなった時、高山で就職するとは思えません。高山を離れる若い人が増えているのは、魅力がなく、給与もかなり低いので生活するのに不安があるからではないでしょうか。他県、特に都会に住む人にとっては憧れの場所に見えるかもしれませんが、地元の人間としては魅力は感じません。もっと子育てしやすいまちづくりをしてほしいと思います。観光客はこれ以上必要ないです。マナーの悪さも目立ちます。
・高山市は面積が広いので、将来を考えて大手企業に来てもらい、若者や高齢者などの働く場所を確保してほしい。
・若者の雇用を増やせば、高山市への移住者が増え、少子高齢化や人口の減少を食い止めることが可能だと思います。
・全国的にいえることですが、人口の減少、特に子どもの数が減っていることが問題です。子どもを増やすには、その親になる世代に高山市に住んでもらわなければなりません。そのためには多くの働く場を作り、加えて何らかのメリットがないと、市外へ出て行ってしまうと思います。東京に行ってしまうのは、さまざまな働く場があり、便利だからです。東京に比べれば高山市は不便ですが、高山市の長所、魅力をもっと生かし、10～20 代の若者が住みやすく、愛着の持てるまちを作っていくことが大事だと思います。
・私の住んでいる地域は少子高齢化が進んでおり、子どもが県外の大学に進学し、県外で就職するので限界集落化が進んでいます。地元に帰って来て就職したいと思えるまちづくりの実現について、しっかり検討していただきたいです。

・高山市民が伝統や文化を尊び伝承していることが誇りです。それが長く続くことによって、若者が戻ってくるような魅力ある職場が増えてほしいです。
・若者の就労の場が少なすぎる。雇用者への意識が低く、安定した生活が保障されない。
・私の息子は高校卒業後、高山には働く場所がないと都会へ行ってしまいました。息子は資格を取り、結婚して今も都会に暮らしていますが、私は孤独になりました。母子家庭で 18 歳まで苦労して育てましたが、何のために子育てしてきたのかと悔やんでいます。もっと若い人が働ける場所を作ってください。
・企業を誘致して労働者を増やしてほしい。地域経済を発展させることで賃金を上げ、人口の増加を図ってほしい。
・人口減少をどのように止めるかが課題である。企業誘致を推進するべき。
・さまざまな企業を誘致してもらえば、若者が地元で生活できるようになり活気づくと思います。高速道路の整備が進んでいることや広い土地があることを売りにして、ぜひ企業誘致を実現させてください。
・企業誘致をしてほしいです。大学生の子どもが 2 人いますが、どちらも卒業後はその地域に居続けるようです。高山は観光や農業に興味のある人には雇用も充実しているのでしょうが、それ以外の人はなかなか高山を選んで来てくれないと思います。給与面にも問題があります。私自身も医療の資格を有していますが、給与格差がいまだに改善されていないと感じています。給料が安いのに家賃が高く、車を持たないと生活できない環境では、若い人が戻って来てくれないと思います。
・高山市が維持、継続していくためには、若者の定住が不可欠であり、そのためには安定した収入が必要です。多くの若者が収入を得られる企業の誘致が重要だと考えます。観光も大切ですが、若者が定住できる環境整備が高山市を維持していくために必要だと思います。
・私が子育てしていた時代よりも、子育て支援はかなり良くなっていると思います。しかし、子どもの大学卒業後の就職を考えると、高山市には就職したい企業が少ないと思うので、もっと増えることを望みます。
・保育士の労働環境を改善してほしいです。パソコンの数が足りないため順番待ちをすることがあり、仕事の効率が悪いです。時間外労働が増えている理由の 1 つだと思います。また、時間外労働をしても残業代の支給はほとんどないので、このままでは保育士が減っていくのではと不安です。この先、就労者の環境改善をしていかなければまちづくりが難しくなると思います。一般企業はいろいろと考えながら働き方改革に取り組んでいますが、公務員も働き方改革を考える必要があるのではないでしょうか。その上で良いまちづくりについても取り組んでいけるのではないかと考えます。
・有給休暇が取りづらい。有休の残りがもっと使えるような職場環境にしてほしい。時給も低すぎる。
・子育て中に働くことができる仕事や、働きたいと思う職種が少ない。小さい子どもがいると条件などが厳しい。
・パニック障がいや発達障がいなどの、心の障がいのある人が働きやすい場があるといい。広報紙などで情報を発信してほしい。
・私は宿泊施設の清掃の仕事をしていますが、この仕事の人材確保の難しさを感じています。高山市も人口減少が確実に進んでおり、清掃の仕事につく人も高齢化しています。高山市以外の地域から人材を連れてくる会社もあるかもしれませんが、今後も人材確保は課題となるでしょう。会社の問題ではありますが、行政からも、会社と雇用について検討する必要があると思います。

・私が子育てしていた時は学費や医療費の免除はありませんでした。児童手当の金額も少なかったです。物価が上がっているとはいえ、保育園からずっと何万円も支払ってきたことを思うと、今の子育て世帯はとても恵まれていると思います。大学へ行くには高山を離れなければならず、家賃や食費、授業料のほかにもたくさんのお金がかかりました。我が子はタイミング良く地元で就職することができましたが、多くの子どもがいても 1 人も帰ってこないという話も聞きます。高山に戻って来たくなる仕事や魅力がないからではないでしょうか。これからこの町を支えていく若者がいないのに、観光にばかり力を入れて一体誰が支えていくのでしょうか。
・私は借家に住んでおり、母子家庭で子どもを 2 人育てています。毎日夜遅くまで残業を行っていますが、給料が少し多かった年は、その分、児童扶養手当の金額を減らされます。残業時間も月によって変わるのに、たまたま多かった年だけを見て、手当を減らすのはどうかと思います。借家の家賃もあるのでつらいです。元夫からの養育費もなく、親からの支援も受けられないので、私 1 人で仕事を掛け持ちして何とか生活しています。家賃の半額でも援助していただけるとうれしいです。子どもたちから一緒にいる時間を作ってほしいと言われ、少しでも作りたいと思っていますが、現状では厳しいです。仕事とバイトの毎日で疲れ、まちづくりにまで気を回すことはできません。
・人手不足が深刻で、パートなどの時間給が 1,300 円を超えているところもあります。しかし、地元企業が東京並みの賃金を支払うことはできません。
・県外の大きな企業や商社等の参入、確保に力を入れてほしい。大きな企業の求人が少なくなり、学歴や経験を重視して雇う企業が多く、景気が悪くなるとすぐ解雇されるのではとの不安もある。魅力を感じられる企業がないと思う。高山市の発展のために観光だけでなく、利用できる土地や設備等を有効に活用し、飛騨市や下呂市と共に 3 市で取り組んではどうか。退職された経験豊富な人材や、現場で活躍しているさまざまな立場の人との意見交換が行えると良い。
・観光産業も重要ですが、他の産業の誘致にも力を入れてもらいたい。若者が帰ってきても仕事がなく、魅力のある産業が少なすぎる。
・約 5 年前からの計画でもあった、観光業を除いた企業の誘致を推進してほしい。
・インバウンドをターゲットにした商業や、ホテル、ゲストハウスばかりがたくさんできていますが、外国からの観光客が何らかの出来事で来なくなった時のことを考えてはいないのでしょうか。市も外国人観光客の誘致に力を入れているようですが、何の確証があるのか分かりません。観光業での収入はプラスアルファと考え、それ以外の産業を充実させる必要があるのではないでしょうか。 我々の子どもや孫たちが安心して暮らせる町づくりをしていかなければならないと思います。もっと長期のビジョンを考えていただきたいと思います。

農業
・市は農業の活性化に力を入れているおかげで、若い人の移住が増えすばらしいと思います。ただ、新しい農家ができる一方で、後継者がおらず廃業していく農家もあり、二極化が進んでいると感じます。飛騨の高齢者が元気なのは、規則正しい生活を送り、家で田畑を作って、自給自足で新鮮な野菜を食べているからだと思います。高価な機械が買えないから田を諦めるなど、体は動くけれどもやめるしかない高齢者のために市として何か考えてもらいたいです。
・これから休耕地もますます増えていくと思いますが、やる気のある人が大規模で農業しやすくするために、市が積極的に関わって手助けしてほしいです。

・夫婦で農業を営んでいます。いつまでも健康でありたいと願っていますが、70 才を目前にして主人が糖尿病で、足や目に異常が起こってきました。トラクターに乗れるうちは農業ができますが、田や畑を私が 1 人で作っていくことは無理です。来年、ある程度手放さなければならないと考えています。
・ほうれん草、しいたけの生産農家です。飛騨の夏ほうれん草が全国一の生産量だと知らない市民が多く、観光客にも知られていません。しいたけの飛騨やまっこは品質が良く、サンマッシュは全国大会では毎年 1 位を獲得するほどですが、一般市民にアピールができていないと思います。最近は飛騨牛や飛騨こしひかりも知名度が上がっていますが、ほうれん草やしいたけもアピールしてほしいです。
・農業が衰退しないようにしっかり守ってほしいです。
・高齢者が元気で長生きする方法は自分で畑作業をすることだと思います。ですが近頃は動物の被害が多く、畑作業をしてもむなしい結果になり、やる気をなくす人も多いので、鳥獣被害の対策をもっとしてほしいです。

林業
・農林業の振興にさらなる支援を。特に林業は衰退の一途である。
・林業再生対策。
・林業が衰退しないようにしっかり守ってほしいです。
・飛騨市では広葉樹の活用を市が中心となって行っているようです。薬草を紹介する施設もあります。今、高山市は外国からの客も多く観光に力を入れていると思いますが、同時に持続可能な社会づくりの一環として、もっと自然環境の保護と活用も進めていくといいと思います。高山の山奥には広葉樹などがある美しい自然が残っていますが、住宅付近は針葉樹が多いイメージです。今後、土砂災害などを防ぐには山の整備も必要になると思います。戦後植林されて以降、針葉樹だけで手入れされず地表面に光が届いていないため、昨今の大雨に耐えうるのか心配です。古い町並も川沿いにあるので災害が起きれば経済に与えるダメージが大きいです。森林環境譲与税を活用して上流の森林整備をしたり、市民活動を通して森林整備が進められたらいいと思います。すでに活動していることがあれば、もっと市の広報紙でアピールしてもいいと思います。山の整備には人手がいるので、もっと市民が気軽に参加できて、高山の美しい自然に関心と誇りをもてるといいと思います。

商業
・土日に富山や岐阜に買い物に行くことが多いので、家族で出かけられる大型のショッピングセンターが市内にあると、もっと暮らしやすくなるのではないかと思います。高山には仕事が少ないので、ショッピングセンターができれば雇用も生まれるのではないでしょうか。
・家族で楽しむ商業施設がない。
・店が少ない。特に洋服店が少ないので都合が悪いです。車の運転ができないので行けるところにないと困るため、何とかしてほしいです。
・国府にあったショッピングセンターが撤退したことは残念だが、市街地に全国展開の家具店が移転したのでうれしい。他にも全国展開のショッピングセンターやホームセンターにきてほしい。

・花里町の商業施設のような、1 つの場所に複数の店舗が集まった施設があると便利です。本屋や 100 円ショップ、郵便ポストが一緒にあるとありがたいです。近くに郵便局がなく、車で行っても駐車しづらい場所が多いので、コンビニを利用しています。郵便物を出すだけにコンビニに行くのも気が引けます。
・市内の中心に住んでいれば、スーパーなどの買い物に不自由を感じることはないですが、大型のショッピングセンターやレジャー施設がないのは、住む場所として魅力はあまりないと感じます。
・新宮地区に小さくてもいいのでスーパーがほしいです。
・地元産業を守る事も大切ですが、そこに固執するあまり新たな風を取り入れることに遅れていると感じます。ある関東の温泉地や観光地を訪れた際に、全国の有名な観光地を主に出店展開している会社の方と話す機会がありました。その方から、以前、何度か高山に出店したいと打診をしたけれど断られたと聞き、残念に思いました。新たな雇用を創出するためにも、高山にはないスタイルの会社を受け入れることも必要なのではないかと思います。
・古い町並や商店街の営業時間を長くしてほしい。

観光
・過去に何度か飛騨高山グルメグランプリを開催していますが、高山のグルメだけでなく東海地方で人気のあるパンやラーメン、肉などが食べられるイベント（フェス）もあるといいと思います。
・コスプレイベントなどを行ってはどうでしょうか。他地域でもやっていますが、曜日を決めて町中で開催するといいと思います。高山は古い町並のイメージしかないので、新しいイメージを考えて、もっと高山を盛り上げていきましょう。
・外国人が多すぎる。日本人が旅行しにくい町になっていると思う。
・高山へ多くの外国人観光客が訪れていますが、地元の住民の方が少ないと感じ、寂しくなるときがあります。
・多くの海外の方が高山に来てくれてうれしいです。だがその一方で、町の中で店舗を持つには賃料が高く、他県から来た店舗が多く占めていて、地元で小売業を営んでいる人が閉塞感を抱いていると聞きます。本当に観光で経済の活性化が図られているのでしょうか。また、海外との風習の違い（公共施設の使い方や入浴方法など）で地元の人間が困っており、先行きが不安です。さまざまな努力をしていると思いますが、観光に関わる現場の方の声を聞いて、困っていることを解決してもらいたいと思います。
・最近、ホテルや民宿が乱立していますが、外国人にいつまで来てもらえるのか、そこで働く人は確保できるのだろうかと心配しています。マナーを守らない（知らない）観光客への対応も心配です。
・観光客（特にインバウンド）で潤っているのは一部の業者のみ。市民は、マナーの悪い外国人観光客に遠慮して町の中を歩いている。増え続ける外国人観光客と共存できる高山市のビジョンを出してほしい。静かで歴史ある文化や伝統を大切にする高山市を作ってほしい。
・観光に力を入れているのは分かりますが、観光客のマナーの悪さが目に余ります。海外からの観光客、特に中国からの方が多いようです。歩きスマホをしたり、集団で自転車に乗り手信号で交差点を右折する、道路を広がって歩く、車道の真ん中で写真を撮るなど、交通ルールを守ってくれません。民家のプランターにだんごの串が刺してあったり、朝市で買って食べた後のごみが置いてあったりと、ごみのポイ捨ても目立ちます。

・観光客に向けて、パンフレットなどにマナーを記載して、住民に迷惑がかからないようにしてほしいです。土・日・祝日の古い町並の辺りはひどい有り様です。
・外国人観光客は多くなったが、経済的には日本人観光客が増えないと厳しいと思う。もっと国内での PR が重要ではないだろうか。市中心部（特に中橋周辺）の観光客の交通マナーが悪すぎる。もっとルール作りをしてほしい。
・高山市は観光地として、他の地域からも見本として見られています。ただ観光ばかりに意識が向き、高山の素朴さが失われているように思います。高山祭をはじめとした良き伝統が残っていますが、形のみのものとなっていないでしょうか。他地域からの移住者が多くなれば、世代を重ねてきた市民との間で伝統への意識のずれも生じると思いますが、私はそれがあってもいいと思います。共存することで、伝統の大切さや地域らしさが伝わっていけば、飛騨の歴史や伝統が守られていくのではないでしょうか。今の高山市を見ると個性が失われつつあると思います。上三之町はおみやげ通りと呼ばれ、そこに行けば味わえるはずの雰囲気は早朝と夜にしか味わえなくなりました。商業に口を出しづらいのは理解できますが、観光に関する事業を進めるうえで、高山の個性を守ることも大切だと考えていただけませんか。法律上の目線からでは何ともなりません。町並みの色のトーンを統一しても、町の衰退は防げません。
・多額の改修費用をかけたという高山駅は、税金の無駄使いとしか思えない。建物のデザインは、誰がデザインしたか知らないが箱を並べたような形や色彩で、高山のイメージにそぐわず駄作としか言いようがない。私は最後に利用したのはいつか思い出せないほどJRを利用していないが、私の子どもの頃には噴水があり、藤棚のようなものがあった気がする。以前の駅の方が素朴で高山らしい。駅西へ行くのに、あのエスカレーターやエレベーターを使用する人が何人いるのか。使い勝手の悪い駅ではないか。走っている列車を見ても乗っている人は少なく、高山線の行く末が心配だ。最近多くのホテルやゲストハウスなどが建てられているが、若い人がいないので働く人を確保できないのではないかと思う。できたばかりのホテルでも、従業員がいないために全部のフロアを営業できていないという話も聞く。いつまで好調な観光産業が続くのか分からない。高齢者の私にはどうすることもできないが、若い人たちに委ねるしかないと思っている。
・多くの観光客が来る町になったので、ホテルの建設などが進むと思いますが、無理に開発するのではなく、高山の町の良い所を残して今まで以上に明るくきれいな町にしてほしいです。また、古い町並のライトアップなどを行い、夜でも観光客が楽しめるような取り組みがあるといいと思います。
・高山市らしさがなくなってきている。町全体が都会みたいになって残念。特に駅の周りはホテルばかり建って、上三之町など一部だけ保存しても意味がないのではないか。町全体で考えてほしい。ホテルの建設についても、高さ制限を設けたり、京都のように建設自体に制限をかけたりするなど先のことを考えてほしい。観光のブームが終わったとき、町はどうなってしまうのか。子どもたちが大人になった時も、住みたいと思える町であってほしい。観光に頼らず、もっとさまざまな雇用の場ができるとよい。目先のことにとらわれず息の長い計画で考えてほしい。
・現在、高山市には国内外から多くの観光客が訪れています。そのおかげで、観光や経済面に多くの貢献があり、市全体に与える影響も大きいです。市内には、大手のホテル運営会社によって、建設予定のものも含め、多くの宿泊施設が建設されています。市として、これから建設を希望する会社にどのように対応されていくのでしょうか。市内の宿泊施設は、10 年前と比較すると倍近くの数があり、どちらかといえば飽和状態になっているのではないでしょうか。
・ホテルばかり増やしても本当の高山市のまちづくりにはならないでしょう。小京都高山の良いところがなくなってしまいます。観光ばかりに力を入れるのはやめませんか。

・観光ばかりで高山がどこに向かっているのか見えない。ホテルの乱立で高山らしさが失われてはいないか。住みよい町とは、不自由のない暮らしの追求ばかりでなく、自然な暮らし、落ち着いた日常を大切にするものではないだろうか。いつから高山は変わってしまったのか。町中は飲食店や土産物店ばかりで、こんな観光地でよいのか。こうしたまちづくりが間違っていたことに気づくのはいつなのだろう。いいかげん目を覚ますべきだと思う。
・高山市は観光に力を入れており、一部の地域は活性化しています。しかし、市外の企業が多く入り、昔からある旅館などの経営が苦しくなっていると聞きます。
・観光客向けのお店や施設が増え、市民が入りづらくなっている。観光ばかりに力を入れているように感じる。
・旧高山市の観光や海外戦略、特産物のブランド化に力を入れすぎだと思います。
・観光に力を入れすぎている。市民の幸せを第一に、市政を考えてほしい。町中は外国人ばかりで市民は生活しづらい。観光以外の雇用を創出してほしい。
・観光ガイドブックについて無駄があるのではないか。例えば、同じ内容のものが多い、製作日が入っているため、行事内容などに変更がないのに捨ててしまうなど。41 号線から東側の説明ばかりではなく高山市全体の地図を載せてほしい。高速道路やせせらぎ街道を使用して高山に訪れた人に分かりやすい説明があるといい。高山祭についてのパンフレットも、もう少し考えてほしい。
・中心市街地にも下呂市のように、駐車場がそばにある足湯があると良い。
・城山公園の駐車場に観光客が車を停めて観光に行っているようです。そのため城山公園を利用したい市民が車を停められず、帰ることもあり困っています。調査をお願いしたいです。
・幸いにして戦災に遭遇せず、昔の町並みが残っている高山。近隣の県ばかりでなく、ぜひ全国にPR して観光客の誘致に努力していただきたい。
・高山市の観光行政には日頃より感謝しています。ここ近年の努力が実って、安川通りは繁栄しており、下町地区の発展にも好ましい状況です。すでに検討されていると思いますが、神明駐車場への大型バスの乗り入れの禁止が必要だと思います。中橋や上一之町（特に安川通りの十字路）を大型バスが通行すると、道幅が狭いため通行に危険が生じます。事故が発生する前に措置してもらいたいです。将来の観光を考え、まずは川東地区全体のことを考えてまちづくりに取り組んでほしいです。

海外戦略
・英語や韓国語、中国語など多言語に対応した案内板を増設してください。
・姉妹都市がいくつあるか分からないほどで、メリットも不明です。税金で海外ばかり行かずに高山のことを考えてください。
・市長は海外出張が多すぎる。税金の無駄使いである。外国人観光客が来ることでメリットや利益が得られるのは一部の人だけで、私たち市民が得られるものは少ない。もう十分外国人観光客は来ている。京都市のような状況になる事もありうるので、これ以上宣伝する必要はない。これ以上市民生活を乱さないでほしい。インフルエンザの早期流行も海外から持ち込まれたものであると聞く。
・外国人相手の観光ばかりでなく、もっと日本人相手の観光に力を入れてください。町を歩くと外国人ばかりです。市長はもっと内に目を向けてください。海外出張はやめてください。

・海外出張はもう結構です。昔の良き高山がなくなるような気がします。老人にも住みやすい高山であってほしいと願います。
・市長は、海外へ行くことより飛騨地域全体に目を向けるべきです。
・市長の海外へ向けてのアピール等も集客のために大切な事の 1 つだと思いますが、市民のための活動をもっとしてほしいです。多忙なのは分かりますが、消防団活動等の総会に顔を出されているのなら、医療機関の確保など、もっと地域の活性化のために尽くしていただきたいです。
・外国人は高山の古い町並や大自然に興味を持って来てくれているが、また来たいと思っているだろうか。町並みをレンタルの着物を着て歩いたり、座禅を組んで心静かに過ごしたりしてもらい、また来たい場所になってくれたらいいと思う。
・外国人観光客が増加しているので、モラルや治安の強化を図ってほしい。
・外国人観光客が訪れる事はいいがマナーが悪い。
・自国で多額の借金をして来日した外国人留学生が、稼いだお金を家族に送るためにバイトをしているのに、学業の時間より多くなっているからとの理由で有無を言わず強制送還を行っているという話を報道で見ました。企業も少ない賃金で外国人を雇うことも必要ですが、人口が減少している状況で、優秀な人材の確保も考え、健康保険や年金への加入を認め、永住しやすくしていくことを早急に考えていかなければと思います。

経済
・高山は市外からの企業を歓迎しないイメージが強い。もっとさまざまな企業を受け入れ、価格競争を活発化させたほうがいいと思う。他県に人が流出し、このままでは過疎化がもっと進んでいく気がする。
・市外から人を呼び込む仕組みは十分すぎるくらい作っていただけてありがたい限りです。一方で、地元の店の後継ぎ問題や人材獲得、消費額の減少（特にお土産）などの課題が出てきていると思います。全ての問題を行政が取り組むわけではないですが、住民の暮らし、地域内経済の活性化にもっと目を向けてほしいと思います。ゲストハウスをはじめ、どんどん市外の土産物や不動産業者などが進出してきており、20 年後も今のような状況が続くとは思えません。後世の子どもたちにもっと目を向けた施策を期待します。
・観光も大事だと思いますが、地元産業や商店を大事にしてほしい。安いものを外から入れることが大切なのか、税金を払ってくれる地元企業が大切なのか、一度考えてほしい。商品の価格が割高になるのは、田舎なら仕方ない部分もあると思う。効率や値段にばかり目が行き、地元の活性化をないがしろにしてはいけないと思う。
・地域の活性化や再生のために企業を誘致するのではなく、昔からある地元の店や工場の支援の検討、実施をしてほしい。そのためには、地域の人々の購買力（賃金)を高める必要があり、市の事業の委託先を地元優先にする、行政の窓口等の民間委託を見直す、地元の働く場、正規雇用を多くするなど、多方面からの対応をお願いしたい。

保健・医療
・健康増進を目的とした施設の充実を望みます。具体的には夜間でも徒歩やランニングができるような施設の整備や、トレーニングルームが増強されたら利用したいです。

・市民が健康でいきいきと過ごせる環境づくりに期待しています。市民一人一人の健康増進に対して応援してくれる健康ポイント等のサービスがあったらいいと思います。
・医師不足の解消に取り組んでほしい。
・医師不足を第一に考えてほしい。病院はあっても大事な医者が少ないことが問題。
・医師が高齢化して不安である。信頼できる医師が少ない。
・病院の医師、専門医が不足しており、高度医療の治療が受けられず不安である。
・医師の確保が大切。大きな病院でも充実した人員を揃えたり、腕の良い専門医を確保するなどして、安心してかかれる医療機関が必要である。
・高山市全体で、小児科医師の高齢化が進んでおり、診療時間の短縮や日数が減っていて今後が心配です。予防接種の予約も取りにくいです。
・高山には市民病院がなく、日赤病院も医者が足りていない。観光ばかりにお金をかけず、優秀な医者の定住の実現に力を注いでもらいたい。
・経済の長期低迷の中、高齢化問題に直面しているため、医療・介護分野は人材不足に経費問題が重なり不安。
・保育、医療に関する対応の遅れが心配です。保育士や医師不足に加えて高齢化が進み、介護施設も不足しており、対応すべきことが山積みです。もっと力を入れて取り組んでもらいたいです。
・医療設備が整っていない。救急患者をドクターヘリや救急車で岐阜市等へ運んでいる現状では、とても安心して住むことができない。医師の確保や救急医療の設備の充実が最優先課題だと思う。
・医療環境が崩壊状態であると考える。2 つの病院を一部統合したり、先端医療技術や手術等の経験が豊富な医師を配置すべきである。現在の医療現場では先行きが心配だ。
・高山には市民病院がありません。三次救急医療機関である日赤病院では、重症度の低い患者さんは断られる場合があるとよく聞きます。どんな患者さんでも受け入れてもらえる市民病院としての役割を、日赤病院にお願いすることはできないのでしょうか。特に、小児科の受診について不安を訴える人もいると聞きます。いつでも安心して受診ができるように高山市として日赤病院へ働きかけてほしいです。
・私は以前血糖値が高かったことがあります。民間で勧められたものを飲んだり、食事に気を付けて生活し 5 カ月で改善しましたが、血糖値の詳しい値を調べるために医療機関に毎月通いました。統合医療という言葉を最近耳にしますが、患者が気楽に相談できる仕組みがあればありがたいです。例えば、薬の処方や治療方針、医療機関の紹介や民間療法の紹介など、柔軟に対応してくれる高山市の医療サービスを希望します。人の世話にならずに健康でいられる高齢者が増え、医療に従事する人の負担が少ない社会になる事を願います。
・高山にいて不便だと思ったことは医療の遅れです。不妊治療のために県内外の病院へ通っていましたが、助成金だけでは足りず、高速代やガソリン代など交通費が多額で大きな負担です。過酷な不妊治療の中でも、高山に体外受精や顕微授精のできる病院があれば、金銭面や体力面での負担が軽減できたはずです。難病に関する医療も同様です。高山には「名医」と言われる方はいないのでしょうか。それとも医療機器がないのでしょうか。今後安心して生活するには、医療がしっかり整っていないと若い人たちは高山から離れると思います。県内の医療格差を実感しています。
・不妊治療の助成金が出る期間をもう少し長くしてほしい。妊娠判定が出るまでしかない。その後の薬代をもらえるとありがたい。
・不妊治療への補助を検討してほしい。

・高度な体外受精ができる病院を作ってほしい。県外に行くため交通費がかかる。
・へき地でも平等に、標準的な医療サービスを受けたいです。

高齢者福祉
・年老いても我が家で暮らしたいと思うのが本音です。近所で助け合いや見守りができ、老後を住み慣れた所で過ごしたいです。さまざまな面で便宜を図っていただきたい。
・シルバー世代に対する優しいまちづくりをお願いします。
・高齢者の住みよいまちづくりを希望します。
・今後も平均寿命が上昇していくと考えられますが、高齢者が生きがいを持って最期を迎えられるようなまちづくりを期待します。
・一人暮らしの高齢者でも安心して最期を迎えられるような支え合いのまちづくり、病気をしても経済的に心配しなくてもいい仕組みづくりを希望する。
・高齢化社会で 10 年後にはどうなるか。これについて行政でもっと親身に考えてほしい。
・高山市は住みよい所ですが、近年高齢者問題が多いと感じています。誰もが関わる問題なので深く考えてほしいです。
・冬になると一人暮らしの高齢者は行動しづらく、買い物や食事等に困る方が多いようです。
・跡取りや後継者がいないため、家や田畑、山をどうしていくか悩んでいる。墓地も含め、生前のうちに対処しておきたいが、どうしたらいいか分からない。
・高齢者が気軽に集まれる場所が欲しい。
・サービス付き高齢者向け住宅が多いですが、月 20 万円も払って入所できる高齢者は少ないと思います。高齢者にとって、これから安全で安心な生活が待っているという実感はありません。年金の手取り額が減少するのに対して医療費の自己負担は 2 割になり、医師（開業医）も少なくなると考えられます。車の運転が難しくなるのに公共交通機関は充実しておらず、41 号線より西側には商店がないし、お金を貯めようにもぎりぎりの生活です。長生きできない、したくないなどという高齢者もいます。市は市民が何を願っているのかを十分に考え、市民の声に耳を傾けていただきたいです。
・高山には少しの介助で安心して暮らせる老人介護施設がなく、ほぼ自分のことができる人が入れるサービス付き高齢者向け住宅か特別養護老人ホームしかありません。サービス付き高齢者向け住宅は自分のことができなくなれば出なければならず、特別養護老人ホームは要介護 5 の人ですら待機している状態で、それより下の認定者は入所できないまま亡くなっていくか、家の者が面倒を見なければなりません。介護は大変な仕事なのに賃金が安く、人手不足になっていることも原因だと思います。私は、昨年から介護をしながら仕事を続けてきましたが、来春には歩けなくなった義母が老人保健施設から戻り、認知症の義父と合わせて 2 人を介護していくことになります。同居ではなく通いで介護するため、23 年勤めてきた仕事も、あと 10 年は勤められたのに辞めなくてはなりません。私が義父母と同じような年になっても、仕事を辞めているのでお金はないし、預かってもらえる所もないでしょう。子どもにも迷惑はかけたくないし、がんになっても何でもいいから病院で死にたいと、同じように介護をしている友人と話しています。病気なら介護施設を探さなくても、病院に入院していられます。仕事を辞めることなく、市民が老後を安心して暮らせるようにならないでしょうか。老人介護施設がある町へ引っ越ししたい気持ちです。

・商店の近くに高齢者用のアパートを建ててほしい。ケーブルテレビに字幕を入れてほしい。町内会に入っていないため、敬老会の行事に参加できないので参加できるようお願いしたい。

障がい者福祉
・まちづくり協議会の存在をアンケートで知り、勉強になりました。私自身、障がい者ではありますが自分の生活や将来に不安を感じています。個人的には障がい者雇用に今以上に力を入れていただきたいと思っています。ハローワークに何度行っても、いつも変わらない企業の求人しかないため、仕事に就くことができず困っています。年金ももらっていますが、生活費でぎりぎりの生活です。障がい者を温かい目で理解し、雇用してくれる企業が増えることを心から願っております。私も社会人の一人である以上、社会貢献がしたいです。その芽を摘むことなく耳を傾けていただけたら幸いです。
・障がい児を抱えています。今まで不安なことが多い中で子育てをしてきましたが、学校の知識を含めた対応の悪さから二次障がいを起こし、市外の医療機関に助けを求めました。今なお不安を抱えています。小さければ小さいほど親は不安だと思いますし、これから成人する息子の人生を心配しています。
・障がい者の子どもがいるので、将来一人になってしまうのではと不安だ。もっと支援に取り組んでほしい。
・障がいを持っている子どもが大きくなって働いても、賃金が少なく、親が先に死んだ後を考えるととても不安です。

地域福祉
・地域や近隣の方々の支えにとても感謝しています。そのおかげで自分なりに頑張っています。
・地域の福祉センターで行われる体操教室に参加しています。先生が親切でありがたく思っています。歌を歌ったり、ぬり絵をしたり、クイズをしたり、おいしいお茶をいただくなど、とても楽しい活動で感謝しております。
・年配の人の中にはよそ者を受け入れないという考えの古い人がいます。若い人もいろいろチャレンジして頑張っているようですが、観光客向けだったり一部の人だけで盛り上がっているように見えます。観光に力を入れるのもいいですが、市民が情報・交通・雇用の面で大都市と同じ条件で暮らせるようにすることも必要ではないでしょうか。高山は家賃は高いが賃金が低い、雇用が少ない、雇用先の考えが古い、情報手段が古い、交通が不便など、基本的な生活の問題をまず見直してほしい。
・県外からの移住者への対応に疑問を感じることが多々あります。観光地の割に、外部の人間の受け入れ体制が悪く、接し方が不慣れと感じました。
・ひきこもりに関する窓口の開設を希望します。ひきこもりについてどこに相談しに行ったらいいか分かりません。学校を卒業した途端に支援が途切れてしまうとの当事者家族の声がある一方で、現場で支援している方からは、ひきこもり以外の支援もあるので、仕事量が多く一つ一つ丁寧に対応できないという現状を聞きました。飛騨市にはひきこもりに関する窓口があり、高山市出身のある医師も、高山市の不登校やひきこもり支援に尽力したいと話されています。高山市でも窓口を開設していただき、関係機関が連携を取ることで、安心して暮らせる方が増えてほしいと思います。

・ひきこもりの方への援助が包括的にできるよう、市が各団体の活動のまとめ役になって、全国的な活動とも繋がるようにしてほしいです。
・私の地域では若い人が市外へ出てしまい、高齢の一人暮らしや夫婦暮らしといった家庭も多くなり、大切な伝統が失われつつあります。昔からの近所付き合いや、「結」で助け合うこともだんだん少なくなり寂しい限りです。皆で力を合わせ、子どもたちを見守り、互いに心を通わせられるような地域であってほしいものです。全てに行き届く市政を願うばかりですが、私たち市民にも協力すべき点は多々あると思います。
・若者と高齢者がお互いを支えられる仕組み、環境作りが具体的にあるとよい。
・市民一人一人が、自分も世の中の役に立っていると実感できる町になってほしい。例えば、お年寄りがさるぼぼ作りに参加できる場があったり、高齢者と保育園が一緒になった場所などで、楽しく毎日を過ごしてもらいたい。一人一人が自分のできることで地域に参加し、元気なお年寄りが増えてほしい。そのためにも、各々の特技を登録・データベース化し、手助けしたい人や手を貸してほしい人の情報が即座に分かって利用できるような体制を作れるといいと思う。
・近所にサロンのような気軽に立ち寄れる場所がほしい。何かのついでに立ち寄ったり、待ち合わせしたり、持ち寄って皆で食べたりできるといい。
・将来運転免許を返納しても、日々の生活が快適に過ごせるまちづくりをしてほしいと願っています。家の近くに買い物ができる場所ができたり、移動手段にお金がかからないパスポートなどのサービスが充実するといいと思います。
・最近、年齢が上がっても男女ともに結婚する人が少ない。これでは少子化になっても無理はない。独身者が結婚できるような手助けができれば子どもも増えるし、結婚している夫婦も一人でも多く子どもを産めるような政策を進めてほしい。集団見合いでカップルを増やすなど、いろいろな機会を作ってほしい。
・人と人とのつながりが少なくなってきているような気がします。
・近隣の目が気になります。体が悪いのに思いやりがありません。
・地域でのあいさつができていないと思います。
・お一人様の相談窓口（情報交換ができる場や仲間作りの場）がほしい。
・経済優先の市政ではなく、保育・教育・介護等に携わる職員を増やして、温かみのある環境で育ち、介護されるのが本来の人間としての幸福につながるのではないでしょうか。

児童福祉
・もっと子どもたちの遊べる場所を作ってほしい。
・公園が少ない。冬季に室内で子どもたちが遊べる場所がもっとあるといい。通学路の安全確保や学童保育の充実を図ってほしい。
・子どもたちの遊ぶ場所がない。安全な公園、遊歩道等、映画館がない。
・冬季は家にこもりがちで、子どもが体を動かして遊ぶ場所が少ない。土日も学校の体育館やビッグアリーナを開放してもらうことも子育て支援につながると思う。
・屋外、室内ともに子どもたちが伸び伸びと遊べるところが少ない。
・子育てのしづらさを感じます。寒い時期が長いのに、室内で遊べる施設が少ないです。高校の数も少なく、選択肢を多く作ってあげたいから県外に出た方がいいと、よく話題にしています。

・1 歳 4 か月の子を育てています。子育て支援センターや児童館の行事に数多く参加させていただいています。どちらの施設もさまざまな行事を計画していただきうれしいです。特に児童館で行われる季節ごとの行事を子どもと一緒に楽しんでいます。子どもが遊べる施設は古い建物が多く、もう少し新しい施設が増えるとうれしいです。支所地域の児童館は新しいですが、旧市内の施設は古くて狭いと感じています。飛騨市の子育て支援センターくらいの広さがほしいです。もっと小さい子が体いっぱい動かして遊べる場所があるといいと思います。子どもの体力が落ちているのはやはり環境もあると思います。保育園の園庭も狭いので、市の施設として広い場所の提供をお願いします。毎日いろいろなところで遊ばせてもらって、先生方にも可愛がってもらい、保健師にもお世話になり、本当に楽しく子育てしています。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
・とても広くて、かつ隣接した駐車場のある児童館があるとうれしいです。子どもが伸び伸び遊べる場所がほしいです。
・未満児の保育料を安くしてほしい。園児でも遊べるスポーツ教室を作ってほしい。
・大きい遊具がある広い公園やいつでも遊べる室内施設、子ども向けのイベントなど、子どもたちが楽しめるものがあまりにも少ない。そのため県外へ行って遊んだり買い物をしたりすることが多い。
・1 歳の娘と子ども向けの行事に参加しています。高山は 10 月以降、外遊びができない日が多くなるので、室内でも遊ばせることができる場を作っていただきたいです。
・人口が減少しています。出産費用を全額無料にして、出産したら一律で 1 人につき 50～100 万円を支給すれば人口が増えると思います。
・母子・父子家庭の補助を検討してほしい。
・現在赤ちゃんを育てているのですが、自分が病気になったときに子どもの面倒を見てくれる人がいないので心配です。有料なら面倒を見てもらえるサービスもあるのですが、長期にわたる場合、金銭面の負担が大きく不安です。市で無料で面倒を見てくれる制度をぜひ作ってください。核家族化が進んでいるので、同じような事で困り悩んでいる人も多いのではないかと思います。安心して子どもを育てる上でとても大切なことだと思います。
・子どもが多い家庭には、オムツの現物支給や保育料（給食費）を無料にするなどの援助を検討してほしい。
・少子化が叫ばれている中で、高山市は早くから子育て支援に取り組んできましたが、今も昔と内容は変わらず、他の自治体に後れを取っている印象があります。本気で少子化対策に取り組むのであれば、保育料の無償化よりも、子どもをたくさん産んだ世帯の税金を免除するなどの対応をするべきです。私は子どもが 3 人います。2 人は私たち両親の将来の保険料を負担し、あと 1 人は他の誰かの保険料を負担する大事な人材だと思うのです。子どもを多く持つ家庭にこそ恩恵が行くべきだと思うので、高山市は国よりも一歩リードして、対策を打ち出してもいいのではないかと思います。
・不育症治療に対する助成制度を作ってほしい。飛騨市にはあるが高山市にはない。治療していた頃は精神的にも金銭的にもつらく、飛騨市へ移住することも考えていました。ありがたいことに無事出産までたどり着くことができましたが、助成制度が高山市にないのが疑問でした。不妊症も経験しましたが、不育症の方が精神的なつらさがありました。せめて金銭的な助成があれば、少しは苦しむ方の助けになるのではないかと思います。子どもを授かるのに産めず、子どもを抱くこともできない、こんなにつらい事はありません。流産を繰り返しても 6～7 割が出産に至っているといわれています。出産できれば少子化対策にもなります。不育症に要する費用の助成を考えてください。

・高山市では、未就学児時点で発達のつまづきがある子どもへの支援が充実していて、私の子どもも利用させていただき大変助かりました。しかし、就学後の支援に関しては市内に頼れる場所はなく、飛騨市のクリニックにお世話になっています。小学校にあがり体力、知恵がついてきた頃から、自分の力や知識だけでは対応しきれなくなってきます。親の心のケア、子の心のケアの仕方を教え、支えてくれる機関が必要だと思います。私の子どもはアスペルガー症候群ですが、心と体のバランスが取れず、家庭で暴れることがしばしばありました。学校のスクールカウンセラーも勉強されてはいますが、教科書通りのことしか話してくれず、あまり役に立ちませんでした。そんなときに出会ったクリニックで、私自身の不安定な症状や子どものつまづきの部分等をしっかり見つけてケアしてくださり、今ではかなり安定してきました。こういった機関が高山にもあれば、多くの子や親が暮らしやすくなると思います。金銭的な子育て支援よりも、このような面を充実させると皆が幸せに暮らせるのではないかと感じます。
・来春から上の子が保育園の年少の年になるので、伸び伸びと育ってほしくて保育園に行かせたいと思っていました。しかし、親が働いていないと保育園に入れないため、下の子を預けてまで働いては下の子がかわいそうだと感じ、幼稚園に入園することに決めました。下に子どもがいて働けない母親もいるので、年少から保育園に入れるようにしてほしいです。また、親の支援に力を入れるのもいいですが、3 人目の保育料を無償化すると未満児から預ける人も増えて保育士は大変です。保育士の給料は変わらないのに負担が増えるばかりなので、保育士への支援もしてほしいです。
・学童保育の支援員として、放課後の子どもたちの支援を行っています。0 歳児から保育園に行っているという子も多く、働く母親の支援や子育て支援について、市が力を入れていて充実しているのがよく分かります。小学 1 年生の 7 割が学童保育を利用しており、迎えの遅い子は 18 時半までいます。0 歳児からそのような生活をしている子どもたちを見ていると、これでいいのか疑問に思うことがあります。学童保育ではとても手がかかる子でも、親が迎えに来るとガラリと人が変わったようにいい子になるのです。親はこの子の何を知っているのかと思います。子どもを育てる上で、やはり親が関わりを持つべき時期や場合があり、子育ての苦労を知るべきだと思います。愛情不足だと感じる子が多すぎます。育児休暇を取りやすくすることや、休暇明けに復帰できる保障のある職場作りに力を入れてほしいと感じています。せめて 2 歳ごろまでは、親が養育できる環境が整うと、子どもたちの心が安定するのではないかと思います。
・少子化が進行しているため、子育て支援の充実を図ってほしい。児童手当を増額してほしい。子どもが安心して遊べる公園や施設を作ってほしい。病児保育や夜間保育を行う施設を増やしてほしい。学童保育を充実させてほしい。
・観光に力を入れることはとてもいいと思うので、保育園の時から子どもに英語やスペイン語、中国語などを教えていただけると、これからの将来に役に立つのではないかと思います。子どもは未来の宝ですので、子育てしやすい市を目指していけば人口も増えていくのではないでしょうか。各務原市にある都市公園・学びの森のような自然豊かでおしゃれな場所で子育てしたいと思います。
・商業施設などに授乳室やおむつ交換のできる場所を増やしてほしい。

学校教育
・観光に力を入れるよりも学校給食の見直しをしてほしい。
・各校にプールを整備し、暖房設備を設置し、給食は自校方式にしてほしい。障がいを持つ子の学童保育を充実してほしい。子どもたちに温かい行政の手を届けたら子どもたちの心が少しでも潤うと思う。

・私は他県から嫁いできて 10 年になります。小学生と未満児を育てています。教育に関して、高校、大学、就職の選択肢が少なすぎます。多くの選択肢を望む親なら市外、県外の高校、大学を受験させるでしょうし、一度都会に出た子どもを呼び戻すにはよほどの就職先がなければ無理だと思います。大企業はありませんし、平均賃金も低いです。U ターンには期待できません。移住などの I ターンの人もいますが、田舎暮らしに憧れる人が町内会の役、消防、祭り、近所付き合いなどにどこまで対応できるかと思います。
・他地域では電子黒板やデジタル教科書の導入が進んでいるようです。高山市は ICT 教育が進んでいないのではないでしょうか。また、小中学生の SNS に関するトラブルも気がかりです。条例を作ることや、多くの人にこの問題について知ってもらうなど何か動きがあるといいと思います。これからも市民のためによろしくお願いします。
・若者のゲーム障がいが問題となっており、依存症になりその結果不登校や、成績の低下等の、悪影響によって家族が悩み苦しんでいるとの話を聞く。市としても早急に何か対策を考えていただきたい。
・小・中学生を対象にした乗鞍岳への登山を企画してほしい。

文化芸術
・映画館があるといい。
・せめて映画館があるとうれしいです。
・若者が高山に帰ってきたいと思えるような娯楽施設や映画館等があるといいと思います。遠くまで見に行かなければならないので、市で映画館を作っていただきたいです。
・映画館がなくなったので、車で 1 時間以上かけないと映画を観られません。娯楽施設が少ないです。
・映画館がないのがとても不便です。映画 1 本観るのに車で 1 時間半以上かかかるので、交通費だけですごくお金がかかります。
・高山市は文化施設が少なくて魅力がない。映画館が 1 つもなく、富山や岐阜まで見に行かなければならない現状が情けない。
・高山市は住みやすく、人も温かく、子どもも明るくてとても良いと思っています。ただ、映画館がなくなってしまったのが残念でなりません。映画を見るのに 1 日がかりとなり交通費もかさむので、観たい映画があってもなかなか行けません。娯楽施設が少ないことだけが残念です。
・娯楽施設がない。特に中高生が楽しめる場所がない。映画館がなくなってしまったのは残念です。また、安全面を考えると当たり前なのでしょうが、自然に恵まれているが、親同伴でないと川へ遊びに行ってはいけないことなどが、夏休みに室内でのゲームが多くなってしまう一因なのではないかと思います。また、車での移動に慣れてしまい、自分からは行動できない子になってしまわないか不安です。
・まち協が発足されたと同時に女性部がなくなり、市の女性展がなくなりました。女性の作品を展示できる展覧会があればいいと思います。
・定年後の方（特に男性）が歌を歌ったり、特技が生かせるような活動の場がもっと増えると良いと思います。これからも高山市のために頑張ってください。
・飛騨の里を有効利用してほしい。ジャズフェスなど、もっと柔軟に対応できると思う。

・現在、個人や各団体で演奏会や催し物を企画し、さまざまな方法を駆使して宣伝を行っていますが、なかなか広く伝えることができず、苦労していると思います。演奏会や催し物の情報を集約して、広く発信する場があればいいと思います。より多くの人に知ってもらうことで、文化や芸術等がさらに発展することにつながると思います。ぜひ行政でご検討いただけないでしょうか。
・高山市のこだま～れに、いつも友達と参加しています。これからもぜひ続けてください。

スポーツ
・どこのグラウンドも照明が暗くなっているので明るくしてほしい。高山市に設備の整った野球場を早急に作ってほしい。
・現在の中山公園野球場についてです。以前は中山球場でも、岐阜県硬式野球高校選手権（甲子園予選）の試合が行われていましたが、球場の設備が他地域と比べて十分ではないとの理由で数年前より試合ができなくなりました。バスケットはビッグアリーナが県内でも最高の会場だということで、小・中・高の県大会の決勝トーナメントが行われています。ハンドボールもブルズが試合で使っています。平成 31 年には、飛騨地域から 2 名がプロ野球チームに入団しました。野球をする子どもたちのために、中山球場での大会や試合をいいフィールド、設備でさせてあげたいと親は思っています。野球をする子どもたちを地域でもっと支えてほしいです。なお、県内にある他の球場はプロ野球が行えるくらいの設備があります。プロ野球の二軍戦も行っています。高山市の予算的な問題もあると思いますが、協力してもらいたいです。
・合併した旧町村に、子どもから大人まで楽しめる人工芝のグラウンドを作ってほしいです。
・人工芝のグラウンドをつくってほしい。国府のスポーツ公園にナイターを設置してほしい。子どもから老人まで参加できるスポーツイベントを実施してほしい。
・市内に子どもから老人まで楽しめる室内プールや映画館などの施設がなくなり、若者も高山には遊ぶところがないとつぶやいています。そのため、若者は休みに遠出することが増えます。小さな子どもでも映画館で見るアニメは迫力が違うと思います。天気がよければ外で遊べますが、雨が降っても利用できる施設があれば、もっと楽しむことができると思います。温水プールと休憩室が一緒な施設があれば、誰でもゆっくりとくつろげると思います。
・市民プールをつくるべき。プールや運動施設の使用料無償化を希望する。
・スポーツ施設はあるが、人が多くて使い勝手が悪い。年中使えるプールが欲しい。
・寒い季節でも、足腰や関節などに負担の少ない水泳が気軽にできるように、公共の温水プールが欲しいです。
・市民プールの使用料をもう少し値上げしてでも、もっと子どもたちが楽しめるプールに生まれ変わらせるべきです。他県にはもっと楽しい市民プールがあります。
・市民プールを改善してもらいたいです。自分の幼少の頃から変わらない姿で、清潔感に欠けていると思います。周りの人は栃尾や大沢野のプールに出かけています。
・高山市は観光客を集めることばかりで、市民のためになるようなことには目を向けていないのではと思うことがある。ウルトラマラソンも外部から人を集めるだけで、住民にとってのメリットはない。丹生川に住んでいるが、自宅前がマラソンコースになっていて、何時間もの間、ランナーが通過するので外出もできず迷惑している。夫は仕事を休んでボランティア活動をやらされている。もうやめてください。

・サイクリングロードの設置（清見、新宮・山田・下之切団地、上野平）と、サッカー場の設置（上野平、新宮、江名子）を提案する。
・低料金で使用できるスポーツ施設を作ってほしい。大人数でするスポーツ向けのものではなく、例えばスカッシュなど個人でもできるスポーツのための施設を作り、大人が外へ出て活動しやすいまちづくりをしてほしい。ひいては医療費の削減につながる。冬に引きこもらせないように何か作ってほしい。
・30 年ほど前になりますが、市の主催で開かれたテニスやスキーなどのスポーツ教室に参加させてもらい、40 代、50 代を楽しみました。80 代になってもストレッチやソフトミニバレー、グラウンドゴルフ等が元気にできるのもその頃から運動を続けていたおかげだと思っています。年を取ってからの筋肉の衰えの防止の助けとなったのではないかと思います。
・子どものスポーツクラブ等の活動に補助金があればいいと思います。子どもは高山市の財産です。若者を守る市にしてもらいたいです。

交流
・高校生や大学生、若者と交流する場が少ない。

歴史文化
・京都から移住して 3 年余りになりますが、まだ慣れない生活で少しずつ高山の良いところが見えてきました。早く高山市民になれるように努力したいと考えています。城山公園に続く坂道は 400 年の歴史を感じられる素晴らしいところだと思います。お城があればもっと生かせるだろうといつも感じております。
・高山祭などの重要文化財のある場所での飲酒、喫煙を控える意識が低いので、周知徹底が必要。大切な文化財は屋台組の人だけのものでないことを知るべき。
・市内の観光が上三之町一点に集中しているのを拡散するべき。山王祭の成り立ちや屋台に関する情報を分かりやすく、多くの人に伝達できるようなパネル掲示などの場があるといい。まちの博物館は観光客の立ち寄りが少なく、屋台や祭りに対する情報が他地域の方に伝わりにくい。
・秋の高山祭の地域に居住しています。町内会の人口が減り、町内会だけでは祭りを維持、継承することが困難になっていると感じています。例えば、市内外を問わず、祭り地域以外の方にも参加、協力をお願いするなどの検討をお願いします。
・高山祭などの行事を外国人や地元以外の人に楽しんでもらえるといいと思います。高山の文化をこれからも引き継いでほしいと思います。
・城山に城の再建を。
・高山はいろいろな取り組みや支援があり、恵まれた地域だと思っています。しかし、観光に力が入りすぎている気もします。高山祭区域の町内の高齢化、人口減少に伴って、高山出身ではない人がボランティアで参加することも増えてきましたが、振る舞いが良くない人がいることもあり、気分が悪くなり悲しい気持ちになりました。高山祭は地域に住む理解がある人に担ってほしいです。古い町並の辺りもだいぶ変わってきましたが、ただの土産店が並ぶ町並みにはなってほしくないと思います。祭り屋台についても、祭りの期間だけでも町内の人たちの負担が大きいのに、それ以外の曳き揃えは負担が増えることになります。屋台の保護という点からもあまりよくないと思います。

協働
・少子高齢化で世帯の数も人数も減っているのに、ずっと住んでいるという理由だけで、町内会の参加がほぼ強制的で、義務のように役職が回ってくるのでいら立ちを感じます。現在は親が役割を担っていますが、いずれ自分に回ってきたとしても生活するのに精一杯なので、参加したくないと思っています。町内会が強制加入でないのであれば、そのことが分かるようにしてほしいです。今の時代背景からみても町内会の仕組みは古いので、自由参加でいいと思います。
・子どもが小学校に入学したタイミングで町内会に入りました。周りの子たちが子ども会に参加する話をするので、入らないとかわいそうだと思って入ったのですが、それだけのために高い年会費を払うのはどうかと思います。確かに近所の付き合いもありますが、私の住むマンションの住民は他に誰も入っていません。高山市内に住む友人や子どもの友達の親からは、子ども会のために町内会に入るという人もいるし、何年も前から入っていて役をやらないといけないので負担が大きいとの声もたくさん聞きます。町内の維持などをしていかなければならないのは分かりますが、負担になるようでは町内会の意味がないです。
・地域社会の交流が希薄化しています。以前は交流の機会であった葬祭などを業者に任せるようになり、町内会活動に関心がなく、他人任せな人間が多い。会合への参加が少ないことも要因であると思います。町内会からの脱会も増え、会費が必要な活動は拒否されます。ごみ拾いなども税金を支払っていれば協力しなくてもいいのでしょうか？町内会での維持活動などに知らん顔で自分勝手な人が多いです。
・若者や高齢者に負担がかからないのが一番だと考えています。月 1 回常会が行われることなどは、負担がかかりすぎです。住民の意見交換等が必要な時だけ集まれば良いのではないでしょうか。
・町内会長や役員決めに非常に苦労している。行事が多いのが負担になっているのではないか。もう少し改善するよう市からも声をかけてほしい。まちづくり協議会、町内会等、団体が多すぎはしないでしょうか。その分、役員も多数必要になりますし、少子高齢化が進む中で維持していくのは難しいと思います。
・最近、近所でも町内会に入っていない家が多い気がします。町内会に加入しなくても日常生活に困らないという考えなのでしょう。町内会に入っている人は会費を毎月支払うことで地域の活性化に貢献しているのだと思わないと不公平な気がしてなりません。同じ市民でも全ての人が平等に生活できるような取り組みも必要なのではないでしょうか。生活していて困ったことがあった時や家族だけでは補うことができない場合、どこを頼ればいいのか。今後、高齢者になることが不安で仕方ありません。
・近年、住民の減少により町内会運営が困難な地域が多くなってきています。大きな町内会と小さな町内会で不均衡な状況が生まれているのではないかと思います。大きな町内会の規模を小さくし、小さな町内会を統合することで、全体の数は変えないというのはいかがでしょうか。
・町内会へ加入する家庭が減っている。対策として、例えばごみ収集券を町内会へ一括配布等して未加入世帯はもらえないなどとしてはどうか。町内会は必要なものだと理解してほしい。
・近年、考え方の多様化などで、自治会（町内会）に加入していない世帯が増えていると感じます。平常時はよくても、災害発生時に援助が不公平になってしまうのはよくないことだと思います。困った時だけ声を上げる人もこれから増える気がします。まち協などで地域のつながりを深めていくことは大切です。それがわずらわしくて、つながりを持とうとしない人に対して、広報紙などで積極的な参加を呼びかけてほしいです。

・条例により全市民の町内会加入を義務付けてほしいです。
・町内会などの行事や子どもの義務教育中の育成会の手伝いなど、負担が多いです。町内会の行事などは義務的にこなしているだけで、必要性を感じてやっている余裕はないです。負担なく生活できることが今後の世代にとって住みやすい町になっていくのではないかと思います。義務的に行なっていることにお金の支援をするよりは、本当に必要な安全に配慮した環境の整備などにお金をかけてほしいと思います。
・町内会やまちづくり協議会に参加し続ける重要さがあまり感じられない。
・まちづくり協議会ができましたが、以前の内容と変わり映えしていません。本腰で行政が指導等を行わなくては発展はないと思います。市民憲章の中にある「こどもを愛し健やかに育て、夢と誇りをもたせましょう」の考えが実行されていないと思います。
・町内会活動によって行政では行き届かない細部のことが改善され保たれています。未加入の方がいますが、公平に全家庭が加入するように市からも促していただきたいです。
・町内会費用の減額と、その他固定費の減額もしくは廃止をすべき。最近は地域格差が拡大している。
・町内会の役を受けると、まちづくり協議会も参加しなければならないので、かなりの負担だと思います。町内会も高齢化が進んでいます。役割が増えるとみなが大変だと思います。
・まち協は校下単位でのイベントが多く、また範囲が広くて身近に感じられないため参加しにくい。
・まち協など、本来は高山市が行うことを地域住民に負担させようとするのはおかしい。時代に合わせて行政を見直し、参加したい人間が簡単に参加できるようにしていくのがいいのではないか。
・まちづくり協議会に仕事を回しすぎではないか。市としてやるべきことを、まちづくり協議会が予算も少ないのにやっている。高齢者が元気に活躍できるまちづくり、子どもとの触れ合い、地域の活動など、お年寄りが活躍できて存在感を示せるような場を希望する。
・まち協への支援などに市が積極的に関わっていただきありがたいと思います。各地区のまち協の活動も概ね順調に推進しているのではないかと思いますが、行事等で参加者の固定化や若い世代の参加が少ないことなど、課題が多くあるように感じます。また役員等の負担も大きく、後継者が見込めないなど問題があるのではないかと思います。もう少しまち協の負担を減らして柔軟な対応をし、若い世代の意見を反映した行事の開催ができたら、もっと活性化するのではないかと思います。
・まちづくり協議会の行事が本当に必要なのかという疑問をよく聞く。
・年金支給開始年齢が 65 歳になる中、まちづくり協議会の役員の確保が難しくなっている。役員の仕事に給与を支払う制度を導入することも考えるべき。
・行政は、まち協に丸投げしているように思います。若い人が役を受けないため、年齢の高い人がいつも役を受けなければならない。少子高齢化で人口が減少しているため、市の主導でブロック別の町内会統合を行ってほしい。
・まちづくり協議会が市役所の下請け機関にならないように、また、まちづくり協議会の役職等に就くことで、日々の生活がわずらわしくならないことを願う。役に就いた人が気の毒だと思うことが多々ある。
・自治会をはじめ、市民に負担をかけ過ぎではないか。
・本来、行政が行うことをまち協に丸投げして、責任転嫁をしているのではないかとの意見を多く聞く。行政もまち協におんぶし過ぎでは。

・どの地域のまち協も、住民にあまり内容を理解されていないと思う。以前は地域の陳情についても連合町内会を通していたが、今ではまち協を通すことがおかしい。
・分野ごとのまちづくりでなく、分野を超えた発展的な取り組みを期待する。縦割り行政を市民生活に当てはめることなく、柔軟な発想と将来性のあるいきいきとした高山市を作っていただきたい。既存の概念にとらわれず、IoTをはじめとする社会の大きな変化に乗り遅れないたくましい地域にしてほしい。
・近所付き合いの中にある助け合いの力を、若い人たちにどう伝えていくのかが課題だと思います。高齢者の一人暮らしや空家が多いです。高山市もまち協の方々も本当によく頑張っていただいていますが、子どもたちが一度都会に行っても、戻って来てくれるような高山にするために、市民も何かできることがあると思います。行政任せでなく、自主的に動けるようにしたいです。
・全国の自治体が町おこしに苦慮していることは連日のテレビでも報じられています。しかし少子化、過疎化は止まることはありません。私の周辺でもさまざまな多くの問題があります。現在、核家族化している中で、人と人との触れ合いが希薄となり、本当に伝えていかなければならないことが伝わらなくなっています。老人、若者、子どもと別々に考えるのではなく、共通の接点ができる機会を多く作ることが大切だと思っています。私たち老人ばかりでなく、若い人が町を良くするために考えていく流れができることを望みます。未来の子どもたちに住みやすい郷土、良き伝統文化を継承していってほしいと思います。
・まちづくりの活動について、もっと分かりやすく教えていただきたい。私は高齢なので、歩いて行ける範囲の所にいつでも集まれる場所を作っていただきたい。横のつながりを広げていきたい。
・まちづくり協議会のことを知らないのでもっと教えてほしい。
・地域特性を活かしたまちづくり、地域の人口に見合った活動の検討を。合併前の旧市町村の特徴ある活動を見直し、イベントの再現を希望する。
・支所地域の将来の不安が大きい。まちづくりについて考える人が少なくなり、地域の役（消防、寺、神社、PTA、まち協など）を一人でいくつも抱えて大変な思いをしている。行政は、住民から意見が出ないというが、一生懸命役をこなし生活しているのでそれどころではない。もっと行政がリーダーシップをとり、地域で何を残すべきか考え、住民が生きがいを見出す手助けをするために、住民側に踏み込んで協力すべきである。それがまちづくりを進める上で大切なのではないか。人材不足は行政にも言えるが、トップに立つ人間を民間から採用して新しい風を吹かせてほしい。高山市は飛騨市や下呂市に比べて考え方が古いと言う移住者や市外の人が多く、私もその通りだと思う。市の仕事もまち協のあり方ももっとスリム化し、可視化して伝えるべき時期が来ている。本庁に比べると支所は権限もあまりなく仕事量も少ないと思われるので、支所のあり方を見直し縮小してはどうか。机上で人事を考えているうちは支所地域の住民の行政への不満は止まらないと思う。支所の人員を削減しその分を本庁へ回すなどして適材適所な人事を行い、行政の力を発揮していただきたい。そうすれば人々は協働の意思を持ち、まちづくりへの意欲も湧くのではと考える。
・協働のまちづくりには地域に住む市役所の職員にも参加してもらいたい。職員の意識改革に取り組んでいるなら、なぜ公務員は地域の役から逃げているのでしょう。本来なら率先して役を引き受けるべきではありませんか。市役所の管理職で市民活動やボランティア活動に参加している方はどのくらいいるでしょう。アンケートで市民の声を聞くことは大切ですが、まずは自分の足元をみていただきたい。先月の寺の行事にも市役所の職員や学校の先生は一人も参加していなかったが、寺は門徒全員で守っていくものです。職員の意識改革をお願いします。

・運動会や敬老会など、まち協の行事があっても、事務局や支所の職員の出席があまりにも少ないのでもっと協力してほしい。
・生活が苦しくないのに町内会に入らない人が多すぎると思います。自由にごみ出ししたり、河川を自分の所有地のように駐車場や畑として使用している人もいます。
・現在、私は長寿会に入会して地域社会の一員として貢献していますが、入会者が少ないため消滅寸前です。例えば満 65 歳になれば強制的に入会するようにし、会の発展のために尽くす心意気を育ててほしいです。
・今までまちづくりにあまり関心がなかったので、これを機に参加できることがあれば参加していきたいと思いました。
・賃貸に住んでいる者にとって、まちづくりは難しい問題です。ずっと住むとは限らないが、何か協力した方がいいとは思っています。どういう立場で関わればよいのか悩みます。
・町内会には加入していないが、住んでいるマンションの住民が増えるとともに問題が出てきたのでどうにかしてほしいです。
・いろいろな団体が多すぎる。ニーズのない団体はやめるといい。
・一部の人間のエゴで役を押し付けられ、強制的にやらされていることが多く、不満を感じます。
・良いことをしようと思っても、出すぎたことをすると役が回って来るのではないかと不安で何もできません。

生涯学習
・高校を卒業すると都市部に行ってしまうため極端に若者が少なくなります。大学があるといい。
・人づくりが市全体の力の底上げになると思います。人格教育のための交流や呼びかけ、環境問題やまちづくりの意識向上の講演会等があればいいと思いました。既にあるのなら、その情報がより広く伝わる仕組みがあれば、市の取り組みや活動に参加しやすいのではないかと思います。
・今後、人口減少が進む中、既存の施設の有効活用を積極的に進めていただきたいです。また高山に唯一ある短大に、全国からもっと学生を集め、活気ある大学として存続してほしいです。
・尊敬できる人を招いて、無料でたくさん講演会をしてほしい。

土地利用
・土地が空いているので何か利用してほしい。

住宅公園
・南海トラフ地震が高確率で、ここ 30 年の間に発生すると言われています。都市（特に関東）では避難先の確保が不足し混乱すると予想されています。そこで事前に避難場所として確保した空家に入ってもらい、高山に移住してもらうのはどうでしょう。人口減少や地域活性化の力になりませんか。
・空家対策が進んでいると思いますが、高山市に来た若い人に空き家を安い価格で使用してもらいたいです。その地域で町内の交流をしてもらいたいです。日の出町や守ヶ丘町などには若い人が少ないので、祭りの行事もなくなったと聞いています。ほかにも高齢者ばかりの町内が多いと聞いています。残念ですが、これが将来の日本の姿だと思うのです。

・空家を使ったアイデアを出したかったが、仕事のため会合に参加できない。
・小さい子でも乗れるような枠のついたブランコや滑り台のある公園がほしいです。
・公園を増やし、遊具ももう少しあるといい。
・子どもたちが遊べる公園等が自宅近くにない。
・小さい公園や児童センターはあるけれど、一人だと行きづらくてなかなか行けません。公園も遊ぶことが限られていて子どもが飽きてしまう。少し大きい公園は遠いので時間がかかるため、なかなか行けません。広くて遊具もある程度あり、芝生もある大きめの公園があるといいと思います。児童センターもグループで来ている人がいても、一人でも利用しやすくなるといいです。
・公園の整備をもっとしっかりしてほしい。
・スカイパークはどうなるのか。
・以前子育てしていた頃は、子どもが伸び伸びと遊べる公園がほしいと思っていました。城山公園でよく遊びましたが、今は熊の出没もあり心配です。緑地公園は遊具もなくなり残念です。ゲームセンターや遊園地ではなく、高山の素晴らしい自然を活かした、子どもからお年寄りまで誰もがゆったりと憩うことができ、イベントも行えるような愛される場所があったらいいと思います。上野平から見える山脈などはパノラマの絶景だと思います。このまま変わらないでほしいと思うと同時に、この風景の中で多くの人が憩うことができたらと思い描いています。
・私は公園に 18 年以上、シルバーとして働かせていただいております。元気で長い間働くことができて、幸せで感謝しています。今後も働きたいと思っています。今年スカイパークで、芝を増やすために雑草を枯らして消毒されていましたが、大変よくなっていました。
・緑地公園をもっときれいにして、子どもが遊べる場所にしてほしい。
・市内に児童公園が少ないという声をよく聞きます。3 人の子どもを育てている私も同様に、大型の遊具やアスレチックのある大きな公園や、小規模でも遊具や水道もある公園が不足していると思います。市中心部からアクセスのよい場所で、このような公園があれば子育て世代にはとてもうれしいです。例えば、東京都にある冒険できる遊び場についても、高山なら自然を活かしてもっといいものができると思います。高山がより子育てしやすい町になることを願っています。先日、市役所地下ホールで行われた講演会でも言及されていましたが、乳幼児連れの親たちが気軽に立ち寄れる場所を市内に多く作ることが必要だと思います。
・他県の子どもがたっぷり遊べる遊具がある公園に行ってきました。
・子どもだけで安全に遊びに行ける公園がほしい。近所の公園は道路が近いし、狭くてボール遊びもできません。不審者も怖いです。
・市民が休んだり、子どもたちが遊んだりできる公園等を作ってほしい。自分が子育てしている時も、公園が少なくて家にばかりいました。
・他県に遊びに行くと、整備の行き届いている大きな公園や一日遊べる公園があり本当にうらやましく思います。子どもたちもまた行きたいと言っています。高山市は大きな財源として観光に力を入れているのも理解していますが、市内に住む人にとっての楽しみも増えたらいいと思います。
・市民が安心して憩える公園が中途半端で整っていない。町中ばかり整備して田舎には目も向けてもらえない。税金の無駄遣いが多いと感じます。市民が暮らしやすければ、市外から来る人にとっても魅力を感じると思います。

・小さな子どもがいる知人は、旧市内には子どもを安心してゆっくり遊ばせられる公園等の施設が少ないと言っています。そのため、休日に岐阜や富山に出かけて一日過ごすという人が増えているように思います。
・高山を良くしようと努力している市の姿勢は常に感じており、ありがたく思います。私は子育て世代ですが、昔から高山には遊具の充実した公園が無いということを痛感しています。子どもが活動的になり、大きな公園やアスレチックで遊ぶようになってからは、丹生川の大きな滑り台のある公園や、可児の公園、下呂の有料の滑り台、遠くは富山の城端の公園まで出かけています。高山の公園は遊具の老朽化も相まって利用しにくくなっています。せっかくスカイパークという良い場所があるのに、なぜ遠くまで遊びに行かなければいけないのかと思っています。芝をゴルフの練習に使っていて近寄り難かったこともありました。あの場所に大きな遊具を入れて、市内でも遊べるようにしてほしいです。
・高山に生まれ育ち、自然豊かで環境が良く、おいしい食べ物もたくさんあるこの場所をとても誇りに思っています。ですが、子どもを持つ親として、広くて安全な公園がもっとできればいいと思います。
・子連れで遊びに行けるところが少ないので増やしてほしいです。公園はあるけど、雨の日に利用できる室内遊び場が少ないと思います。
・こんなに環境が整っているのに、大型の公園や大型の市民プールがないのが人離れの原因だと思います。子育て世代が遊びに行くのは、富山、岐阜、長野。大型ショッピングモールがあることもありますが、高山は観光には特筆すべきものがありますが、住んでいる人間にはつまらないです。富山、岐阜、長野には森林を利用した、中学生や大人まで遊べる大型のアスレチックのある公園があります。高山にも土地や環境もあるのにうまく活用できていない結果、市外でお金を使っているので、逆に人を呼び込む仕掛けが必要だと思われます。原山も幼児だけでなく、小学生から高校生くらいまでが楽しめる公園に生まれ変わらせるべきだと思います。
・日和田にある市営住宅を都会の人に貸し出し、地域の役に立ててもらいたい。すでに希望者もいる。日和田トレーニングセンター内に診療所があるので利用してほしい。

生活環境
・町内会は考え方が古く半強制的。行政がやれることはやってほしい。ごみステーションを市の土地で各町内に確保してほしい。町内の悪しき風習が漂っている。個人がモラルを持てば家の周りくらいは汚れない。
・火葬場・ごみ処理場の建設地の早期決定を。大事なことが決められないようでは何もできないと感じます。
・火葬場やごみ処理場などは市民が生活するうえで必要な施設なので、行政がしっかりとリーダーシップを取り、ゆるぎない考えと姿勢をもって整備を進めてほしい。
・ごみ処理施設の建設について、1 年以上かけて環境調査した結果、基準値以下だったとのことですが、説明会に参加した人から、説明会というよりは報告会のようだったと聞きました。
・生ごみをいつもシールを貼らずに出している人がいます。ペットボトルが入っている時もあります。そのため、収集不可のシールが貼られて収集されないのですが、本人は気づかないので、しばらくするとやむを得ず収集してくださいます。しかし、これではその人のためになりません。近所の人にも迷惑なので、厳しい対応をしていただけるとありがたいです。

・今年、主人が市長との面談時に提案したようですが、ごみ収集を夜間行うことはどうでしょうか。福岡市は実施しています。観光客の多い日中は避けるのがよいかと思います。一般家庭でも朝出すのは少し大変です。ご検討ください。
・ごみステーションは町内各班で管理しているが、全く関係のない人がごみを置いていくことがある。時には、指定された収集物以外のごみや、分別していないごみ等を置いていくため、市が収集せず迷惑している。
・野良猫が多すぎる。死骸や排せつ物で迷惑している。餌をやっている人に注意しても改善されない。
・野良猫などに餌をやる人がいれば、追い払う人もいる。動物保護団体があっても数が多くて受け入れてもらえないので、市で保護施設を作ることや、動物が嫌いな人がいても、安全でいられるような制度を作ってほしい。

上下水道
・上水道が通っていないところがまだまだ多い。整備が進んでいるとアピールしているが、そうではない。本当に市民のことを考えているのか。

公共交通
・年を重ねると車で出かけることができなくなり、買い物や病院に行くことができません。バス利用も時間がかかります。バスのルートは、もっと細かく回ってほしいです。
・高齢化が進んでいるので、高齢者の足の確保を考えて、のらマイカー等を充実させてください。
・運転免許証がない人にとって、交通手段が無なさすぎる。買い物に行けるのらマイカーの本数が少ない。
・三福寺地周辺では、高齢化が進んでいる。特に坂道の多い東山台地区を通るのらマイカーのルートを新たに作ってほしい。運行本数も増やしてほしい。
・高校生のバス通学を考えてほしいです。市民乗車パスを使えば一律 100 円で利用できますが、対象範囲が旧市町村内での利用に限られるため、とても不便です。旧市町村の範囲を越える丹生川から高山や、飛騨市への利用は安くならないため、便利さを感じられず、親の負担も大きいです。丹生川内で一定料金、旧市内で一定料金なら、2 区間の利用料金の合計にできないのでしょうか。料金が高いためバス通学を断念し、親がわざわざ旧市内の学校まで送り届けています。この問題を解決していただけると助かります。どうかお願いします。
・旧高山市とその他地域ののらマイカーの料金を同じにしてもらえるとありがたい。高齢者も増え、車を手放す方も増えるし、子どもたちが旧高山市に遊びに出かけることもある。高校生の通学費の補助は、本当に助かっています。
・清見近辺に居住していますが、周りにはスーパーや小さな商店もなく、買い物に大変不便を感じています。名古屋、岐阜には乗り合いタクシーが高齢者の送迎を低料金で行っており、うらやましく思います。市内でも場所によってはスーパーが移動販売で回っており、私の地域は範囲外だったため残念に思いました。こちらの方面にも 1 週間に 1、2 回でもまわっていただけるとありがたいです。一人で年金で生活し、車にも乗れない人間にはタクシーの料金も高く生活するために負担がかかります。

・旧高山市はバス等、自家用車以外の交通手段があるが、支所地域は気軽に利用できる交通手段はないため、充実を望む。
・支所地域の人口減少が進んでいる。支所地域の人たちが暮らしやすいように交通の便を整えたり、優遇制度などを作ったりしてほしい。
・高山市は車がないと移動するのにとても不便な町だと思います。これから高齢者が増加するので、車の運転ができなくなるお年寄りのためにも、バスの運行、お年寄りのためのタクシーなど、もっと考えていかなければならないと思います。
・自主運行バスを走らせることは結構ですが、民家の少ない道路を通ってもバス停に行くまでが大変なのではないかと思います。大きな団地などを通るルートを考えてはどうですか。
・町中はバスが運行していますが、少し外れると運行していないところがあるため、あまり利用できません。多くの人が利用できるようにしてほしいと思います。
・のらマイカーの石浦町までの延長を希望します。
・ディズニーランドのように、高山市内はバスが常に乗り放題になるサービスを希望します。
・お年寄りのためにもう少しバスを利用しやすくしてほしい。車にあまり乗らなくてもいい環境に。
・交通の便が悪い。バス停が遠く本数も少ないので、免許証を返納すると不便になる。誰も乗車していないバスが走っていることも多いので、コースの見直しをしてほしい。海外戦略を進めるのもいいが、市民がもっと楽しく楽に生活できる高山にしてほしい。
・今は車の運転ができるので各地に出かけているが、免許証を返納した場合の生活が心配です。
・地域にタクシー会社はなく、のらマイカーはバス停が遠く本数が少ないので、高齢者が運転免許証を返納すると非常に不便になります。
・交通機関のことが心配。免許証を返納した後が不安。
・税金をもっと投入してでも市内の公共交通機関をもっと充実させてほしいです。通勤通学に利用できれば、天候が悪くても子どもを学校に送らなくて済むし、仕事帰りに食事やお酒を楽しんだ後に利用できれば、商店や飲食店の活性化にもつながると思います。高齢者が病院や買い物のためにタクシー代を払うことがなくなれば、免許証を返納しやすくなります。本町や国分寺通りなどで行きたい店がたくさんあるのに、駐車場がなかったり市営の駐車場も料金が高いため行かずに、結局駐車場のある大型ショッピングセンターだけが繁盛することになるのだと思います。
・雪が降ると自転車で学校に行けないのでバスで通いたいです。私の地域は通学に合う時間のバスがなく、しかも一本しか出ていません。また都会に遊びに行きたくても時間とお金がすごくかかります。とにかく高山は交通の便が悪いと思います。私は春から進学のため高山を離れます。高山の様子を見て、卒業後帰ってくるか判断したいと思います。
・のらマイカーもまちなみバスもとてもありがたいですが、乗り場までの道のりも私の足では歩いていくのが大変なので何とかならないかと思います。特に雪の多い時など、歩道まで除雪されていないので歩きにくいです。
・昨年までは主人と車で出かけるなど不自由なく暮らしてきました。主人が亡くなってからは一人の生活になり、車に乗れないので交通手段がバスになりました。朝 8 時に出かけると夕方までバスがありません。家に着くのは 17 時です。バスが出るまで時間をつぶしていなくてはならないので疲れます。これから老いていき、この生活がいつまで続くかと思うと不安です。
・高齢化社会に対するインフラ整備として、特に交通手段を何とかしなければと思う。高山に来て 3 年だが車での移動が前提になっている。

・高山市が住みづらい一番の問題はやはり交通だと思います。成人 1 人に 1 台の車が必要なこの地域は、それによる経済的負担が大きいにもかかわらず、燃料価格が他地域より高い。そのうえ賃金も安いので、悪循環になっているように思えます。また、高齢化が進み、危険運転もしばしば見受けられるので、安い料金で利用でき、小回りの利く交通網の整備をお願いします。
・徒歩や自転車で移動し、買い物等を楽しめる生活を送りたいですが高山では無理があります。中心部への移動は車が必要です。バスもありますが、歩くことが少し困難で、自宅が停留所から離れている者はバスにさえ乗れません。タクシーもお金がなければ使うことができません。安くて安心な、家からでも使える移動手段があるといいと思います。
・のらマイカーよりも、タクシー等をデマンド化して利用しやすいようにしてほしい。
・交通の便を良くしてもらいたい。バスの本数増加や無料タクシーなど。車がなければ生活できない現状では高齢になっても免許証を返納することができない。事故の誘発や危険運転につながっていると思う。
・高山市は水も空気もきれいで野菜などもおいしく、都市部から帰るとほっとします。1 つだけ、改善できたら皆が便利になると思うことは、交通の便が悪いために車がないと暮らせないことです。駅へ行きたくても、バスや JR の乗車時間と合うのらマイカーの便がないので、タクシーか歩いて駅へ行かなければなりません。利用者が少ないから便数も少ないのかもしれませんが、便利なら利用者も増えるのではないかと思います。幹線バスも安く便利に乗れるようになるといいと思います。
・自然豊かで名だたる名峰を望むことのできる高山市は気持ちよく暮らせるところだと感じています。広大な面積なので仕方ないとは思いますが、高齢者が気楽に出かけたり、買い物したりできるところが市街地を離れると極端に少ないです。そのため、かなり高齢になっても免許を返納することは難しいと思います。
・JR を使って高山市から首都圏に行くのに時間がかかります。もう少し短い時間で行き来できるとありがたいです。首都圏からの観光客も増えるのではないでしょうか。

道路
・宮川の中橋から陣屋、中橋から城山方面では、地元住民が観光客に遠慮しながら通行している。観光客に通行マナーとルールを守ってもらい、事故等起きないように交通整理員を配置してほしい。
・花里町 2 丁目に住んでいますが、歩いていると車のマナーが悪くて大変困っており、何度も危険な思いをしています。車の往来が多く、道幅が狭いのに車同士がすれ違う際、歩行者がいても強引に通過することが非常に多いです。銀行から花里町のショッピングセンターにつながる道です。一方通行になればいいと思うくらいであり、市で対策を考えていただきたいです。
・神明駐車場周辺に歩行者用の信号がないため、外国人観光客が車を待たせたまま横断することがあり不便。信号が変わっても車が一台も通行できないことさえある。
・高山は車がないと生活しづらい。旧市内やJRが通っている地域に行くのはいいが、それ以外の地域へ行く時は手段を考えなければならない。駐車場がなかったり、あっても満車なら有料駐車場を利用しなければならないと困る。
・越後谷の林道と今谷林道（清見に抜ける林道）を、一之宮町の林道とつなげてほしい。あと少し工事すればつながるのに長年放置していてもったいない。つなげておけば災害で 41 号線が寸断されたときに迂回路になるのではないか。

・これからオリンピックもあるので、一般道路や高速道路の整備を進めてほしいです。
・障がい者が安全に移動できる道路作りをお願いしたい。
・私が住んでいる地区は、道路事情が悪く、高地で、平湯地区との格差がある。早く諸問題への対応をお願いしたい。解決の遅さが大きな格差を生んでいる。
・担当業者の技術の差もあるとは思いますが、冬期の除雪の地域格差を感じます。旧高山市は小まめに除雪していますが、旧町村は走りづらい道路がたくさんあると思います。

情報
・インターネットの光回線を周辺地域まで伸ばしてほしいです。
・グループ化して情報を共有できるネット利用を促進してほしい。災害や教育、イベント、地域の諸問題など、多くの人のコンセンサスが得られるような仕組み作りがほしい。
・スマートフォンを持っていない人や一人暮らしで情報が入って来ない人の中には、市が何を行っているのか分からない人が多くいると思います。
・ラジオ等、快適な受信環境を望む。旧町村のラジオの受信感度が悪い。
・年を重ねていく日々の中で、将来の生活が一番不安。医療や介護の情報をもっと発信してほしい。
・まちづくり協議会は地域のためにさまざまな活動をしていますが、その情報がすべての地域住民に伝わっていません。住民をどう巻き込んでいくか、これからの高齢化社会に向けて取り組みを考えてほしいです。私の住む地域では新聞は郵送でしか届かず、広告も入らないので情報が少ないです。
・高山市の人口割合を見ると、20 代、30 代が減ってきているように思えるので、対策を地域で考えていくべきではないかと思う。大型の商業施設などがある富山市方面への関心がある人が多いので、富山の民放テレビを高山でも視聴できるようにしたらいいと思う。

景観
・電線埋設による無電柱化を。
・次年度の国家予算の中で無電柱化事業が議論されているようですが、高山市もこの事業に積極的に取り組んでもらいたい。
・最近高層ホテルがあちこちに乱立し、調和が取れていない。歴史豊かな町として、まず高さ制限をしておくべきだった。いずれ供給過剰で地元業者も巻き添えになる心配がある。上三之町は混雑しているが、上一之町は空家や駐車場が目立ち、対策が遅れている。
・ホテルやビルが次々に建てられていますが、今まで通り素晴らしい乗鞍が高山の町から見えるように、これ以上高い建物を建てないでほしいです。

地球環境
・自然エネルギーに転換することも大切ですが、できるだけエネルギーを使わないようにするには、どうすればいいかを考えることも大切です。例えば、曜日や時間を決めてエコタイムを設定したり、季節に応じたイベントを行い、皆で楽しく取り組むことができたら素晴らしいです。電気や水、食料など、今あるものが当たり前のものではないのだと体感できたらいいと思います。
・自然エネルギーの有効利用の促進。

・自然エネルギー転換のさらなる拡大を希望します。
・自然エネルギーを利用する住宅設備などの補助金があるとありがたい。
・自然エネルギーを利用したボイラーを購入したのに補助金を受けられなかった。
・高山市は自然に囲まれ、とても素晴らしい環境にあると思います。町中でも熊やたぬき、鹿などを見かけることがあります。本来、山奥や森の中にいるはずの動物たちが町中まで来るということは、それだけ自然破壊が進んでいるのだと思います。交通の便を良くすることも大切だと思いますが、自然界や森に住む動物たちの生活の場を無くしてまで行う必要はないと思います。高山は、この自然環境があってこその町並みであり、都市のように近代化を進めてビルなどが建ち並ぶ町並みにするのでは、高山の価値を下げてしまうと思います。自然や動物を守り、自然を壊さない範囲でのまちづくりを進めてほしいと思います。
・産廃反対。
・一番の悩みは六厩地区で計画が進められている産廃施設の件です。私たちは自然を壊さないようにし、子孫に譲り渡す義務があると思います。荘川地域の住民は一人一人が川や道路をきれいにし、花壇に花をいっぱい植えて環境美化に努力しています。荘川に産廃施設ができれば、地元で一生懸命作っている高原野菜、飛騨牛、きれいな空気に魅了されて購入された別荘など、すべてダメージを受けます。東日本の地震で被害を受けた福島も、原発の影響を受けてまだ復旧していません。東京電力のような大きな企業をもってしても、補償問題も含め、いまだに解決できていません。福島県の生産物は風評被害で悩んでいます。以前テレビで、富山県民が清流庄川のおかげで立派な鮭が遡上したと喜んでいるのを見ました。また、富山の米農家の人たちが最上流に産廃施設ができることを知ったらどうでしょうか。産廃施設は必要な施設であると思いますが、一業者が営利目的のために作るものではないと思います。何とか自然豊かな清流庄川を守るために、努力していただけることを祈っています。
・自然破壊による災害が多発している現在、山林の住宅開発など目先の利益ばかり見て、将来の計画や波及効果の検証がされていないと思う。荘川六厩地区で東京ドーム数個分の産廃施設が計画され、自然破壊が行われようとしている。産廃施設の必要性は感じるが、大気や土壌、水質等が国の基準に合っているというなら、休耕田を利用するなどして、都会近辺に設置すれば良いのではないか。条例では、開発にあたって申請する際は住民と協議することとあるが、申請書が協議することなく県に提出されているので、市民のための行政であるとは言えない。近年、全国の森林が減少しており、将来に向かって温暖化防止のために守っていくことが私たちの使命ではないかと思う。将来の子どもたちのための高山市であってほしいと思う。
・初めて五色ヶ原の滝めぐりに参加し、素晴らしい景色にとても感動しました。私はショートコースに参加しましたが、ロングコースは料金が高いので、一人でも多くの方に五色ヶ原を知ってもらうためには、もう少し誰でも気軽に参加できる料金設定が必要だと思いますし、もっと宣伝してもらいたいです。五色ヶ原の維持のために高山市でももっと力を入れてほしいと思います。

防災
・河川で工事が行われているが、昔の自然の中州の方が災害にも強く、周囲の家も人も安心して過ごせていたと思う。木造の橋の定期的な修理も必要。
・宮川の保全整備は、観光や景観的にはいいかもしれませんが、防災の観点から見ていいのかどうか疑問です。

・数年前の豪雨の際、念法寺の下の川の護岸が崩れ、倒木もあった。ぜひ整備していただきたい。
・以前、大雨が降った際に久々野小学校のトイレが使えなかったと聞いた。もし、今後避難しなければならない状況になっても、トイレが使えなければ不安である。改善してほしい。
・災害地区の情報が広すぎてピンとこない。災害時の避難場所が住民の人数に対して狭いのではないか。地震や大雨時の避難場所は同じでいいのか。
・平成 30 年の大雨の際、防災行政無線は雨の音で聞こえず、インターネットやメールの情報も遅く感じました。飛騨市では市長が SNS を使っていち早く情報を発信しているので、高山市でも災害時の情報発信の方法を再度検討していただきたいと思います。
・広報無線が聞きづらいです。電話でも確認できるようですが、高山市の HP や Twitter で簡単に分かればありがたいです。
・このアンケートの内容をしっかり活用してほしい。防災無線の音が金属音が混じりうるさい。何を言っているのか聞こえづらい。
・山崩れや洪水範囲・避難場所をきめ細かく教えていただけるとありがたい。
・災害に関することをあまり知らないので教えてほしい。災害に備えていろいろと準備してほしい。
・ペットを飼っているので、災害時に人間とともにペットも過ごせる場所を整えてほしい。
・災害時、全戸停電した場合に備え、避難場所にソーラーパネルの設置が必要だと思います。
・最近、台風 19 号の被災地でボランティアに参加したが、市で災害ボランティアへの参加の仕組みがあるといいと思います。
・近年、全国で災害が相次いで起こっています。飛騨地域には火山があり、いつ災害に見舞われるか分かりません。その際困らないように今から考えてほしいと思います。災害時にごみ捨て場が無くて困っているとの報道がありました。近所のごみ捨て場で受け入れできる対応を考えておいてください。
・自然災害を少なくするためにも、電線にかかりそうな木の伐採を徹底していただきたいです。過去に、雪害による長期の停電がありました。
・電力に頼らない防災、都市づくりの検討を。台風 15 号や 19 号などによって災害が多発し、大きな被害を受けた。被害の実態が分からない日が続いたが、被害の一つとして防災行政無線が停電で使えなかったことを知って愕然とした。高山市は大丈夫なのか。
・現在私の住む場所は、災害時に洪水や土砂崩れなどが起きる危険があり、不安です。少しでも改善されたらいいと思います。それ以外は人とのつながり、環境等、住みやすいと感じています。
・高山での家づくりを考える中で、イエローゾーンやレッドゾーンに指定される土地の多さに改めて危険を感じました。高山は山に囲まれているから仕方ないという方は多くいますが、災害への事前の対策が、安心できるまちづくりには不可欠だと思いました。ずっと住みたい場所になるよう考えていただきたいです。
・高山市の各地域の災害に対する被害想定を説明してほしい。
・私が住んでいる地域は災害時にほぼ孤立してしまいます。災害に備えて備蓄等していただきたいです。

安全
・近くのコンビニ前に設置された信号はあまり利用されていません。そこを行き来する学生の自転車の勢いが激しく、年配の歩行者にとって危険を感じます。

・命を守るために、歩行者も交通マナーを守ってほしいです。狭くて急カーブのある坂道で横並びに広がって歩く、車を確認しながら近距離をのんびり横断する、脇道から確認もせずに車も人も飛び出すなど、いろいろ怖い思いをしています。何とか車も人も安心して通行できる高山市でありたいものです。
・高山駅北交差点で歩行者信号が青になった時、斜めに渡る人をよく見かけます。横断歩道は斜めにはありません。車は赤信号で止まっているので車との接触はないと思いますが、横断歩道のないところを渡るのを観光客や子どもたちがみたらどう思うでしょうか。
・防犯カメラを増やしてほしい。
・通学路の安全について見直しをしていただきたいです。道路が整備され歩道も安全な通学路はありますが、その近くで整備されておらず歩道もほとんどない場所を、小中学生や高校生がよく通っています。交通量が多いところなので不安を感じます。
・観光産業で盛り上がっているが、不特定多数の人間が入ってくることで何か問題が起こる可能性もあるため、支所地域も含めて市内の防犯カメラや街灯を増やしてほしい。
・森下町 2 丁目は、交通量が多いのに防犯灯が少なく夜は暗いです。防犯のためにも設置してほしい。
・観光地の玄関口である高山駅前が質素すぎて分かりづらい。特に夜になると街灯が少なく真っ暗で危ない。
・熊の出没が不安。
・中山町の歩道が細すぎて、通学時間になると自転車や歩行者の通行が大変そうです。夜になると照明も少なく危険です。デコボコしているのも気になります。いま一度歩道を気にかけて見てください。
・熊対策をしてほしい。
・熊の出没件数があまりに多い。何か対策してほしい。

消防
・消防団活動に日々疑問を持ちます。地域の財産等を守るというのは建前で、団員の犠牲から成り立っていると思います。操法大会の完全廃止、高山市が全国より先立って行動してもよいのではないでしょうか。住みよい愛する高山市のためよろしくお願いします。操法大会のような無駄なことより、実践的な技術の向上や訓練を望みます。操法大会では何も守れません。家族や自分を大切にしたいです。
・地区ごとに消防団が活動し安心感はあるが、災害時、緊急ではあっても団員がまず自分の家庭の安全を整えることを優先できる体制であってほしい。仕事から帰ってきてすぐに詰所に行かれては残された家族は不安。地域も大事だが家庭のためにもう少し負担を減らしてほしい。
・消防団員への減税制度等、もっと新入団員が入りやすい仕組みを作ってほしいです。

行財政運営
・せっかくアンケートをもらいましたが高齢なので答えにくいです。高山市の発展を願います。
・精一杯アンケートに答えました。ポストに行くのもやっとです。

・今回のアンケートに答えながら、行政に対してもっと自分自身が興味を持たなくてはならないと感じました。さまざまな取り組みに対して、尽力してくださっている方々に感謝し、まずは新聞や広報紙から知る努力をしていきたいと思います。
・アンケートのところどころが分かりづらかったです。
・アンケートの到着から提出日まで短すぎます。
・アンケートは中学生以上全員で調査すべきだと思います。職員の対応は良いです。これからは、人生 100 年の時代になると思いますので、市政の一層の発展をよろしくお願いします。
・無作為に抽出されているとのことですが、このアンケートはこれで 3 度目です。いろいろな意見を集めるためにも、一度回答した人は対象から外すなどの工夫をするといいのではないかと思います。
・アンケートの量が多い。若者にアンケートを頼むなら 3 ページ程度の簡潔な方が良い。最後の方がおろそかになる。
・柔らかい脳は 40 代までと聞きます。80 歳近い私たちにアンケートされてもあまり期待できる回答が得られないのではと思います。どうか対象者は慎重に吟味して選択してください。
・高齢者にこのようなアンケートを送付してもなかなか回答することは難しいと思います。
・アンケートの項目自体から再考するとより良い高山市になっていくのではないかと感じました。どんな集計結果が欲しいのかが想像できます。
・このアンケートについて、全体的に設問の内容が難しい上に量が多くて答えるのが嫌になりました。途中で回答を止めて返信すらしない人が相当いるような気がします。イラストやマンガを入れるなど、見て楽しくなるような紙面の工夫をしてください。注意書きについても内容がよく理解できませんでした。
・統計で得られたデータやそれを活用した成果は公表すべき。このアンケート調査も必要性を詳細に説明すべき。行政の自己満足ではだめだと思う。
・このアンケート自体が無駄に思える。切手代や用紙代もかかるし、税金の無駄使いだと思う。市県民税等、税金を安くしてほしい。税金を安くすることが市民が望むことだと思う。給与水準も上げてほしい。公務員の給与や年金に税金を充てすぎている。
・私は 87 歳で 90 歳の夫と二人暮らしです。老い先の短い私にアンケートが来て困惑しています。役に立つか分かりませんが回答しました。
・高山市の取り組みへの質問が分かりにくかった。高山市には観光には来たいが住み続けたいとは思えないです。働きたいと思える場所も少ないし、交通が不便です。
・今回のようなアンケートはいいと思いました。若い方の意見やアイデア、今後の行政の抱える問題点等を発言する場があればいいと思います。インターネット上でも柔軟で新しい発想が出し合えるといいのではないでしょうか。市民が行政に対して当事者として関わっていくことが今後はもっと重要になると思います。
・93 歳の高齢者にこのアンケートが届きました。認知症なので家族が代わりに書きました。いくらなんでも 90 歳以上のお年寄りにアンケートを頼むのはどうかと思います。
・アンケートにある「だれでも」とは誰のことでしょう。子どもなのか高齢者なのか障がい者なのか、どんな人が対象か分かりません。国籍はどうでしょう。もっと具体的に表現した方が回答しやすいと思います。

・年末の忙しい時にアンケートに回答するのは負担がかかります。もっと違う時期にしてほしいです。まちづくり協議会がどのような活動をしているのかはっきり分かりません。以前、すぐ書類を返してもらえなくて後日封書で送られてきたことがありました。小さなことですが、封書 1 枚、郵便料金も税金です。それが積み重なれば大きくなります。このアンケートも、人件費や紙、郵便代等たくさんのお金が使われていると思います。集計するだけでなく、有意義に利用して下さることをお願いします。
・今回のアンケートのように市民の声を聞くことは大切です。それを反映したまちづくりの促進をお願いします。
・以前、火葬場建設の説明会に参加したが、市の結果ありきの説明や、質問にまともに答えられない様子を目の当たりにし、信用できないと感じています。アンケート項目の「～に取り組んでいます」について、思い当たる具体的な成果がありません。大型店舗の出店によって小型店舗が次々と廃業し、その大型店舗も定着せず撤退する等問題が多いです。高山の良さや特徴がなくなってしまっていると感じます。合併後の旧町村は特にそうです。高山は観光のまちだというが、どのようにしたいのでしょうか。
・アンケートの中で 3 つまで選ぶ質問がありましたが、3 つに絞るのが難しかったです。いろいろ考えて下さりありがとうございました。
・アンケートの「取り組みに対する満足度」とは、正しい方向性で取り組みが行われているということが前提の設問だと思った。取り組み自体に疑問を持っている場合はどう答えていいか困ったし、思いが正しく判断されるか分からなかった。また、まちの規模よりも大きすぎる施設もあると思った。
・このアンケート調査の結果を広報紙などで知らせてほしいです。
・このアンケートの結果が知りたいです。皆さんの考えが知りたいです。
・地域住民や職員からの要望を受けて改革や改善をしようとしても、議会の承認を得られずに見送りになっていることが多い気がする。それも議員の個人的見解や人間関係、しがらみが理由で。顕著にそれを感じたのは小中学校の 2 学期制への移行についてのやり取り。初年度見送りになったのはそれが理由だろうと感じた。時代に合わせた柔軟な対応をお願いしたい。
・市議会議員にはもっと地元を回って見ていただきたいです。
・市議会議員が多すぎる。早急に人数削減すること。
・市議会議員の人数が多いのではないでしょうか。パフォーマンスだけで実際にはあまり活動していない議員がいます。そんな人はいらないと思います。
・広報から流れる声が外に出ても分からないくらい聞き取りにくいです。夕方のチャイムや火災警報は分かりますが、どこでも放送が聞けるような設備の設置をお願いします。来年で 80 歳になりますが、自然があり静かで老後の生活を気持ちよく送っています。
・広報たかやまなどを見て、まちづくりのことをいろいろ知りたくなった。
・昨年新聞の購読を止めたので、広報たかやまが見られなくなり寂しいです。
・婚活、恋活のイベントを行う動きがありますが、広報たかやまに載せるなど行政の力でより広めてほしいと思います。
・飛騨市で育ち、結婚してから高山に居住していますが、飛騨市にあって高山市にない支援制度（特に子育てや医療）もあり、見直しをしてほしいです。もちろん高山市の子育てに関して満足いく点も多く助かっています。より住みやすい市になるようお願いします。

・生活の苦しい人への助けがほしい。所得が少ない人への給付金制度があるといい。病気を患った人の生活を支える制度があるといい。
・高齢になり、交通費などで割引が受けられ感謝しています。
・収入や給料が上がらないと生活も安定しないし、地域活動にも参加できません。低所得者を守る政策をお願いします。
・合併などで効率の良いまちづくりを進めることが、地域破壊につながるのではないかと不安である。合併により地域の若者の働く場が奪われた。支所の縮小、効率化の動きがあると聞いたが、どのようなまちづくりをするのか、はっきり示すことが大事だと思う。
・10 年後、限界集落のこの地域に何人の人が残っているのだろう。莫大な資金を使ってまで支所を建てる必要があるのだろうか。
・市役所窓口の対応をあまり快く思わない。親身でなく他人事である。事務的過ぎて温かさを感じない。あいさつもない。
・先日、横柄な態度の市役所職員がいて気になった。
・飛騨牛など高山市ブランド品の販売や提供する人に減税または還元できる制度を。
・支所には、できるだけその地域に住む職員を配置してほしい。最近はそのような傾向だと聞きますが、これからもお願いします。
・市職員の方には市民のために活躍してくださり感謝しています。微力ながらアンケートに協力させてもらいました。
・仕事で疲れ切って子どもの顔も見ていない市役所職員はいませんか。高山には仕事がないから帰らず都会で就職するようにと話してはいませんか。人も資源も限りがあります。未来を考えて有効利用しなければなりません。市役所職員も同じです。心身ともに大切にしてほしいです。子どもたちが帰ってきたくなるまちづくりは大人が楽しんでいないとできません。市役所のトイレにチャイルドシート、ベビーシートがなくて利用できませんでした。ついている所がないか尋ねても、少しの間子どもを預かってくれるような余裕のある職員はいないようでした。優しいまちづくりとはそういったところから始まるのではないでしょうか。高山にも飛騨市のような療育相談ができる施設があるとうれしいです。
・行政は赤字にもかかわらず、職員の給与や賞与が民間と比べて多すぎる。借金を抱えているので、民間ならつぶれてもおかしくない状態でしょう。
・ふるさと創出事業の使い道はどうするのか。
・外国人に土地を買い占められたり、だまし取られないように条例を作ってほしい。
・行政から町内会への仕事が多い。高齢者ばかりになり仕事がこなせない。老後の生きがいなど考えられなくなる。
・市政の基本的な方向が全く分からない。
・合併により支所地域はどこも力をなくしてしまった。日本全体を見ても、合併した地域ほど人口減少が進んでいると聞いた。大事な伝統や地域の持つたくましい力と知恵がなくなっていき、長い目で見て結局は大きな損失だった。旧高山市を見ると、ただ外国人観光客が訪れお金を使っていくだけで、そのお金もどのくらい高山市に残るのか定かではない。そんな市でいいのか。昔からの景観、生活の知恵、思いやる心が合併してから薄らいでいる気がする。市政は関係ないとは言い切れない。困っている人や地域にこそ手を差し伸べる政治が求められる。

・市街地と支所地域での差をなるべくなくすことが人口減少を止めることにもつながると思います。子どもたちが将来、高山市で暮らしたいと思ってもらえるよう、雇用の充実や交通の利便性をよくすることも大事だと思います。現在、高校に通うためのバスもない地域もあります。高校までは親が安心して通わせられる環境だと子育てしやすいです。高山が子育てしやすい町になれば移住も増えると思います。まちづくりは人がいてこそできることなので、人口減少を止めないと高齢化が進み、高山市の発展は難しいと思います。私は自分の住むこの地域も高山も大好きです。良いところをもっと国内外に知ってもらい、たくさんの人に来てもらって活気のある町になればうれしいです。
・別荘地に永住している方々もいますが、別荘の住民は別だと区切らず、高山に籍があり税金を納めているなら同様に扱われるべきだと思います。飛騨高山は全国的にもかなり高い知名度があると、市外から移住してきた者として実感しています。何度でも遊びに来たい、移住したいと思えるほどの魅力的な土地ですが、市政運営も魅力的だと思ってもらえるようになることを期待しております。
・民間も行政も実行力が乏しいと感じます。環境や人材、アイデアが整ってきている分残念です。
・天下りはやめてください。若い人たちの働く場所がありません。いったん辞めて役職につく、そんなことを繰り返していては不正が出る恐れがあります。上に立つ人間にもう少し市民の置かれた立場を考えてほしいです。
・高山市は文化財のイメージばかりが目立っている印象を受ける。教育の向上と教員の確保にも取り組んでいただきたい。
・歴代の中でも現市長は活動的で素晴らしいと思いますが、まちづくりに対しても同様の対応をお願いします。高山市がもっと発展できるよう努力してほしいです。市の職員の方々も一緒に頑張ってほしいです。
・現市長は就任後、多方面に渡り非常に精力的に努力されています。市議会議員と比較すると仕事のわりに給料が少ないと思います。市議の報酬を引き下げてでも、三役の方々の給料を上げるべきだと強く思います。市議の月給を 2 割はカットしてもいいと思います。生活のために市議をしている方もいるようですが、それでは十分な活動はできないと思います。自分の生活基盤が確立していないのに十分な市政運営はできないと思います。
・市長など三役の賞与はどうやって決めているのですか。
・市長は市民のことは二の次で観光にばかり力を入れすぎです。そろそろ交代してください。
・市長はそろそろ代わった方がいいと思います。合併してからあまり良いことはありません。駅前ばかり良くし、何を考えているのか分かりません。市の職員ももう少し真剣に業務についてもらいたいです。役所に行くと休憩時間でもないのにタバコを吸っていて何を考えているのか分かりません。何のための税金なのかもう少し考えてもらいたいです。税金泥棒と言われても仕方ないです。
・行政の窓口が分かりにくいです。飛騨市のように一本化された窓口があると、特に高齢の方に親切だと思います。市から送られてくる郵便物も内容が理解しにくいです。分かりやすい工夫をお願いします。
・市役所に死亡届を出しに行ったら、いくつもの窓口で手続きが必要だった。飛騨市のように手続きを 1 か所でまとめてほしい。
・まちづくりをする前に市役所の環境を整えてほしい。高齢者は聞きたいことがあっても聞けない。市役所の方々の対応で高山市が変わると思う。高山市の看板であるのなら市民を大切にしないと、まちづくりも困難になる。

・田舎でも住みやすい町になってほしい。観光産業も大切かもしれないが、住んでいる市民のことをもっと大切に考えてほしい。物価が高い割に給与水準が低く、市県民税も高い。高山を出ていく若い人たちが多いのが現実。若い人だけでなくお年寄りにも住みにくい町を何とか暮らしやすくしていただきたいです。
・どのような事業を行う場合でも多くの費用がかかるので、私たちの税金をよく考えて有効に使ってください。予算を全て使うのではなく、できる限り支出を抑えて他に回したり市民に返す、そして次年度の市税を軽減するくらいの気概を持って仕事に取り組んでほしいです。
・高山市は給与水準が低いのに税金等が高すぎる。
・高山は水道料金や固定資産税が高すぎるのではないか。
・山を持っていますが、家族は女性ばかりで手入れができないので市に管理を託したいと思っています。高齢化で山など管理が大変になっている人が増えていると思うので、対策を考えてほしいです。固定資産税、市県民税、健康保険料が驚くほど高く、減額してもらわないと生活するのが大変です。もっと会社などから税金を取ってもらいたいです。
・公用車のラッピングは不要ではないかと思います。もう十分に高山市を宣伝しているので無駄な税金の使用はやめてください。
・市民が生活していく上での必要な環境を最優先に考えて実行してほしいです。
・市のリストにもあるが違法建築物を 20 年近く放置している。市へ連絡しているのになぜだ。
・おもちゃ病院の活動をもっと多くの人に知ってもらえるようにしてほしい。市役所でおもちゃ病院のおもちゃ交換会（かえっこ）を増やしてほしい。
・子どもから高齢者まで一人一人の声を聞き、市民に寄り添い、それが実感できるまちづくりや活動をしてほしいと思います。どんな立場の人にも優しい町になってほしいです。
・まち中の駐車場が有料なので、市内に住んでいるのに古い町並にあまり行ったことがありません。そのため県外の知人から観光についての質問を受けてもあまり紹介ができません。せめて市役所駐車場だけでも無料にならないでしょうか。

若者
・今後高山に若い人にどう住んでもらえるかが一番の課題だと思いますのでよろしくお願いします。
・次の世代の若者が安心して生活できる町にしてください。
・若い方々が希望を持ち、県外に出ないで高山を愛することが大切。高山の活性化のために若者のエネルギーを大きく育て、住みやすく笑顔のある生活ができるよう努力してもらいたい。
・人口の減少は一番の課題だと思う。「増やす」ことは難しいので、「減らさない」ための対策をすべきだと思う。特に進学、就職で高山を離れた 18 歳が定年にならないと戻ってこない現状を改善できないかと思う。観光客が増えることは大変ありがたいが、同様に人口も増え、この土地で世代継承され続けていくことを強く願っている。若者に高山に住み続けたいと思ってもらえるにはどうしたらよいか。
・皆が少しでも不安を解消し、安心して暮らせる高山市になるにはどうしたらいいのでしょうか。特に高齢化に伴い、介護、福祉の充実は必須だと思います。また、若者が地元で働きたいと思えるような環境作りも重要だと思います。若者にとって魅力的なまちづくりをしてほしいです。
・若者がもっと生き生きと働ける魅力ある企業がないと都会へ行ってしまいます。若い人が楽しめるまちづくりを期待します。

・高山市の人口が減少していく中で、さらに若者が大学進学で転出し、高山市に戻らないという現状を踏まえ、大学卒業後、高山に戻り就職する学生に奨学金返済免除などは考えられないだろうか。高山市での大学設立の話も聞くが、医療、福祉、教育などの資格を取得できる学部を設けられると、卒業後の若者が高山市で活躍できると思う。何とか若者の流出を少しでも食い止めることが必須である。子育てが終わった世代は高山市での生活に魅力を感じられるようなまちづくりに参加、協力できればと思っている。
・観光にばかり力を入れるのではなく若者にも魅力ある市にしてもらいたい。
・幼児などが遊ぶ場所はある程度充実しているが、中高生の遊ぶ場所が少なく、市外や県外に出るしかないので、もっと充実した施設を建設してほしい。観光客などのために力を入れるのはいいが、もう少し地元の若者にも目を向けてほしい。進学などで県外に行くのは仕方ないが、就職で県外に行ってしまうのは、このような原因もあると思う。
・自分が住んでいる地区はお年寄りには手厚いが若者には住みにくいところだと感じています。田畑ばかりで空き地がないので、新しい住宅があまり建ちません。この地区は亡くなるお年寄りが多いと言われます。町内の人口が減らないようにお年寄りを大切にしている気がします。若い人がいないから子どもが増えず、子どもの世帯は親と別居して他地区で住んでいます。私の子どもたちも他の地区で住んでいます。高山が繁栄するためには若い人を増やすことが重要です。
・大学を卒業しても若い子どもは高山に帰ってこない。
・結婚を機に高山を離れてから 30 年余ぶりに U ターンして高山に居住するようになりました。高山は素敵な町です。冬は厳しいですが生まれ育った町は良いものです。2 人の子どもたちは東京で就職しておりますが、夏期、冬期休暇に帰省すると、こちらで暮らしてみたいと話すこともあります。しかし、遊びに来るにはいいけれど居住するまでにはなかなか至らないようです。高山市のますますのご発展を祈念しております。18 歳で高山に住所を移した下の子は、前居住地からも高山市からも成人式の通知が来なくて成人式に出席できませんでした。記念撮影だけの寂しい成人式でした。学区制だとそうなってしまう子がいることを知ってほしいです。
・古い考えにこだわらず、若者が主になって取り組んでいけるまちづくりができるようになればいいと思う。現状では町内の委員会（女性部、体育委員等）は高齢者がほとんどで若者は出席していない。
・外国人観光客が年々増加する中、人口減少（特に少子化と若者の流出）に歯止めがかからず非常にアンバランスな印象を受ける。うまく PR できれば他地域から若者を呼びこめるほど観光資源には底力があると思う。行政が地域の学校（特に高校）と協働し、地元活性化の方策を打ち出していってほしい。

その他
・住んでいる地域に公共施設が全くない。市図書館も支所図書館も遠すぎる。また市図書館に行っても 2 時間しか無料にならないため不便。せめて遠方の住民に対して駐車場の無料時間の延長をしてもらえたらありがたい。また、老後に車の利用ができなくなった時、どうやって生活すればよいのか不安。
・旧高山市の児童センターの行事に参加するのにはお金がかからないのに、久々野地域は有料なので、不公平に感じる。住んでいる地域に子どもが少なく、単身者も多いので将来が不安です。
・旧町村への対応をしっかりしてほしい。

・過疎化していく旧町村にも目を向けてほしい。
・せっかく市町村合併したのだから、市街地の発展ばかりでなく旧町村の発展や開発にも目を向けるべきだと思います。合併前と比べ道路の補修等も遅いと感じます。市全体に目を向けてください。
・旧高山市の商工や観光に特にお金をかけすぎているように思われ、各支所で必要な環境整備、防災工事等が行われていない。
・合併がもたらした不利益をしっかり検証してほしい。地域格差は多くはなっていないか。
・旧高山市はいいが、まちづくりの点から見て、高根地域が衰退している気がする。事業所の経営力が落ち、事業所が少なくなってしまった。合併がなかったらこうなっていただろうかと思う。スキー場関連の事業所がまさにその例だと思う。魅力もなくなり、村だった頃の方が良かった。
・高山市はさまざまな整備が進められていると思いますが、それは旧高山市に限って言えることで、他地域がどうなのかは知りません。
・市中心部の人口減少、高齢化が深刻である。住んでいる人たちにいろいろな負担がかかる。できることなら他地域へ移りたい。
・人口減少の改善を考えてほしい。
・支所地域の人口減少について早急な対応が必要。
・旧町村地域の崩壊が進んでいる。行政が効率を求めた結果、少数集落の移転を促すことになってしまったのではないかと思う。そこに住む意義が変わってしまったこともあるが、住む人間あってこそのまちづくりなのではないだろうか。
・いろいろな意味でよいまちづくりができたらいいと思う。
・高山が皆の心のふるさとになるように頑張ってもらいたいです。
・農山村の景観維持と外国人を対象とした取り組みを。
・より暮らしやすくなるようによろしくお願いします。
・より住みやすい市であるようよろしくお願いします。
・私の事務所の 2 階から、小さな町並みとその背景には白い雪に覆われた山々が見渡せ、周囲が山に囲まれた、こんなに素晴らしい環境の町はそんなにないと思っています。外国人観光客がのんびりと町中を歩くのを見ると素晴らしい地域に自分が住んでいることをいつも誇りに感じています。市民も優しい方が多く、本当に全てに恵まれた素晴らしい町です。高山へ来てくれる国内外の観光客に、この町の人間として親切さを忘れることなく相手の立場に立って接する気持ちを忘れないようにしていきたいものです。この気持ちを忘れず高山市民が何事にも思いやりを持って行動すれば、きっとさらに魅力ある愛される町になり、それが市民の幸せにつながっていくと思います。いろいろなことを要求するばかりでなく、市内全体でそのような生き方をしてまちづくりをしていきたいものです。その中で市が関わらなければいけないことが出てくるのではないでしょうか。常に相手のことを思って生きていきたいと思っています。
・まだ高山に住んで 1 年半くらいなのでよく分からないことが多いです。
・4 月に高山に引っ越したばかりなので市政についてよく分かりません。
・今回のアンケート調査に協力的だったかは別として、飛騨高山の都市像を想像する良い機会をいただきました。一市民として安心安全に生活させてもらっていることに感謝するばかりです。私の個人的な悩みは、我が子が高学歴を得ても都会から高山に帰ってこないことです。高山が好きだと言って孫を連れて帰省することもあるのですが、居住の意思はないようです。しかし、高山で育まれた活力と優しさのある人材が他県で活躍していることも誇らしいと思っています。

・高山という町を好きだと思う子どもたちに、これからも住みたいと思わせるには、大学や専門学校などの学ぶ場所や望んだ仕事が高山にあることが必須。だがそれを全て実現するのは現実的に難しいので、まずは高山ならではの良さを生かしたまちづくりを行い、市外からも人を集める施設を作ってはどうかと思う。観光対策や外国人誘致活動だけでは、住む人を増やすことにつながらないのではないか。企業誘致なども考えられるが、支所地域で山村留学や里親制度を進めることも一つのアイデアではないかと思う。
・私は高校進学のために高山市で下宿生活をはじめ、3 年になります。周りの友達とは違い、ここで生まれ育ったわけではありませんが、わずか 3 年の中でも私の中で高山は特別な素敵な思い出のある町になっています。第二のふるさととして高山に住めたことを誇りに思います。文化、工芸、地域産業、観光と高山市にはたくさんの強みがあります。子どもも意欲的です。教育に関わってくださる大人も含め、本当に良い環境だと感じています。高山で育った友達も、地元への愛を持っていると感じます。大学へ進学しますが高山には定期的に訪れたいです。大好きで、私の誇りである高山市のさらなる発展を願っております。
・旧高山市よりもさらに雪深い地域に住んでいます。屋根の雪降ろしの回数も多く、近所の方が落下事故で救急車で運ばれたこともあります。私も滑って転倒し、大腿骨骨折で 2 ケ月入院しました。冬は怖いです。この家を捨てて旧高山市への引っ越しを真剣に考えています。
・周りから子どもたちの声が消え、空家が増え、高齢者ばかりとなり、寂しさと不安を感じます。動物に畑を荒らされ、野菜作りの楽しみを失う日々ですが、住み慣れたこの地でどれだけでも長く元気で暮らしたいと思っています。
・「高山市歌」の素晴らしい歌詞を、もっと歌える機会を増やすべきです。
・高山がますます住みやすい町となるよう願います。多くの若い人に残ってほしいです。素敵なところであってほしいと思います。
・親子 3 人で暮らし、息子のおかげで不自由なく生活でき感謝しています。私も主人も高齢で、病院には息子の送迎またはタクシーで通い、健康に努めています。生まれも育ちも一之宮町で、近所や知り合いも多くいろいろと助かります。
・高山市が好きです。
・本当に高山市のこと、市民のことを考えている方々が携わっているのか疑問。まちづくりを考えるなら、なぜあのような巨大な宗教施設の建設を許すのか。地元を大切にするなら古来からの日本の伝統、歴史を重視すべきではないか。景観が悪い。観光で来る外国の方々は高山の歴史文化を尊重し、それに触れたいと思ってやってくるのだと思う。
・田舎に暮らす私たちには不自由な市です。田舎に住み税金を払っている方を思い、大切にしてほしいです。飛騨市がうらやましいです。
・教育や福祉にお金をかけてほしいと思います。
・若者の田舎離れが進んでいますが、同居している息子達に、今後この地域に住み続けてほしいとは言えません。後継ぎがいる家でもより旧高山市に近いところへ出ていき、残るものが少ないのが現状です。今後若者が減っていく中で、地域をどう守るのかが案じられます。地域の草刈りや溝掃除等、年に何回かの出役にも、今後どう対処していけばいいのか分かりません。税金だけは支払っているものの価値はない「負動産」と呼ばれる山も、息子たちに相続してもらえるのか不安です。

・大手スーパーの従業員のあいさつが悪いと感じる。特に女性の従業員に多い気がする。対応によっては店を利用する人数も変わってしまうのではないだろうか。従業員と客の交流も大切にしなくてはいけないと思う。
・大型ショッピングモールや映画館がないため、市外や県外で買い物をする人が多いです。美術館やコンサートといった文化に触れるところもありません。若者が流出し、高齢化が進むのは仕方がないように感じます。この地域を支えているのは、多くを望まずに高山に残り、就職し結婚し子育てしている人々です。地元愛にあふれていて高山の事情に詳しいので、この地域の発展には必要な人材ですが、閉鎖的な考えを持っていると感じることがあります。変化を望まないなど、私たちのような「よそ者」には入りづらい壁を感じます。地域の活性化のために具体的にどうしたらいいのかはよく分かりませんが、他県から来た人間の客観的な意見です。